

アドプティブ・ファーザー (Adoptive father) 養父。尙アドプティブ・マザーは養母。
アドプテッド・サン (Adopted son) 養子。尙養女はアドプテッド・ドーターと云ふ。
アドプション (Adoption) ① 養子。縁組。② 採用。選擇。
アドコラム (Ad-column) 廣告欄 (新聞雜誌の)。
アドサム (羅語 Adsum) 「私はここに居ります」の意で、人に呼ばれた時の返事である。
アトミー (Atom) ① 骸骨。轉じて瘠せた人。② 原子。轉じて小男、一寸法師の意。
アドミニストレーティブ・リマヂャストメント (Administrative readjustment) 行政整理。
アト アド

アド——アト

アドミニストレーティブ・コート (Administrative court) 行政裁判所。
アドミニストレーター (Administrator) ① 支配者。統治者。② 管理人。③ 施行者。
アドミニストレーション (Administration) ① 處理。管理。② 行政。③ 政府。内閣。
アドミニスター (Administer) ① 處理す。管理す。執行す。② 宣誓せしむ。
アドミレーション (Admiration) ① 感嘆。讚美。賞讚。② 愛慕。崇拜。
アドミタンス (Admittance) 入場。興行場や會場に入る事。
アドミタンス・フリー (Admittance free) 入場無料。入場隨意。
アトミック・ウェイト (Atomic weight) 原子量。化學者が諸種の測定及び推論によつて見出した原子の比較的重量で化學上重要な數値とされてゐる。便宜上酸素の原子量十六を以て原子量の標準とする。尙水素は一、〇〇八。炭素は一二、〇〇五。
アトミック・セオリー (Atomic theory) 原子説(アトミズム参照)。
アドミッション (Admission) ① 入場。入場許可。② 入會金。入場料。【例】あの展覽會は随分アドミッションが高いぢやないか。
アドミラル (Admiral) 海軍大將。水師提督。尙ボート・アドミラルは鎮守府司令長官。
アドミラルチー (Admiralty) ① 海軍省。② 海軍大將の職。③ 制海權。
アドミラルチー・カウンシル (Admiralty council) 海軍將官會議。
アドミラルチー・コート (Admiralty court) ① 海軍裁判所。② 海事審判所。
アドミラブル (Admirable) 推賞すべき。感服すべき。【例】實にアドミラブルな繪だ。
アドミクスチュア (Admixture) ① 混和。混交。② 混和物。質を悪くする混ぜ物。
アトミズム (Atomism) 原子論。單純不可分であつて獨立自存する無數の物質的原素即ち原子によつて宇宙の全ゆる現象を説明せんとする見解。創唱者はギリシヤのロイキッポス、その完成者はデモクリトスである。然し電子論は更に進んで物質の不可分的要素は原子に非ずして電子にありと説く。
アドヒーシブ・チッシュュー (Adhesive tissue) 粘着紙。普通はセルラックを塗布した薄紙乾燥貼付料に使用す。
アトモースト (Utmost) 極度の。最上の。【例】當店ではこれがアトモーストの品です。

ア

アドモニッシュ (Admonish) ① 警告を發す。戒む。② 勸告す。

アドモニション (Admonition) 諫言。忠言。訓戒。アドモニッシュメントともいふ。

アトモグラフィ (Atmography) 感光板及び感光紙上に於る煙及び他の物質の影響と蒸氣に原因する重大なる結果に與へた名稱。

アトモメーター (Atmometer) 水蒸氣計。蒸發計。

アトモスフィア (Atmosphere) ① 大氣。空氣。氣壓。② 映畫の臨時雇。③ 雰圍氣。環境。又アトモスフィアがどうも好くないと云へば四圍の事情が悪いと云ふ意味にもなる。「會合は和氣霽々たるアトモスフィアの中に終つた」等と用ひらる。

アトモスフェリック・プレシユア (Atmospheric pressure) 氣壓。尙高氣壓はハイ・アトモスフェリック・プレシユア、低氣壓はロー・アトモスフェリック・プレシユアと云ふ。

アトモスフェリック・アクション (Atmospheric action) 大氣の作用。

アドン (Adon) 低級望遠鏡玉の手提寫眞器の使用に適當なるもの。

アヂ (Agi) アヂテーションの略 (同項参照)。

アヂト (Agitation point の略) 煽動部。秘密本部。例へば左翼労働組合指導のストライキ等に於て、より廣般なる大衆を動員し、情勢に適合せる問題を取り上げて大衆を煽動し、闘争を展開、指導して行く委員會で非合法組織である。又このアヂトは組合又は黨の指導部より或問題に關する闘争の指導權を與へられてゐるもので「アヂト襲撃さる」等の語が新聞等に見受けらる。所が近頃では「妾宅」、「内緒の遊び場」を云ふ様になつた、「奴のアヂトを探してウンとおごらしてやらうぢやないか」。

アチチュード (Attitude) 姿勢。態度。【例】あの男のアチチュードは虫が好かぬ。

アヂリタ (伊語 Agilita) 音樂用語にて「輕快に」の意。

アヂる (和製語) アヂ (アヂテーション) を日本語的に動詞化した語で、「ストライキをアヂれ」、「あの工場をアヂつて見る」等と用ひらる。又一般には「奴近頃憎げてるからアヂつてやれ」と軽く元氣附ける意味にも云はれる。

アヂガール (Agi-girl) 色仕掛で男の猥感を激發させ、うまく持ちかけて金にしたり、その他自己に有利なるやう手練手管を用ひる女。

アド——アヂ

アヂ——アリ

アヂタート (伊語 Agitato) 音樂用語で「感情を以て」の意。

アチチュード (Attitude) 姿勢。態度。【例】あの男のアチチュードは虫が好かぬ。
アチリタ (伊語 Agilita) 音楽用語にて「輕快に」の意。
アヂる (和製語) アヂ (アヂテーション) を日本語的に動詞化した語で、「ストライキをアヂれ」「あの工場をアヂつて見る」等を用ひらる。又一般には「奴近頃憎げてるからアヂつてやれ」を軽く元氣附ける意味にも云はれる。
アヂガール (Agi-girl) 色仕掛で男の猥感を激發させ、うまく持ちかけて金にしたり、その他自己に有利なるやう手練手管を用ひる女。

アド——アヂ

アヂ——アリ

アヂタート (伊語 Agitato) 音楽用語で「感情を以て」の意。
アヂタート・アレグロ (伊語 Agitato Allegro) 音楽用語で「熱情を以て急速に」の意。
アチック (Attic) ① 屋階。屋根裏部屋 (洋風建物)。【例】僕のアチック生活も久しいことだ。② アテネ風の。古典的な。尙建築でアチック・オーダーとは角柱を云ふ。
アヂヤストメント・オブ・アラブル・ランド (Adjustment of arable land) 耕地整理。
アヂプロ (Agi-pro) アヂテーション・プロパガンダ (Agitation, propaganda) の略 (各項参照) で煽動宣傳の意。労働運動に於てこの兩者は不可分の關係にある、即ちアヂによつて闘争が激發されたならばそれに對して正しい目的を與へ、適宜の戦略、戦術を教へるのはプロパガンダの役割である。

アヂテート (Agitate) 煽動する。尙「アヂる」ともいふ (アヂテーション参照)。

アヂテーター (Agitator) 煽動者 (アヂテーション参照)。

アヂテーション (Agitation) 煽動。普通アヂと略され社會運動上の用語である。労働者農民大衆の日常生活につき其具体的事實を暴露し大衆の感情に働きかけて不平不満を激發せしめ闘争を起さしめる手段である。「工場にアヂを持ち込む」、「ストライキをアヂる」等と云はれる。尙アヂ・ピラと云ふのは煽動するのに用ふるピラで、或事件を大衆に訴へるには大なる効果をもつて居り特に非合法團體の有力な武器である。
アチアカットウラ (伊語 Acciacatura) 音楽用語で「碎音」の事。樂譜にて符尾に斜線を有する小さな音符である、この音は出来るだけ短く奏されなければならない。

アリバイ (Alibi) 現場不在證明。犯罪の行はれた當時現場に居なかつたこと云ふ證明、此語は元來探偵小説に用ひられてゐるものであるが近頃では廣く一般に用ひられて居る、「君昨晚A子さんと銀座でランデブーをしたらう」「そりや冤罪だ、K君がアリバイを立て、呉れるよ」。

アリオソ (伊語 Arioso) ① 流調に。旋律的に。② 詠叙唱。これは歌劇中に用ひられる小さな叙情的な歌曲である。

アリッサム (Alyssum) 草花の一種で、丈は三四寸、芳香ある十字形の小花を多くつける、一年生と多年生とあり開花期は四五月頃である。

ア

アリエッタ (伊語 Arietta) 小詠唱。歌劇、カンタータ等の中にあるアリア (次項参照) の小規模の歌曲である、又カバチナ (Cavatina) もいふ。

アリア (Aria) ① 詠唱。歌劇等の中にある叙情的な獨唱曲である。尙コンサート・アリアは演奏會用として獨立して作られた曲 (グラランド・アリア参照)。② 歌曲。歌調。有名なるバッハのハ長調組曲の第二部のアリアは所謂「G (ジー) 線上のアリア」であつてヴァイオリンの第四絃でのみ奏するもので、寂し味のある莊重な曲である。

アリア (Arrear) ① 未済。② 未拂金。延滞金。③ 延滞事項。

アリザリン (Alizarine) 茜色素 (染料用紅色素) ($C_{14}H_8O_4$)。コールタールを蒸溜して製したアントラセンより精製す。

アリザリン・ナチュラル (Alizarine natural) 天然茜色素。南歐及び東洋より得る茜草の根を蒸溜したる染料にして、炭素印畫法に使用する。

アリザリン・アーチフィシヤル (Alizarine artificial) 人造茜色素。

アリユナイト (Alunite) 明礬石。無色、白色、灰色、時に淡紅色をなし塊状として産す

アリユア (Allure) 誘惑す。唆かす。【例】不良青年にアリユアされぬやう注意し給へ。

アリユアメント (Allurement) 誘惑。蠱惑。【例】臘脂の口紅にはたまらなくアリユアメントを感じる。

アリメントセラピー (Alimentotherapy) 食餌療法。食物を調節して病氣を癒す方法。

アリメンテーション (Alimentation) ① 榮養。滋養。② 扶養。

アリモニイ (Alimony) ① 離婚手當。扶養料。② 涙金。

アリモニイ・ハンター (Alimony hunter) アメリカの流行語で、金持の男と結婚しては巧みに離婚理由を作つたり、我儘勝手をして離婚となり莫大な離婚手當をせしめる女の事である、もの、數回もやれば一財産出来ること云つた有様で離婚數は年々激増して離婚裁判所は大繁昌、甚だしいのは離婚が一産業となつてゐること云ふ。流石はドルの國、享樂の國、尖端の國である (ディボース・インダストリー参照)。

アリスト (Aristo) 一種の寫眞焼付紙。これには塩化銀セラチン乳劑が塗つてあり、太陽又は電燈にて焼付鍍金をなす。

アリ

アリ アル

アリストクラチック (Aristocratic) 貴族的な。高踏的な。これより轉じてオツにすまし返つてお高く納つてゐる者を「彼はアリストクラチックな奴だ」等と云ふ。

アリメンテーション (Alimentation) ① 榮養。滋養。② 扶養。

アリモニ (Alimony) ① 離婚手當。扶養料。② 涙金。

アリモニ・ハンター (Alimony hunter) アメリカの流行語で、金持の男が結婚しては巧みに離婚理由を作つたり、我儘勝手をして離婚となり莫大な離婚手當をせしめる女の事である、もの、數回もやれば一財産出来ること云つた有様で離婚数は年々激増して離婚裁判所は大繁昌、甚だしいのは離婚が一産業となつてゐること云ふ。流石はドルの國、享樂の國、尖端の國である (ディボース・インダストリー参照)。

アリスト (Aristo) 一種の寫眞焼付紙。これには塩化銀セラチン乳劑が塗つてあり、太陽又は電燈にて焼付鍍金をなす。

アリ

アリ アル

アリストクラチック (Aristocratic) 貴族的な。高踏的な。これより轉じてオツにすまし返つてお高く納つてゐる者を「彼はアリストクラチックな奴だ」等と云ふ。

アリストクラチズム (Aristocratism) 貴族主義。貴族風。又傲慢なる意にも用ひらる。

アリストクラシー (Aristocracy) ① 貴族。貴族社會。② 貴族政治。即ち少數特權階級による專制政治を云ふ。

アリストゲン (Aristgen) 濃厚なハイドロキノン現象液でハイドロキノン、醋酸曹達、亞硫酸曹達、枸橼酸等より構成し塩化セラチン焼付紙、コロデオンの紙の畫像を現像するに用ふ。

アリストテレス (Aristoteles) ギリシヤの大哲學者 (西紀前三八四年生。同三三二年歿) 十八歳の時アテネに赴きアカデミーに入りプラトンに師事する事二十年、西紀前三四二年にはマケドニアの太子アレキサンドロス (後のアレキサンドル大王) の師となつたが其後再びアテネに行き學校を開いた、逍遙學派と云ふのはこれである。其著書には「倫理學」、「物理學」、「形而上學」、「詩學」、「政治學」等がある。

アリスメチック (Arithmetic) 算術。尙ビシネス・アリスメチックは商業算術の意。

アリスモメーター (Arithmometer) 計算器。目もりに従つて計算をする器具。

アルバタイプ (Albotype) ショセフ・アルバート氏の考案した最初のコロタイプ印刷法で、現在のコロタイプとは稍々異なるものである。

アルバイト (獨語 Arbeit) ① 労働。作業。② 勉強。製作 (美術品等の)。③ 論文執筆

アルバイター (獨語 Arbeiter) ① 労働者。雇人。② 製作者。

アルバイター・フラーグ (獨語 Arbeiter frage) 労働問題。レーバー・クエスチョンに同じアルバイツシュール (獨語 Arbeitsschule) 勤勞學校。普通學校が徒らに高遠なる學理に

走り非實用的教育をなすのに反對し社會に出で直ちに活動し得る技術を教へる學校。アルパインロープ (Alpine-rope) 登山用の綱。ロック・クライミング等に使用する綱。

アルパイン・バインディング (Alpine binding) オーストリアの畫家ツタルスキー氏の考案したりリエンフェルト式スキー締具のことを云ふ。他にビリゲリー式、ウイン式等があるが現今ではいづれも餘り用ひられて居ない。

ア

アルパイン・クラブ (Alpine club) 山岳會。登山俱樂部。

アルパイン・プラント (Alpine plant) 高山植物。高山に生ずる植物で大低草花が小灌木で八月頃になれば美しい花を開く。所謂「お花畑」と云ふのは高山植物が集團的に咲いてゐる所で、白馬岳のお花畑は殊に有名である。尙このアルパイン・プラントには駒草、こけも、いはかすみ、さくら草、みやまおだまき等がある。

アルバニヤ (Albania) ヌーロッパ南部希臘の西北に隣接する小王国。

アルバニン (Albanine) 極めて純粋な白色水彩顔料で、刷毛或はエアブラシ (空氣筆) で原圖を仕上げる修整法に使用さる。

アルパカ (Alpaca) 南米ペルー國に多く棲息する羊と駱駝の混血動物。又この動物の毛を用ひて織つた服地の意にも用ひらる。

アルバム (Album) 寫真帖。繪葉書帖。切手帖。書畫帖。

アルボース (Arbos) 防腐及び防毒劑。尙消毒石鹼にアルボース石鹼と云ふのがある。

アルヘイトー (葡語 Alfaloa) 有平糖 (菓子)。

アルペヂオ (伊語 Allegio) 音樂用語の「琶音」の事。樂譜にて音符の左側にある波線はこれの記號である。これは或る和絃の諸音を下より順次に早く奏するのである。

アルペングロー (Alpenglow) 山頂より見た夕映或は朝焼。

アルペンストック (獨語 Alpen-stock) 登山用の杖。先には鶴背狀の金具がついてゐる。

アルペンスキー (Alpen-ski) 登山用スキー。

アルト (Alto) 中音部 (下高音とも云ふ)。即ち女聲の最低音。又ヴァイオラ、チューバ等の如き中音部の樂器をアルトとも云ふ。

アルトルイスト (Altruist) 愛他主義者 (次項参照)。

アルトルイズム (Altruism) 愛他主義。佛國のコントの創唱せるもので、他人の利益を行為の目的とし他人の幸福を道義判斷の基礎とする倫理學說である。

アルトラ (Ultra) 極端の。極端家。過激家。其他本語を冠せる語はウルトラの項を見よ

アルトシンガー (Alto-singer) 中音歌手 (アルト参照)。

アルチッシモ (伊語 Altissimo) 高音部。音樂にて譜表第五線上へ (F) 音より上の音部。

アル

アル

アルチマ・レーシヨ (羅語 Ultima ratio) ① 最後の議論。最後の談判。② 武力。

アルヂェブラ (Algebra) 代數學。

アルチメート (Ultimate) 最後の。究極の。尙アルチメート・エンドは究極の目的。

の如き中音部の楽器をアルトとも云ふ。

アルトルイスト (Altruist) 愛他主義者 (次項参照)。

アルトルイズム (Altruism) 愛他主義。佛國のコントの創唱せるもので、他人の利益を行爲の目的とし他人の幸福を道義判断の基礎とする倫理學說である。

アルトラ (Utra) 極端の。極端家。過激家。其他本語を冠せる語はウルトラの項を見よ

アルトシンガー (Alto-singer) 中音歌手 (アルト参照)。

アルチッシモ (伊語 Altissimo) 高音部。音樂にて譜表第五線上へ(F)音より上の音部。

アル

アル

アルチマ・レーシヨ (羅語 Ultima ratio) ①最後の議論。最後の談判。②武力。

アルヂェブラ (Algebra) 代數學。

アルチメート (Ultimate) 最後の。究極の。尙アルチメート・エンドは究極の目的。

アルチメーター (Altimeter) 高度計。飛行機に搭載して高度を計る器具。

アルチメータム (Ultimatum) 最後通牒。【例】政府は支那へアルチメータムを發した。

アルチモ (羅語 Ultimo) 先月の。尙先月十五日は 15th ult. と書く。

アルルカン (佛語 Arlequin) ①道化役者。②定見無き人。

アルカーザー (西語 Alcazer) ①宮殿。城。②演藝館。娛樂館。

アルカロイド (Alkaloid) 植物中に存する塩基性有機物で植物塩基ともいふ、多量の窒素を含み劇毒を有し藥劑に用ひらる。ニコチン、モルヒネ、キニーネ等これである。

アルカリ (Alkali) よく水に溶解し赤色リトマス紙を青色に變じ所謂アルカリ性反應を呈す。苛性ソーダ、苛性カリ、アンモニヤ水、石灰水はいづれもアルカリである。

アルカリメーター (Alkalimeter) アルカリ計。不純物を混交せる藥品等に存するアルカリ量を試験する器具で百度に區別して目盛を施した硝子管の一端に鼻孔を有す。

アルカリン・リアクシヨ (Alkaline reaction) アルカリ性反應。苛性曹達等の水溶液が赤色リトマス液或は赤色リトマス試験紙を青色に變ずること。

アルカリン・フィクシング・バス (Alkaline fixing bath) アルカリ定着浴。ハイボ定着浴の酸性でないもの。POPに對する定着浴は常にアルカリ性であらねばならぬ。

アルカネット (Alkanet) このした草。同上の根莖より製した紅色染料。

アルタ (Althaea) ①蜀葵 (たちあふひ)。②木槿 (むくげ)。アルシアとも云ふ。

アルターネート・ボール (Alternate ball) 代用球。庭球、野球にて使用中のボールが紛失した際其の代りに用ふるボールの事を云ふ。

アルターネーティング・カーレント (Alternating current) 交流。方向の交番する電流を云ひ、これを發生する機械をアルタネーター (交流機) と云ふ。

アルターネーション (Alternation) ①交代。更迭。②交互。

アルラ・マルチア (伊語 Alla marcia) 音樂用語で「行進曲風に」の意。テンポ・ディ・マ

ア

ア

ルチア (Tempo di marcia) とも云ふ。

アルグラフィ (Algraphy) アルミニウム板より平版印刷を行ふ印刷法。

アルマ (Alma 又 Almah) ① 埃及の舞妓。② 外國製巻煙草にもこの名のあるものがある。

③ ロードデンドロン (洋種石楠花) の一品種で桃色の美しい優秀花を開く。

アルマナック (Almanac) 年鑑。曆書。

アルマ・メーター (羅語 Alma mater) 育ての母。轉じて母校の意がある。

アルマンド (佛語 Allemande) ① 獨逸、瑞西に於ける一種の舞踏。及び同上の樂曲。

② 急速曲。③ 獨逸語。獨逸人。

アルケード (Alcaide) ① 典獄。獄吏。② 要塞司令官。

アルケミー (Alchemy) 錬金術。普通の金屬より黄金を作り出さんとする術。

アルプ (Alp) ① 高山。高峰。② アルプス (同項参照)。

アルブミン (伊語 Albumin) 蛋白。蛋白質。英語にてはアルビューメンと云ふ。

アルファ (Alpha 又は α) 希臘字母の最初の字。轉じて最初の意、よくオメガ (同項参照)

と一緒に用ひる。「アルファでありオメガである」と云へば最初で最終だの意、又「彼はアルファとオメガを知れり」と云へばピンからキリまですっかり知つてゐる意。

アルファ (A) (野球) 先攻チームが第九回の攻撃を終り尙先守チームの得點に及ばぬ時

は先守チームは最後の攻撃を行はずして勝となる、これをアルファ付と云ふ、又先守チームが最後の攻撃で三人がアウトにならない前に一點勝ち越した場合にも云ふ。

アルファ・ペーパー・エンド・プレート (Alpha paper and plate) アルファ紙及び乾板。

イルホトド會社が一八九〇年と其翌年に紹介した塩化臭素印畫紙と透明陽畫の特殊のもので、乾板も紙も人造光線にて印畫せられた後現像する。

アルファベット (Alphabet) 字母。英語の ABC 二十六文字の事を云ふ。

アルファ・レイズ (Alpha rays) ラヂウムの如き物質から放射される高速ヘリウム原子核

アルブミノメーター (Albuminometer) 蛋白計。物質中に含まる、蛋白質の量を計る器

械で、尿検査等にも用ひらる。

アルプス (Alps) 歐洲大陸にある連峰。伊、佛、西、獨、奥の國境に連り長さ七百五十

アル

アル

籽に及ぶ。就中モンブラン山 (同項参照) は最も高く四千八百十米にして登山者が多

のもので、乾板も紙も人造光線にて印畫せられた後現像する。

アルファベット (Alphabet) 字母。英語の ABC 二十六文字の事を云ふ。

アルファ・レイズ (Alpha rays) ラヂウムの如き物質から放射される高速ヘリウム原子核

アルブミンメーター (Albuminometer) 蛋白質計。物質中に含まる、蛋白質の量を計る器

械で、尿検査等にも用ひらる。

アルプス (Alps) 歐洲大陸にある連峰。伊、佛、西、獨、奥の國境に連り長さ七百五十

アル

アル

料に及ぶ。就中モンブラン山(同項参照)は最も高く四千八百十米にして登山者が多
い。Alp は高山又は峻嶺の意である。我國では信越地方の連山を日本アルプスと稱
し夏季登山するものが多い。

アルゴ (佛語 Argot) ① 俗語。② 隠語。符牒。

アルコリズム (Alcoholism) 酒精中毒。所謂アル中の事である、アルコールを含む飲
料を永年飲用する結果中毒症を起すのである。

アルコール (Alcohol) 酒精。酒類の中に含まれてゐる、清酒は約一三%、ブドウ酒は約
一〇%、ブランデーは約四五%のアルコールを含む。又酒の意味にも用ひ、アルコー
ル黨は飲酒仲間である。エチル・アルコールを通常單にアルコールと云ふのである

アルコールランプ (Alcohol-lamp) アルコールを燃料とする洋燈。

アルコールファーマンテーション (Alcohol-fermentation) アルコール醱酵。糖類が酵母
によりアルコールに變化する事。

アルコールエンジン (Alcohol-engine) アルコールを燃料とする機關。

アルコールメーター (Alcohol-meter) アルコール計。アルコールの百分率を正確に知る
ため目盛を施した比重計。

アルコーブ (Alcove) ① 室の壁にある凹所。洋風建築にて壁の一部を引き込まして床の
間の如くした所。床の間。寢所。② 東屋。亭(ちん)。③ 岸壁。

アルコス (露語 Arcos) ソウエート・ロシアの經濟機關で外國に設置した貿易代理所。

アルゴン (Argon) 無色無臭の氣體元素の一。空氣中に存在し、ネオンライトや瓦斯入
電球に用ひられ、電流によつて美しい光輝を放つ。

アルテール (露語 Artel) 労働者組合(ロシアの)。

アルサス・ローレン (Alsace Lorraine) アルサスとローレン、いづれもフランスの東部地
方で曩に佛國が獨佛戦争に敗れて獨逸に割譲した地であるが、歐洲戦亂の講和會議の
結果佛國之を恢復した。エルザス・ロートリンゲンとも云ふ。

アルキメデス (Archimedes) 希臘シラクサの人、古代の大數學家で有名な「アルキメデ
スの原理」の發見者(西紀前二八七年生。同二〇二年歿)。

ア

アルメリア (Armeria) 芝草に似た植物で春季紅白の花を群開す。

アルミニウム (Aluminium) 単にアルミ又はニウムとも云ひ、日本では輕銀と譯されてゐる金屬元素の一、化學符號 Al 原子量二七・一〇。廉價、強靱然かも空氣中にて酸化せぬ爲飛行機の材料、鍋、釜、辨當箱其の他用途の多い金屬でボークジットと云ふ鑽石より採るが、我國にはこの鑽石を産しない爲外國より輸入してゐる。

アルミニウム・クロライド (Aluminium chloride) 塩化アルミニウム。

アルミニウム・ブロンズ (Aluminium bronze) アルミ銅。アルミニウム一、銅九の比率の合金で、黄金色をなし酸化せぬ所に特色がある。

アルミニウム・フラッシュライト (Aluminium flashlight) アルミニウム閃光。アルミニウム青銅粉又は銀青銅として知られ、閃光手術にマグネシウムの代用をし或は之と結合して使用せらる。

アルミニウム・サルフェート (Aluminium sulphate) 硫酸アルミニウム。

アルミニウム・スクリーン (Aluminium screen) 銀幕。映寫幕の一種でアルミニウムの粉末等を紙に塗つて製す、其の反射率は非常に良く小型映畫の映寫に用ひらる。

アルミノグラフィ (Aluminography) アルミニウム版法。同上に依る印刷術。

アルジャン (佛語 Argent) ① 銀。② 金錢。

アルシス (希語 Arsis) 樂曲の拍子にて強音に奏さる、部。又詩では強めらる部分の韻律アルヒーフ (獨語 Archiv) 文庫。叢書。原著。原文集。

アルピニスト (Alpinist) 高山登山家。マウンテナイヤー (Mountaineer) と同じ意であるが、アルピニストと云へば何さなく近代的な響があり最近よく此の語が使用される。アルピニズム (Alpinism) 登山術。

アルビオン (Albion) 大不列顛又は英吉利の古稱。今日ではアルビオンペーパーとかアルビオン万年筆の如く商品名によく用ひられてゐる。又クロッカス(サフラン)の一種に此の名がある。花は紫色の巨大輪である。

アルビュメナイズド・ペーパー (Albumenised paper) 鶏卵紙。寫眞の焼付をなす紙、本紙は塩素紙に似たもので、紙に光澤と銀感光を與へる爲に塩液の代りに卵白その他アル

が、アルピニストと云へば何となく近代的な響があり最近よく此の語が使用される。
アルピニズム (Alpinism) 登山術。

アルビオン (Albion) 大不列顛又は英吉利の古稱。今日ではアルビオンペーパーとかアルビオン万年筆の如く商品名によく用ひられてゐる。又クロッカス(サフラン)の一種に此の名がある。花は紫色の巨大輪である。

アルビューメナイズド・ペーパー (Albumenised paper) 鶏卵紙。寫眞の焼付をなす紙、本紙は塩素紙に似たもので、紙に光澤と銀感光を與へる爲に塩液の代りに卵白その他
アル

アル——アカ

の薬品を塗つたものである。

アルビューメン (Albumen) ① 蛋白。② 蛋白質。

アルビューメン・プロセス・ビール (Albumen process beer) ビーア蛋白法。太陽寫眞術用乾コロチオン法で一八七四年 Sir William Abrey の發明にかゝり風景にも使用さる

アルモワール (佛語 Armoire) ① 箆笥。② 戸棚。押入。

アルモンド (Almond) 巴旦杏(アメンドウ参照)。

アル・セニヨ (Al segno) 音楽の反覆記號で此の記號より樂譜の初めに返り ♩ にて終る。

アルゼントタイプ (Argentotype) 銀印畫。臭素紙の古名で製造當時廣く用ひられた。

アルゼントメーター (Argentometer) 銀度計。

アルゼンチナ (Argentina) 亞爾然丁共和國 (Argentina Republic) 面積約十九萬方里商業、教育の發達せること南米第一で、首府はブエノスアイレスである。

アルゼンチン・タンゴ (Argentine Tango) アルゼンチンの舞踊(タンゴダンス)。此のタンゴは今より約三十年以前アルゼンチンに發生した表情の多い、然かも性的表現の強いダンスである。間も無く此のタンゴは紐育へ、紐育より倫敦へ、巴里へと流行して行き、表情たつぷりの濃厚なダンスがあつさりした上品なダンスに改良せられてモダンタンゴ(フレンチタンゴ)が出来上つたのである(同項参照)。

アルゼンタイト (Argentite) 硫銀鑛。輝銀鑛。暗灰色不透明で重要な銀鑛である。

アルゼンフェラトーズ (獨語 Arsenferratose) 補血強壯劑。砒素 $\text{O} \cdot \text{O} \cdot \text{O}$ 三パーセント、鐵 $\text{O} \cdot \text{三}$ パーセントを含有する耐久性液劑。

アルス (羅語 Ars) 藝術。英語のアートは此れより出たものである。

アワー (Hour) ① 時間。時刻。② 時節。

アカデミー (Academy) ① 専門學校。大學校。② 學士院。美術學校。プラトンがアテナ郊外アカデメイアで哲學の講議をした事より出た語でプラトン學派を意味す。

アカデミック (Academic) ① 専門學校又は大學の學生。② 學士會員。③ 學究的。官學的。又は學者式の融通の利かゝ者を評して云ふ。一般には學校風な、形式的な、等の意に用ひらる。

アカデミック・ガウン (Academic gown) 學服。學校の制服。

アカデミック・スクール (Academic school) アカデミー學派(プラトン學派)。プラトンの學說を祖述せる學者の總稱(アカデミー参照)。

アカデミシャン (Academician) ① 學士會員。② 中學生。専門學校生徒。大學生。

アカシア (Acacia) 荳科、れむの木屬の喬木。樹幹高く白色の小さな花を開く木で街路樹としてよく用ひられ又裝飾用として栽培せらる。

アタニー (Attorney) ① 辯護士。② 代理人。尙アタニー・セネラルは検事長。

アダヂオ (伊語 Adagio) ① 音樂用語で「緩徐に」の意。② 緩徐曲。

アダヂオ・ノン・トロポ (伊語 Adagio non troppo) 音樂用語で「餘り遅くなく」の意。

アダヂオ・アッサイ (伊語 Adagio assai) 音樂用語で「アダヂオより更に緩徐に」の意。

アダヂエット (伊語 Adagietto) 音樂の速度記號で「アダヂオより稍早き」速度。

アダリン (Adalin) 催眠鎮靜劑。尿素を含む白色の結晶である。

アダルト (Adult) 大人。成人。壯丁。

アダルト・エデュケーション (Adult education) 成人教育。初等、中等教育を終へ直ちに

業務についた労働者、農民、事務員等の思想善導の爲勤務の傍ら修養教育を與へる事

アダルトリー (Adultery) 姦通。有夫又は有妻の者が他の第三者と情を通ずる事である

我國の法律では、女子の場合のみ姦通罪として罰するが男子の場合は何等制裁を受け

ない。歐米に於ては男女平等に姦通罪を認め或は社會的制裁によつて處分される。

アダルトレーション (Adulteration) ① 偽造。② 偽和。不純物を混じて品質を下げる事

アタッチ (Attach) ① 愛慕す。② 拘引す。逮捕す。③ 差押へる。

アタッチメント (Attachment) ① 愛慕。愛着。執着。② 拘引。逮捕。③ 差押。

アタッチメント・スクリー (Attachment screw) 取付螺。部分品等を取付けるもの。

アタック (Attack) ① 攻撃す。着手す。② 攻撃。着手。尙セネラル・アタックは總攻撃。

アタッシェ (佛語 Attache) 大使館員又は公使館員。隨行員。尙ミリタリー・アタッシェは

大(公)使館附陸軍武官の意。

アタッシェ・ケース (Attache case) 手提鞆。

アカ——アタ

アダ——アタ

アダム (Adam) ユダヤ神話で地上に現れた最初の人間。アダムの肋骨より妻のイブを

アタチ (Attach) ① 愛慕す。② 拘引す。逮捕す。③ 差押へる。
アタッチメント (Attachment) ① 愛慕。愛着。執着。② 拘引。逮捕。③ 差押。
アタッチメント・スクリー (Attachment screw) 取付螺。部分品等を取付けるもの。
アタック (Attack) ① 攻撃す。着手す。② 攻撃。着手。尙ゼネラル・アタックは總攻撃。
アタッシェ (Attaché) 大使館員又は公使館員。隨行員。尙ミリタリー・アタッシェは
大(公)使館附陸軍武官の意。
アタッシェ・ケース (Attache case) 手提鞆。

アカ——アタ

アダ——アタ

アダム (Adam) ユダヤ神話で地上に現れた最初の人間。アダムの肋骨より妻のイブを
作る。アダムはイブと共にエデンの花園に住んでゐたがアダムと妻イブが禁斷の果實
を取つて食つたため神の怒を受け、を追放され、それ以來人間は種々の苦しみを受
ければならなくなつたと云ふ(イブ参照)。尙アダムの子孫は男子を意味する。
アダムス・アップル (Adam's apple) 喉佛。もくく此の語は「アダムの林檎」の意でアダ
ムが禁斷の林檎を食へた爲めに出來たと傳へられてゐる。

アダム・スミス (Adam Smith) 英國の大經濟學者にして又哲學者(西紀一七二三年生。
一七九〇年歿)。一七六七年大著「富國論」の執筆に着手し、此れより九年間即ち五
十三歳迄これの完成に心血を注いだ。「富國論」の出版されたのは起稿してより十二
年目の一七七六年である。「道德情操論」、「富國論」(諸國民の富の性質及び原因に關す
る研究)等は有名である。

アタクシヤ (Ataxia) 運動失調。運動器官に缺陷を起す病氣。

アタマン (羅語 Ataman) コサックの首領。コサック兵の大將。

アダプト (Adapt) ① 適合せしめる。② 修正す。改正す。③ 翻案す。

アダプター (Adapter) ① 適合者。適要者。應用者。② 修正者。翻案者。

アダプタビリティ (Adaptability) 適應性。順應性。動物や植物が外界に適應する様自
身の形態或は体色等を變化せしめる性質を云ふ。

アダプテーション (Adaptation) ① 適應。順應。② 改作。翻案。③ 小説、戯曲等を改
作、脚色する事。近頃では軽く焼直し、受賣の意に用ひられる。

アダプテッド・バイ (Adapted by) 「誰々脚色」の意。

アダミート (Adamite) アダムの裔即ち人の意。又アダム教派、西紀一三〇年頃アフリカ
に起つた基督教の一派で人類の原始時代に返るを主義とし婚姻祈禱懺悔を拒否する。
アタビズム (Atavism) 隔世遺傳。親の性質を受けずして祖父の或は數代以前の先祖の
性質等が遺傳する事である。

アタピン (和製語) 安物の酒の意。飲めば必ず頭がピン／＼痛む十錢正宗やアタピン・カ
クテルの事。この流でやるとアタピン・ポットは當然安葡萄酒と云ふ事になる。

アレー (獨語 Allee) 並木道。散歩路。

アレゾスコープ (Alethescope) ヴェニスの Signor pohlに發明されたる光學的考案物で、

透明陽畫或は普通寫眞印畫を検査するに用ひられ、大なる單鏡玉より構成せらる。

アレグロ (伊語 Allegro) 音樂の速度記號で「急速且快活に」の意。又轉じて「快速」の

意に用ひられ、ドライヴの時等「もつゝアレグロでやつて頂戴な」等と云ふ。

アレグロ・マ・ノン・トロポ (伊語 Allegro ma non troppo) 音樂用語で「速かに、然し過度でなく」の意。

アレグロ・アッサイ (伊語 Allegro assai) 音樂用語で「十分早く」の意。

アレグリッシモ (伊語 Allegrissimo) 音樂用語で「甚だ快速に」の意。

アレグレット (伊語 Allegretto) ① 音樂の速度記號で「やゝ急速に」の意。② 快速調。

アレゲーシオン (Allegation) ① 主張。申立。陳述。② 引證。

アレゴリー (Alegory) 寓言。寓意。又寓意を含めた繪畫或は彫刻。即ち寓意によつて事實を諷刺する事で「インツプ物語」等は其代表的なものである。

アレキサンドリア (Alexandria) 英吉利の保護國埃及の地中海岸にある貿易港。

アレキサンドリアン・スクール (Alexandrian school) アレキサンドリア學派。二三世紀

頃よりアレキサンドリアに起つた哲學の一派。

アレキサンドル (Alexander) 歴山大帝 (西紀前三五六年生。同三二三年歿)。希臘の不受世の英主で亞細亞を征服した。

アレキサンドライト (Alexandrite) アレキサンダー石。薄紫色の寶石で夜間紅色に變る

アレスト (Arrest) ① 逮捕す。拘束す。拘留する。② 逮捕。拘留。

アレンヂ (Arrange) ① 整へる。整列す。② 整調す (音樂)。③ 協定す。

アレンヂメント (Arrangement) ① 整頓。整理。② 配置。裝置。③ 協定。④ 編曲。

アレンヂメント・コンミッティー (Arrangement committee) 準備委員會。準備委員。

アゾダイズ (Azodyes) アン染料。化學的方法により窒素化合物より製造す。

アソシエート (Associate) ① 仲間。組合員。加入者。② 聯合す。交際す。聯想す。

アソシエーション (Association) ① 協會。組合。會社。② 聯合。聯想。③ アソシエー

アレー——アソ

アソ——アッカ

アレスト (Arrest) ① 逮捕す。拘束す。拘留する。② 逮捕。拘留。
アレンヂ (Arrange) ① 整へる。整列す。② 整調す (音楽)。③ 協定す。
アレンヂメント (Arrangement) ① 整頓。整理。② 配置。装置。③ 協定。④ 編曲。
アレンヂメント・コンミッティー (Arrangement committee) 準備委員会。準備委員。
アゾダイズ (Azodyes) アゾ染料。化學的方法により窒素化合物より製造す。
アソシエート (Associate) ① 仲間。組合員。加入者。② 聯合す。交際す。聯想す。
アソシエーション (Association) ① 協會。組合。會社。② 聯合。聯想。③ アソシエー
アレー——アソ

アソ——アツカ

シヨン・フットボールの略 (同項参照)。

アソシエーション・フットボール (Association football) ア式蹴球。蹴球の一種で敵のゴールへボールを蹴り込む競技である。ラグビーフットボールとの差は (以下括弧内はラ式) 一、ア式—チームの全員は十一人 (十五人)、二、ボールは眞圓形 (橢圓形)、三、ボールに手を觸れる事は許されない (手に持つて走り得る)、随つてラ式はスクラムを組み烈しく揉み合ふに反し、ア式は散開の形式で、各員が遠く近くボールを蹴り繼ぎて敵のゴールへ入れるのである。俗にサッカーと云ふのはこの事である。アツを冠せる語にして本項になきものは、例へばアシストはアシストの項を見よ。

アップーハウス (Upper House) 上院。

アップーカット (Upper-cut) 掬ひ撃。拳闘の攻撃法の一、腕を鉤形に曲げ下から掬ひ上げる様に撃つ方法で敵の顎、水落、心臓等に加撃す。

アップークラス (Upper-class) 上流社會。上流階級。

アップーデッキ (Upper-deck) 上甲板。船舶に於て最も上部の甲板をいふ。

アップパッパ (Appappa) ワンピースの婦人用夏季簡易服、こいへば體裁はよいが夏になると娘さんは勿論丸鬚の奥さんから婆さんまで至る所アップパッパ・オン・パレードの有様で、丸鬚にアップパッパ、下駄穿きで市場へ買物の奥様等、餘り良い感じのものでもない、しかも見るからにだらしないところから締め括りのない無貞操な女のこころをアップパッパ・ガールと云ふ様にもなつた。百貨店ではこれにホームドレス (家庭着) 等と近代的な名を付けて大廉賣をやつてゐる。

アップワントマン (佛語 Appointments) 給料。俸給。

アット・パー (At par) 株式用語で額面同額で、平價にての意。

アット・バット (At bat) 野球の打撃數。四球、死球、ボークや相手の故意の妨害によつて出壘した場合、若しくは犠牲打でアウトになつた場合は打數に數へない (略字 ab)。

アットリビュート (Attribute) 屬性。特質。事物の具有せる本來の特性を云ふ。

アット・サイト (At sight) 一覽拂。呈示すれば即時支拂はれる手形、小切手等を云ふ。

アッカウント (Account) ① 計算。勘定。計算書。② 辯解。③ 判断。④ 始末書

ア

アカウント・ツー・リシーブ (Account to receive) 受取勘定。
 アccount・ツー・ギブ (Account to give) 支拂勘定。
 アccount・タント (Accountant) ① 出納係。② 會計士。會計係。主計。
 アソシエ (佛語 Associe) 社員。會員。尙アソシヤーションは協會、組合をいふ。
 アップ (Up) ① 上。立ち上りて。② 映畫用語にてはクローズ・アップの略で大寫しの事。③ 野球にては試合に熱中してのばせ上る事。

アップホルダー (Up-holder) ① 支持者。後援者。援助者。② 辯護者。

アップトレイン (Up-train) 上り列車。尙ダウントレインは下り列車の意。

アップル (Apple) 林檎。尙アップル・オブ・ラブはトマトのことを云ふ。

アップルト (Up-root) 根絶する。剿滅する。【例】盛り場の不良達をアップルトする
 アップルパイ (Apple-pie) 林檎入りのパイ。林檎の煮詰めたものを入れた饅頭型の食品。

アップルソース (Apple-sauce) 林檎のソースの意だが實際にはそんなものはない、つまりこれは「馬鹿野郎」「くそッ！」等の如く失敗した時人を罵る時等の叫び聲である。

アップルエッセンス (Apple-essence) 林檎エッセンス。清涼飲料の材料で、主に瀧草酸アミール・エステルから作られ、これを六倍乃至十倍のアルコールに溶かして用ふ。

アップオールズ (Up-oars) ボートにて敬意を表する時の號令で、この號令と共に一齊にオール(櫂)を直立する、丁度陸軍の捧銃に當る。

アップダウン (Up-down) 上下、昇降の意より轉じてエレベーターの縦行者の意に用ひられてゐる。【例】彼女は〇〇ビルでアップダウンをやつてゐる。

アップダウン・ボーイ (Up-down boy) 昇降機係の少年。

アップダウン・ガール (Up-down girl) 女昇降機係。エレベーターガールに同じ。

アップトゥデート (Up-to-date) 現代的。最新式。近頃では此語の代りにフランス語の
 ア・ラ・モードがよく用ひられてゐる。尙この反對はアウトオブデートである。

アップトゥミニット (Up-to-minute) 焦眉の。火急の。

アップライ (Apply) ① 適用す。應用す。② 充當す。③ 申込む。志願す。

アップライト (Upright) ① 直立せる。眞直な。② 正しき。端正な。

アッカ——アプ

アップ——アッピ

アップライド・ケミストリー (Applied chemistry) 應用化學。化學を社會の實益の爲に應

アップダウン・ボーイ (Up-down boy) 昇降機係の少年。
アップダウン・ガール (Up-down girl) 女昇降機係。エレベーターガールと同じ。
アップトゥデート (Up-to-date) 現代的。最新式。近頃では此語の代りにフランス語の
ア・ラ・モードがよく用ひられてゐる。尙この反対はアウトオブデートである。
アップトゥミニット (Up-to-minute) 焦眉の。火急の。
アップライ (Apply) ① 適用す。應用す。② 充當す。③ 申込む。志願す。
アップライト (Upright) ① 直立せる。眞直な。② 正しき。端正な。

アッカ——アプ

アップ——アッピ

アップライド・ケミストリー (Applied chemistry) 應用化學。化學を社會の實益の爲に應
用すべく研究する學問。醫化學、工業化學、生理化學等の如きもの。
アップライト・ピアノ (Upright piano) オルガン型ピアノ。尙丸型の偏平なのはグラン
ドピアノである。

アップライアンス (Appliance) ① 器具。用具。② 設備。③ 應用。適用。
アップライジング (Up-rising) ① 立ち上る事。② 暴動。叛亂。③ 激昂。激動。
アップランド (Upland) ① 高臺。高地。山地。② 内地。
アップブリング (Up-bringing) ① 養育。撫育。② 教育。
アップサイド・ダウン (Upside down) ① さかさま。あべこべ。② 無茶苦茶。
アップショット (Up-shot) ① 結果。結局。② 要點。要旨。
アップヒル・ターン (Up-hill turn) スキー用語で「上り廻轉」。斜面を斜滑降中に廻轉を
行ひ、山に向つた場合を云ふ。

アップヒル・レース (Uphill race) 登山競走。

アップセット (Up-set) ① 顛覆す。顛倒す。② 番狂はせ。【例】今年の選抜野球大會は
意外なアップセットがあるかも知れない。

アップセット・プライス (Upset price) 最底値段。【例】アップセット・プライス十圓です。

アップスタート (Upstart) ① 成金。成上り者。② 氣取り屋。

アッササン (佛語 Assassin) ① 暗殺す。② 暗殺者。刺客。

アッシャー (Usher) 座席案内人。劇場等で觀客を座席へ案内する者。

アッシュズ (Ashes) ① 灰。② 火山灰。③ 屍灰。アッシュユモもいふ。

アッシュ (Ash) 秦皮(わねり)。スキー材に用ひらるゝが質が軟くて磨滅し易い。

アッシュトレイ (Ash-tray) 灰皿。煙草の灰を受ける容器。

アッシュア (Assure) ① 保證す。請合ふ。【例】大丈夫僕がアッシュアする。② 確かむ。

アッシュアランス (Assurance) ① 保險 (特に生命保險)。② 保證。請合。

アッシュキャット (Ash-cat) 爐邊の猫。轉じて爐邊を離れぬ無精者。

アッピールング・パワー (Appealing power) 迫力。演劇、映畫乃至文學等で人を感動せ

しめる力。アツピールする力をいふ。

アツピール (Appeal) ① 控訴。抗告。② 世論に訴へること。檄。③ 訴へる。呼びかけ
る。【例】もつと現実的な事物を把り舉げて大衆にアツピールしなければ駄目だ。

アツピールガール (Appeal-girl) 魅力を盛んに發散して異性を惱殺する女。

アツピリア (Appear) ① 出現する。現はれる。【例】斯くて我が印刷界に驚異的優秀印
刷機械がアツピリアするに至つた。② 世に出る。公になる。

アツピリアランス (Appearance) ① 外見。② 態度。風采。③ 出現。

アッセンブリー (Assembly) 及び本語を冠せる語はアセンブリーの項を見よ。

アネロイド・バロメーター (Aneroid barometer) 無液晴雨計。一種の携帯用晴雨計にて
水銀を使用せず薄い金屬板によつて氣壓の變化を示す。

アネクドット (Anecdote) ① 逸事。② 逸話。奇聞。【例】彼はアネクドットの所有者だ

アネクセーション (Annexation) ① 合併。併合。② 附加。附添物。

アネモネ (Anemone) 翁草。秋牡丹。耐寒性球根植物にして花は紅紫白色等ありてケシ
の花に似て居て四五月頃開花す。(花詞) 失望の意。

アネモメーター (Anemometer) 風速計。風速を測る器械。

アネモスコープ (Anemoscope) 風信器。風向を觀測する器械。

アナ (Ana) ① アナウンサーの略。② アナーキスト又はアナーキズムの略(各項参照)。

アナキー (Anarchy) ① 無政府。② 無秩序。

アナキスト (Anarchist) 無政府主義者。無政府論者。尙この派に屬することをアナ
キスト系統、略してアナ系と云ふ。

アナキスト・コミュニズム (Anarchist communism) 無政府主義的共產主義。簡単に
「アナ系ボル」とも云はれてゐる。

アナキズム (Anarchism) 無政府主義。個人の自由を尊重し一切の支配權力を否定し
て社會的にも經濟的にも絶對自由なる無政府社會を實現せんとする思想で、ゴドウイ
ン、プルードン、バクーニン、クロボトキン、我國にては大杉榮等が此派である。此
等には理論上多少の差異はあるが何れも共產主義と對立し、個人的テロを主張し盛ん

アツピ——アナ

アナ

に暗殺戦術を取つたが、現在では餘り勢力は振らない。

アナキスト (Anarchist) 無政府主義者。無政府論者。尙の派。キリスト系統、略してアナ系と云ふ。

アナキスト・コミュニズム (Anarchist communism) 無政府主義的共産主義。簡単に「アナ系ボル」とも云はれてゐる。

アナキズム (Anarchism) 無政府主義。個人の自由を尊重し一切の支配権力を否定して社会的にも経済的にも絶対自由なる無政府社会を實現せんとする思想で、ゴドウィン、プルドン、バクーニン、クロボトキン、我國にては大杉榮等が此派である。此等には理論上多少の差異はあるが何れも共産主義と對立し、個人的テロを主張し盛んに暗殺戦術を取つたが、現在では餘り勢力は振はない。

アッピ——アナ

アナ

アナトール・フランス (Anatole France) 佛國文豪。一八四四年首都パリに生れ始め高踏的な詩を作つてゐたが評論を書き更に小説を書く様になつた。出世作は「シルベストル・ボナールの罪」で、晩年ゾラと共に社會主義運動に奔走し、又クラルテ運動(同項参照)に参加し無産階級の啓蒙に務めた、一九二一年にはノーベル文學賞を受け、一九二四年佛國の花園とも云はれるツレーヌ地方の小都で永眠するや佛國朝野は盛大なる國葬を以て彼を送つた。

アナトミー (Anatomy) ①解剖。分解。②解剖學。尙アナトマイズは解剖するの意。

アナリチカル・ポर्टレーチュア (Analytical portraiture) 分解的人像。

アナリシス (Analysis) ①分解。分析。尙アナリストは分解者。分析者。②綱領。

アナルコ・サンチカリズム (Anarcho syndicalism) 無政府主義的労働組合主義。フランスのシー・デー・チー(参照)の左翼派は一九二〇年革命的サンチカリスト委員會(C. S. R.)を組織しコミンテルン加盟運動をなし翌年除名されシー・デー・チー・ユー(参照)を組織した、この指導精神がアナルコ・サンチカリズムで、米國のI. W. Wも此れで、又アナルコ・サンチカリスト・インターナショナルは第四インタのこと。

アナガール (Ana-girl) 女子アナキスト。又女子アナウンサーのことにも云ふ。

アナナス (Ananas) 鳳梨(パイナップル)。熱帶地に産する果實。

アナライザー (Analyzer) 分光器。

アナライズ (Analyse) 分解す。分析す。【例】この薬はアナライズして見る必要がある
アナライズド・スクール (Analysed school) 分析法學派。實驗法理學說の一派、此派は法の現象を解剖分析してその成分と組織とを明かにしその中に有する通素を知りその觀念を明かにする目的であるから恰も人体に於ける解剖學、組織學の如きものである

アナウンサー (Announcer) ラヂオの告知係。陸上競技會に於いて競技の成績等を報告する人、拳闘で出場選手の体量、回数、審判の判定等を觀衆に告知する人等要するに報告や告知をする人は皆アナウンサーである、轉じて人のことを告げ口する「おしや

ベリ」な人間のこゝをも云ふやうになつた。

アナウンス (Announce) 告知す。發表す。布告す。(ラヂオを) 放送する。

アナウンスメント (Announcement) 告知。通告。發表。披露。

アナクロ (Anachro) アナクロニズムの略(同項参照)。【例】彼はアナクロものだ。

アナクロニック (Anachronic) 時代錯誤の。【例】そんな考へはアナクロニックだよ。

アナクロニズム (Anachronism) 時代錯誤。時代の變つてゐる事にてんで頭を置かず、

十年一日の如く何時迄も舊思想の色眼鏡で物を見る事である。今の世にスポーツの精神を解し得ずスポーツを悪い遊びだと思つたり、映畫を見てはいけない等と云ふ先生方等も勿論アナクロである。先頃或政治家が筑前琵琶や浪花節で思想善導を云々したが、アナクロニズムもこゝ迄來るミナンセンス物である。

アナグリフ (Anaglyph) 浮出寫眞。浮彫物。薄肉彫裝飾。

アナグリフオスコープ (Anaglyphoscope) 異色實體鏡。浮出繪を見る特殊眼鏡。

アナクレオン (Anacreon) 古ギリシヤの抒情詩人。彼は酒と戀を讚美したる故アナクレ

オニックとは「酒と戀を讚美する」、「歡樂の」等の意となる。

アナプラチズム (Anaplatism) 土地錯誤。土地の客觀的條件の相異等を無視して他の土地と同様の制度法律を適用せんことをいふ。

アナモーフォシス (Anamorphosis) ① 歪像。② (花や葉の) 畸形。

アナモーフォスコープ (Anamorphoscope) 歪形鏡。歪形に描いた繪を反射して之を正しい畫像とする圓筒形鏡面。

アナスタチック・プロセス (Anastatic process) アナスタチック印畫法。感光物の膜面へ繪を密着せしめ感光板或は紙の背部より光に露出し線畫を復寫する方法。

アナスタチック・プリンチング (Anastatic printing) 亞鉛凸版印刷。

アナスコープ (Anascope) 正像暗函。焦點硝子上の畫像を轉倒せしめ正しく焦點を見せしめる暗函。

アナンシエーション (Annunciation) ① 布告。發表。宣言。② 天使ガブリエルが聖母マリアにキリストの生誕を告げたこと。

アナ

アラ——アラ

アラ (Ala) 風に。流に。尙アラ・ラ・フランスは「佛蘭西流に」の意である。

アナスタチック・プロセス (Anastatic process) アナスタチック印画法。感光物の膜面へ繪を密着せしめ感光板或は紙の背部より光に露出し線畫を復寫する方法。

アナスタチック・プリンチング (Anastatic printing) 亞鉛凸版印刷。

アナスコープ (Anascope) 正像暗函。焦點硝子上の畫像を轉倒せしめず正しく焦點を見せしめる暗函。

アナンシエーション (Annunciation) ① 布告。發表。宣言。② 天使ガブリエルが聖母マリアにキリストの生誕を告げたこと。

アナ

アラ——アラ

アラ (Ala) 風に。流に。尙アラ・フランセは「佛蘭西流に」の意である。

アラ (Allah) アラビア語で「神、上帝」の意。

アララム (Alarum) 目醒まし装置。

アラーム (Alarm) 警報。警笛。呼鈴。尙アラームベルは警報電鈴の意。

アラームシグナル (Alarm-signal) 非常報知器。

アラームスト (Alarmist) 人を驚かす人。人騒がせな人。杞憂家。

アラース (Alas) 悲しい哉。さてさて。

アライ (Ally) ① 聯合國。同盟國。同盟者。② 提携者。交友。③ 同種。

アライバル (Arrival) ① 到着。② 到着者。到着物。

アライブ (Arrive) 到着す。到達す。【例】彼は午後五時にアライブする豫定です。

アライアンス (Alliance) ① 同盟。提携。聯合。② 同盟國。同盟者。③ 親戚。

アラ・ページ (佛語 A la page) クラシックの方向に進む尖端的と云ふ意、例へば一頃流行したショートスカート(短い裾)が廢つてロングスカート(長い裾)が流行り出した、この頃ではイブニングドレスやアフターヌーンは勿論、スポーツ着ですら膝からすつと下まで垂れ下つたものがアラ・ページユなのである。同じく「尖端的」と云つてもアラ・モードとはその行き方が正反對である。

アラバマ (Alabama) 米國南部の州名。首都はモントゴメリーである。

アラバスター (Alabaster) 蠟石の一種。雪花石膏。アラバスター硝子は半透明彩色硝子

アラベスク (Arabesque) ① 唐草模様。唐草や空想的な生物等が優雅な曲線で自由に組立てられた裝飾の一様式。② 同上の如く四肢を動かす優雅な舞踊。③ ロンド形式に似た一種のピアノ曲。

アラル (Aral) 露領中央アジアの湖水。鹹味は強くないが鹹湖で鯉、鱈等を産す。

アラ・カルト (佛語 A la carte) ① 献立表によつて好みの料理を一品づゝ選ぶこと。尙アラ・カルト・ミールは定食にあらざる特選食事。② 一品賣(商品の)。

アラム (Alum) 明礬。正八面体に結晶し、温水中に溶け易く、その溶液は滋味を有して酸性反應を呈す。用途は煤染劑として染色に用ひられ又製紙等にも應用される。

ア

アラム・ハイポ・トローニング (Alum hypo toning) 明礬ハイポ浴。臭素紙及び瓦斯光紙の墨白印畫をセピア色に調色する方法。

アラム・トロフ (Alum trough) 明礬槽。兩側面にガラスを用いた槽に明礬液を盛り、之を光と聚光鏡玉間に挿入し熱光線を吸収せしめる。フィルム及びスクリーンプレート (着色せる) 印畫法の映畫等に廣く用ひらる。

アラムナス (羅語 Alumnus) 校友。學生。卒業生。尙復數はアラムナイといふ。

アラブ (Arab) ① 亞刺比亞人。② 浮浪少年少女 (俗語)。③ 亞刺比亞馬。優秀種馬として世界的に名がある。性質は伶俐、容姿優美にして遺傳性強きため馬匹改良に用ひられ、競馬馬としても名聲がある。英國のサラブレッド、佛國のアングロ・アラブ、露國のオロスロストプチン其他奥國のギドラン等の如き優秀馬種は全てアラブ種を原種として作つたものである。

アラビア (Arabia) アジア洲西南部の世界最大の半島で砂漠があり、大部分は荒地であるがコーヒを産しアラビア馬は殊に有名である。回教の靈地メッカ及びメヂナがあるアラビアゴム (Arabia-gum) 合歡科植物の樹液を精製せるもの。製藥上にては錠劑、乳劑、丸藥等の結合藥として用ひられ、一般には粘着用としてよく使用さる。

アラビアンナイト (Arabian night entertainments) アラビア古代の物語集「千一夜物語」アラビア、埃及、波斯、印度に於ける古代の寓話、御伽噺、傳説等を集めたもの。

アラビン (Arabine) アラビアゴムの純溶解性原素。

アラビン・ガム・バイクロメート・プロセス (Arabine gum bichromate process) アラビヤゴム重格魯謨印畫法。

アラ・モード (佛語 A la mode) ① 元來モードは流行の意であるから、流行の、さか最新流行型、尖端的の意である。「彼女はとてもアラ・ラ・モードなドレスを着てゐるれ」、「この帽子はアラ・ラ・モードで御座います」等を用ひられてゐる。② (alemode) 薄い艶附の絹糸地。③ 清涼飲料では「アイスクリームを用ひたる」の意。例へばバナナ・アラモード、バイナップル・アラモード等である。

アラスカ (Alaska) 北米の西北部を占める大半島 (米領)。面積約十萬方里、氣候甚だ寒

アラ

アム——アウ

く、金、水産物、毛皮等を産す。

ゴム重格魯謨印畫法。

アラ・モード (佛語 *A la mode*) ① 元來モードは流行の意であるから、流行の、とか最新流行型、尖端的の意である。「彼女はとてもアラ・モードなドレスを着てゐるね」「この帽子はアラ・モードで御座います」等と用ひられてゐる。② (calamode) 薄い艶附の絹糸地。③ 清涼飲料では「アイスクリームを用ひたる」の意。例へばバナナ・アラモード、バイナップル・アラモード等である。

アラスカ (Alaska) 北米の西北部を占める大半島(米領)。面積約十萬方里、氣候甚だ寒

アラ

アム——アウ

く、金、水産物、毛皮等を産す。

アムール (佛語 *Amour*) 戀愛。愛情。【例】一目見て妾あの方にアムールを感じてよ。

アムール (佛語 *Amoureux*) ① 戀慕してゐる。② 戀人。

アムーレット (佛語 *Amourette*) 浮氣。浮薄な愛情。出來心。

アムネシア (Amnesia) 健忘症。アムニーシアとも云ふ。

アムステルダム (Amsterdam) 和蘭第一の都會、貿易盛大にして一九二八年第九回萬國オリンピック大會が開催された。

アムステルダム・インターナショナル (Amsterdam International) アムステルダム市に本部を有せるインターナショナル・トレードユニオン・フェデレーション (International Tradeunion Federation) 即ち國際労働組合聯合會の通稱である。一九〇一年設立のユベーンハーゲン國際労働組合書記局が一九一三年に斯く改稱したもので歐洲大戰當時一旦解体し一九一九年アムステルダムに於て再び組織され、加盟各國組合の利益の増進、組合の相互扶助的諸問題に關する共同動作の促進等社會民主主義を指導精神としてコミンテルンと鋭く對立し益々右翼化して労働者間に勢力を失ひつゝある。

アウト (Out) ① 外に。外へ。② 野球戦で打者や走者が三振したり刺殺されたりして攻撃の權利を失ふこと。③ 庭球戦でボールが線外へ出た場合を云ふ。

アウトポート (Outport) 輸出港。外港。

アウトポイント (Outpoint) 競技でより多く得點する。拳闘では判定勝。略稱 O.P.

アウトボクシング (Out-boxing) (拳闘) 相手に近づかずに遠方よりノック(加撃)する方法で力より技で行く選手が屢々用ひる戦法である。

アウトドロップ (Out-drop) (野球) 投手の投じた外曲落下球、即ち打者の身邊近くで外側に曲りながら落下する球のことで普通にはアウトドロと略稱されてゐる。「ブレーキの大きいアウトドロを空振りしてストラックアウト」は曲る度合の大きい球を打者が打ち損つて三振したことを云ふ。

アウトドア (Outdoor) ① 戸外の。屋外の。② 戶外。

アウトドア・ダンス (Outdoor dance) 屋外ダンス。戶外舞踏。

ア

アウトドア・エクササイズ (Outdoor exercises) 戶外運動。

アウトドア・セット (Outdoor set) 屋外の舞臺裝置。

アウトドア・スクール (Outdoor school) 屋外學校。林間學校や海濱學校等をいふ。

アウトトリッガー (Outtrigger) ① 張出し支架。② 同上を備へた競漕用ボート。

アウトルック (Outlook) ① 見張。眺望。先見。又米國にて發行する雜誌名で我國にも

多數の讀者がある。② 壓倒する。

アウト・オブ・バウンド (Out of bound)

① 排球や籃球でボールが境界線又は線外のグラウンドその他に觸れた場合、又ボールが競技者自体の如何なる部分にても觸れたる場合をいふ。② ゴルフ競技でプレーを禁じられた全地域。

アウト・オブ・プリント (Out of print) 絶版 (印刷用語)。

ート・スカートはもうアウト・オブ・ファッショんだ」等を用ひられてゐる。尙アウト・

オブ・デートは時代後れの意である。

アウト・オブ・デート (Out of date)

時勢後れ。舊式。アップ・ツー・デートの反對。

アウトカーブ (Out-curve)

野球で投手が打者に對して投ずる外曲球のこと。即ち打者の

近くで外側に (遠く) 曲る球のことである。

アウトカム (Outcome)

結果。成果。【例】急がずにアウトカムを待つて居たまへ。

アウトレーヂ (Outrage)

① 亂暴。暴行。侵害。無法。② 強姦。凌辱。③ 狂暴。

アウトレット (Outlet)

① 出口。通路。② 販路。賣れ口。③ 排出。

アウトライン (Outline)

① 輪廓。外觀。目鼻立 (顔)。② 梗概。概要。【例】アウトラ

インだけ教へて貰へば後は自分で研究するよ。

アウトライン・ドローイング (Outlined drawing)

見取圖。輪廓圖。

アウトライン・スッチ (Outline-stitch)

フランス刺繡の縫方の一で物の輪廓を作るため

に行ふ返し針の法。

アウトラン (Out-run)

① 勝つ。追越す。② スキー用語で圏外のこと、これはスキー

アウ

跳躍完了後の滑降部分のことで如何に立派なジャンピング (跳躍) を行つてもアウト

アウ

ランで轉倒しては九匁の功を一簣に缺くことになる、だから、これが最も自重を要すべ

アウトレット (Outlet) ① 出口。通路。② 販路。賣れ口。③ 排出。

アウトライン (Outline) ① 輪廓。外觀。目鼻立(顔)。② 梗概。概要。【例】アウトラインだけ教へて貰へば後は自分で研究するよ。

アウトラインド・ドロイング (Outlined drawing) 見取圖。輪廓圖。

アウトラインスッチ (Outline-stitch) フランス刺繡の縫方の一で物の輪廓を作るために行ふ返し針の法。

アウトラン (Out-run) ① 勝つ。追越す。② スキー用語で圏外のこと、これはスキー跳躍完了後の滑降部分のことで如何に立派なジャンピング(跳躍)を行つてもアウト

アウ

アウ

ランで轉倒しては九仞の功を一簣に缺くことになる、だから、**アウ**が最も自重を要すべき所である。世界的の稱ある豊原旭ヶ岳の樺太シャンプエのアウトランは百米ある。

アウトクリアリング (Out-clearing) 手形交換高。持出手形總額。決算のため銀行が交換所を経て支拂を受ける小切手、爲替等の總額。これに對して受入手形總額をインクリアリング (In-clearing) する。

アウトフィールド (Out-field) 外野。野球場でダイヤモンド(本壘と一壘、二壘、三壘)を結ぶ方形の區域以外の場所。尙アウトフィールド・フライは外野に達したフライ。

アウトフィールダー (Out-fielder) 野球の外野手。外壘を守備する人即ちセンター(中堅)ライト(右翼)、レフト(左翼)の總稱である(野球用語)。

アウトフィット (Outfit) ① 準備。仕度。② 仕度品。旅裝。旅費。③ 設備品。

アウトフィッティング (Outfitting) 旅行等の身支度。旅裝。準備。

アウトフォーカス (Out-focus) 撮影の際レンズの焦點を正しく合はさずに撮る事で、此の方法に依れば映寫の際ぼんやりと柔く映り特殊の効果がある。ピンボケとも云ふ。

アウトフォワード (Out-forward) ラグビー競技にてスクラム(密集)第三列の中オープンサイドに在る者のことを云ふ。タッチライン(側線)から遠く離れて位置する。

アウトプレイヤー (Out-player) 庭球戦の守備側。

アウトプット (Output) ① 産出物。産出高。② 發電機の出力。發電力。

アウトコーナー (Out-corner) 野球用語の一でホームプレート(本壘板)の外角のこと、即ち打者と反對の側のホームプレートの角。投手は敵の打撃を封じるためによくこの角を狙つて投球する。「アウトコーナーをつく直球」等の如く用ひる。

アウトサイド (Outside) ① 外部。外側。② 外見。③ 庭球で球がコート外に出た場合。アウトサイド・ハーフ (Outside half) アウトハーフとも云ふ。ラグビー競技に於けるハーフバック(中衛)にはフライハーフミスクラムハーフが有るが、そのフライハーフのことを斯く名づける、これをスタンドオフと呼ぶ人もある。

アウトサイド・エッジング (Out-side edging) スキー用語で外稜角付の事。即ちスキーで雪の斜面を踏むにスキーの外稜(外側の下角)から雪に没する様に踏む事である。

ア

アウトサイダー (Outsider)

① 局外者。門外漢。② 競馬で勝ちさうもない馬又騎手。

アウトサイダーが現れたと云ふことは、番狂はせのあつたことで、賭金者が少いから配當金が莫大な額に上つて大儲けをする、これを「大穴」と云つて競馬賭金者はこれを狙つて一儲けしようとするのである。

アウトシュート (Out-shute)

野球で投手が打者に對して投げた球で自然に曲線を描いて外側に曲ること。これに對して内側に曲ることをインシュートと云ふ。

アウトスポークン (Outspoken)

有りのまゝの。腹藏なく話す。露骨な。

アウトスカート (Outskirts)

郊外。場末。外廓。

アウトスタンディング (Outstanding)

① 目立てる。卓越せる。顯著な。② 未済の。未拂ひの。③ アウトスタンディングズは未拂金。殘金。

アウチング (Outing)

① 外出。散歩。遠足。② 外出用の。散歩用の。③ 驅逐。

アウチングコート (Outing-coat)

外出用上衣。散歩用上衣。

アウターサーキット (Outer-circuit)

電氣器械の外部電路。

アウフヘーベン (獨語 Aufheben)

揚棄或は止揚。對立物の鬭争過程に於て舊きものを否定して、更にその統一されたより高き段階に發展する事をアウフヘーベンと云ふ。例へば「資本主義社會をアウフヘーベンする」と云へば、プロレタリア階級がブルジョア階級の階級鬭争の過程に於て、階級對立の矛盾を克服し資本主義のみならず階級其物を否定して無階級社會を建設する事を云ふのである。尙此語は元ヘーゲル(獨逸の觀念論的哲學者)が彼の觀念的辯證法に於て用ひたものである。又近頃では「妾あの人との戀愛をアウフヘーベンしたのよ」等と軽い意味にも用ひられて居る。

アウフクレエルング (獨語 Aufklärung)

① 解釋。説明。② 開明。啓蒙。

アヴェ、アヴァ (Ave, Avu)

等を冠せる語は夫々アベ、アバの項を見よ。

アウエークニング (Awakening)

① 目覺め。覺醒。復活。② 勃興。振興。

アウエークニング・オブ・スプリング (Awakening of spring)

春の目覺め。青春期に於ける男女の性に對する自覺を云ふ。

アウステルリッツ (Austerlitz)

歐洲チエッコスロバキア國モラビアの都府。一八〇五年ナ

アウ

アウ——アク

逸の觀念論的哲學者)が彼の觀念的辯證法に於て用ひたものである。又近頃「ト」
あの人の戀愛をアウフヘーベンしたのよ」等と軽い意味にも用ひられて居る。

アウフクレエルング (Aufklärung) ① 解釋。説明。② 開明。啓蒙。

アヴェ、アヴァ (Ave, Ava) 等を冠せる語は夫々アベ、アバの項を見よ。

アウエークニング (Awakening) ① 目覺め。覺醒。復活。② 勃興。振興。

アウエークニング・オブ・スプリング (Awakening of spring) 春の目覺め。青春期に於ける男女の性に對する自覺を云ふ。

アウステルリッツ (Austerlitz) 歐洲チエッコスロバキア國モラヴィアの都府。一八〇五年ナ

アウ

アウ——アク

ボレオンがこの地で埃露の聯合軍を破り大捷を博した。

アウスシュテルング (Ausstellung) ① 博覽會。展覽會。② 陳列。

アノニム (Anonym) ① 匿名。變名。偽名。② 匿名者。匿名作家。無名氏。

アノニミチー (Anonymity) 匿名。無名。又作者が不明なること。

アノレクシア (Anorexia) 食慾減退。食慾が減少すること。

アノマリズム (Anomalism) 破格。變則。例外。異常。

アノマラス (Anomalous) 變則の。破格の。並外れの。【例】アノマラスな巨軀。

アクイレジア (Aquilgia) おだまき。樓斗菜屬の宿根草で一二尺の花莖の先に尾狀物の附屬した奇妙な五花瓣を開く。花壇、切花、鉢作のいづれにも適す。

アクロバチック (Acrobatic) 輕業的の。きばごい藝當をする。

アクロバチック・ダンス (Acrobatic dance) 輕業的舞踊。身體をうねらせ、荒つばいひや

ひやさせるやうなきはごい舞踊、又其の踊り子はアクロバチック・ダンサー (Acrobatic dancer) を云ふ。この種の踊り子で有名なのはパリのレビユー小屋フォーリー・ベルジ

エールのエトワール(花形)として人氣者の黒人踊り子ジョセフィン・ペーカーである

アクロバチズム (Acrobatism) 曲藝。輕業。アクロバチック・フィーツともいふ。

アクロバット (Acrobat) 輕業師。曲藝家。又輕業師がうまく綱渡り等をするところから

世渡りの上手な男のこゝとや政治や學術上の變節者のこゝとを指す。

アクロバシー (Acrobacy) ① 曲藝。② 曲乘飛行。陸海軍で云ふ高等飛行のこゝとで宙返

り、横滑り、横轉、逆轉、垂直旋回、上昇錐揉その他多種多様な飛行法がある。空中戦はアクロバシーを行ひつゝ、敵機と渡り合ふのである。

アクロクリニウム (Acroclinium) むぎわら蘭。菊科の一年草で高さ一尺餘に達し、六七

月頃白、淡紅色の花を開く。開花期が永く而も色澤を失はぬから裝飾に用ひらる。

アクホーン (Acouphone) 傳音器。遠くに起つた小さい音響を蓄音器のやうに復出し且つ強大にしてきゝ易くさせる器械である。

アクト (Act) ① 行爲。動作。現行犯。② 決議。③ 幕演劇の。④ 條例。尙エーリ

アン・アクト (Alien Act) は移民條例の意。

ア

アクトレス (Actress) 女優。女役者。尙アクターは男優である。

アクチニック・レー (Actinic ray) 化學線。最も化學力に富みたる光線。

アクチニック・フォーカス (Actinic focus) 化學光焦點。分光景の藍色端の焦點を表示する語である。

アクチニズム (Actinism) 化學線作用。化學線によつて化學的變化の起る働き。

アクチナル (Aktinal) 露出した乾板の復感光劑として、獨逸にて販賣せるもの。

アクチノポリクローム (Actino-polychrome) 多色化學放線。天然色寫眞術の最初の名。

アクチノライト (Actinolite) 陽起石。綠色又は灰綠色である、殊に淡綠色及び綠色で質が緻密なものは裝飾石に用ひる。玉(ぎょく)と云ふのがこれである。

アクチノグラフ (Actinograph) 光度計。乾板に必要な露出時間を計算する器械。

アクチノメーター (Actinometer) 化學線計。化學光度計。光線に露出して生じた畫像を見ることの出來ぬ印畫法に於て燒度の深さを計る器械。燒度計ともいふ。

アクチブ (Active) 能動的。活動的。活潑な。活氣ある。【例】彼はアクチブな青年だ。

アクチブ・ボルケーノ (Active volcano) 活火山。今尙活動してゐる火山の事。尙エクスチンクト・ボルケーノ (Extinct volcano) は死火山である。

アクチブ・オキシヂェン (Active oxygen) 活性酸素。オゾンのことをいふ。

アクチブ・キャピタル (Active capital) 流通資本。

アクチェレランド (伊語 Accelerando) 音樂の速度記號で「漸次急速に」の意。略して Accel. とも記す。

アクチュアリチー (Actuality) ① 現實。現實性。實在。② 事實。實狀。

アクチュアリスト (Actualist) 實際家。現實論者。

アクチュアル (Actual) ① 實際の。事實上の。② 實在する。現時の。③ 實在物。

アクチュアライゼーション (Actualization) 實現。現實化。アクチュアライズは實現する。

アクチビチー (Activity) ① 活動。活動性。② 敏捷。快活。

アクチビズム (獨語 Aktivismus) 一九一一年獨逸の革命的小ブルによつて「アクチオン」なる雜誌が創刊された、その主張がアクチビズムで彼等をアクチビストといふ、

アク

アク — アグ

彼等は確固たる文學によつて大衆を政治的、社會的に自覺せしめんとし、革命的社會

アクチュアリチー (Actuality) ① 現実。現實性。實在。② 事實。實狀。
アクチュアリスト (Actualist) 實際家。現實論者。
アクチュアル (Actual) ① 實際の。事實上の。② 實在する。現時の。③ 實在物。
アクチュアライゼーション (Actualization) 實現。現實化。アクチュアライズは實現する。
アクチビチー (Activity) ① 活動。活動性。② 敏捷。快活。
アクチビズムス (獨語 Aktivisms) 一九一一年獨逸の革命的小ブルによつて「アクチオ
ン」なる雑誌が創刊された、その主張がアクチビズムスで彼等をアクチビストといふ、

アク

アク — アグ

彼等は確固たる文學によつて大衆を政治的、社會的に自覺せしめんとし、革命的社會
民主主義によりマルカス、レーニン主義の宣傳普及に務め一九一七年のロシヤ革命に
際してはそのスローガンの宣傳者ともなつたが、獨逸共產黨の結成されるに至るやそ
のプチブル的本性を曝露し大戦の終熄すると共に没落した。

アクチング (Acting) ① 演技 (こぐさ)。② 代理の。……心得。尙アクチング・マネー
ジャーは支配人代理の意。

アクチング・パートナー (Acting partner) 業務執行社員。

アクチング・ミニスター (Acting minister) 代理公使。

アグリ (Ugly) ① 醜い。醜惡な。【例】容貌はさてもアグリだつた。② 不快な。

アグリー (Agree) ① 同意する。一致する。話がまごまる。② よし! (承知した)。

アグリーブ (Agrieve) 苦める。惱ます。【例】もう二度と僕をアグリーブしないで呉れ。

アグリーアブル (Agreeable) 氣に合つた。心地の好い。愉快な。

アグリーメント (Agreement) ① 協定。契約。② 一致。妥協。和解。【例】遂にアグリ
メントが成立した。③ 承諾。同意。

アグリカルチュリスト (Agriculist) ① 農業者。農夫。耕作者。② 農學者。

アグリカルチュラル (Agricural) 農業の。アグリカルチュラル・カレッジは農科大學。

アグリカルチュア (Agricuture) 農業。耕作。農學。

アグリカルチュア・オフィス (Agricuture Office) 農林省。デパートメント・オブ・アグリカ
ルチュア・アンド・フォレストリーの略。

アグリカルチュア・ミニスター (Agricuture Minister) 農林大臣。農相。

アグリネス (Ugliness) 醜惡。醜きこと。不器量。不快。

アグリモニー (Agrimony) 龍芽草。えぞきんみづひき。

アクター (Actor) ① 俳優。役者。② 行動者。實行者。③ 原告。民事訴訟代理人。

アクターバンド (Actor-band) 俳優が組織せる音楽隊。

アグレッション (Aggression) ① 攻撃。侵襲。② 侵略。侵害。蠶食。

アグレッシブ (Aggressive) 喧嘩好きの。好戦的な。侵略的な。【例】アグレッシブな態度。

ア

アグレッシブ・スピリット (Aggressive spirit) 敵愾心。ホスタイル・スピリットとも云ふ。
 アグレマン (佛語 Agreement) 同意。承認。此の語は外交用語として新聞等にもよく見
 受けられる、即ち新たに大公使を任命して外國に派遣する時、豫め相手國の承認を求
 めるが此れを「アグレマンを求めると云ふのである。それから轉じて戀人に對して
 豫め結婚を申込んでその承認を求めるとやうな場合にも用ひられる様になつた。

アグレゲート (Aggregate) ① 集團する。集まる。② 集團。③ 總計。

アグレゲーション (Aggregation) ① 集合。集成。② 集團。運動競技のチーム。

アクラメーション (Acclamation) 大喝采。稱讚。歡呼。【例】水際立つた演技は満場の
 アクラメーションを博した。

アクウエアリウム (Aquarium) 養魚槽。水草池。水族館。アクオリアムとも云ふ。

アクノレッジ (Acknowledge) 認める。承認する。【例】要求箇條をアクノレッジする。

アグノスチズム (Agnosticism) 不可知論。絶對又は事物の本質は不可知的なりと説く
 學說、即ち萬有の本源を物質となすか、精神となすかに依り唯物論と唯心論に分れる
 が、この派は實際の問題は人間の智力に依つては解決し得ぬといふ一種の懷疑論。

アグファ (Agfa) ビリーカメラやビレッタカメラなどの寫眞機を製造する會社の名であ
 るが、今日では「君アグファ携帯かれ」など、寫眞機の代名詞にも用ひられて居る。

アクエインタンス (Acquaintance) ① 面識。なじみ。知人。知り合ひ。② 熟知。③ 經
 験。尙マーシナリー・アクエインタンスは酒食の友をいふ。

アクア (羅語 Aqua) 水。尙アクワ・ブレーションはエクワブレーションを見よ。

アクアチック (Aquatic) ① 水中の。水上の。② 水産動物。③ 水上遊戯。

アクアチック・ミーチング (Aquatic meeting) 水上競技會。

アクアチント (Aquatint) 銅版蝕鏤法 (Aquatint etching process) 銅版に樹脂を塗り其
 上に書畫を描きその部分の樹脂を除き藥液にて處理し銅版を腐蝕させる法。

アクアレル (佛語 Aquarelle) 水彩畫。水彩畫法。尙アクアレリストは水彩畫家。

アクアレル・プロセス (Aquarelle process) 着色印刷法。

アクアマリン (Aquamarine) 綠玉石。綠柱石。三月の誕生石。アコーマリンともいふ。

アグ——アク

アク

アクション (Action) ① 行爲。行動。身振。② 戰鬪。訴訟。③ 脚色。④ 俳優の演技。

アクア (羅語 Aqua) 水。尚アクワ・ブレーションはエクワブレーションを見よ。
アクアチック (Aquatic) ① 水中の。水上の。② 水産動植物。③ 水上遊戯。
アクアチック・ミーチング (Aquatic meeting) 水上競技會。
アクアチント (Aquatint) 銅版蝕鏤法 (Aquatint etching process) 銅版に樹脂を塗り其上に書畫を描きその部分の樹脂を除き藥液にて處理し銅版を腐蝕させる法。
アクアレル (佛語 Aquarelle) 水彩畫。水彩畫法。尚アクアレリストは水彩畫家。
アクアレル・プロセス (Aquarelle process) 着色印刷法。
アクアマリン (Aquamarine) 綠玉石。綠柱石。三月の誕生石。アコーマリンともいふ。

アグ——アク

アク

アクション (Action) ① 行爲。行動。身振。② 戦闘。訴訟。③ 脚色。④ 俳優の演技。⑤ 映畫監督の用ひる「演技開始」の號令。

アクション・プログラム (Action program) 行動綱領。無産者解放運動で原則綱領に隨つて當面の客觀的情勢の中に勞農階級の闘争規準を示せるもので、最も現實的な利害關係より出發せるものであるから情勢の變化と共にアクション・プログラムも適宜に正しく變化して行かねばならない。

アクシデント (Accident) 事故。偶發事故。ノンアクシデント・ウィークは事故なし週間。アクシデント・インシュアランス (Accident insurance) 傷害保險。

アクシデンタル (Accidental) ① 偶然的。② 音樂の臨時符。即ち一部分の調子を臨時に變へる記號の事でシャープ (#)、フラット (b)、ナチュラル (H) 等の如きもの。

アクシデンタル・ホミサイド (Accidental homicide) 過失の殺人。

アクセデンス (Accidence) ① 初歩。手ほごき。入門。② 文法初歩。③ 偶然。

アクシオム (Axiom) ① 原理。公理。② 金言。格言。アクシオムとも云ふ。

アクシス (Axis) ① 軸。軸線。② ダンスの廻轉軸。

アクセッション (Accession) ① 承諾。同意。② 就任。即位。③ 發作。

アクセセス (Access) ① 面接。【例】彼女にアクセセスを許されたことは幸福だ。② 出入口。

アクセラレート (Accelerate) 促進す。はかどらす。加速す。

アクセラレーター (Accelerator) 促進劑。現象の期間を短縮せしめ一層迅速に畫像を出し顯せしめる爲に現象液中に追加せらるる物質。普通アルカリを用ふ。

アクセラレーション (Acceleration) 加速。加速度。促進。

アクセプト (Accept) ① 受く。承諾する。受命する。【例】晚餐會への招待をアクセプトする。② 爲替手形の支拂を引受ける。

アクセプター (Acceptor) ① 手形の引受人。② 承諾者。同意者。受命者。

アクセプタンス (Acceptance) ① 承諾。承認。② 受領。③ 爲替手形の引受。

アクセプタンス・テスト (Acceptance test) 受領試験。器械等を受け取る際に行ふ試験。

アクセント (Accent) ① 語詞。音節。強音。② 音樂發想記號で「特に強く」の意。

ア

アクスル (Axle) ① 車軸。心棒。② 樞軸。幹部。

アクスルダイナモ (Axle-dynamo) 電車の車臺の下にある車軸發電機。

アマチュア (Amateur) 本職でなく藝術、娯樂等を趣味的に行ふ人を云ふ。アマチュア・スポーツマンとは體力の養成を目的として競技を行ひ、それに依つて得る愉快を愛好する素人競技者のことである、その他アマチュア・ゴルファー、アマチュア・ピアニスト等の如くである。これに對して職業選手はプロフェッショナルと云ふ。

アマチュア・ラジオ (Amateur radio) 米國の素人短波長無線電信。

アマチュア・ムービー (Amateur movie) 素人の映畫、即ち小型映畫の事と云ふ。普通映畫ではフィルム幅三十五ミリに對してこの小型映畫は九ミリ半、十六ミリ等である最近この小型映畫が非常に普及して廣く撮影、映寫される様になつた。

アマチュア・クラブ (Amateur club) 素人藝術家又は運動家等の作れる俱樂部。

アマチュア・フォトグラファー (Amateur photographer) 素人寫眞家。

アマチュア・アスレチック・ユニオン (Amateur Athletic Union) 米國のアマチュア競技聯盟。略語はA・A・Uで其の他にもアマチュア・アスレチック・アンシエーション (Amateur Athletic Association) がある。

アマチュア・スポーツマン (Amateur sportsman) 素人競技者 (アマチュア参照)。

アマリリス (Amaryllis) ① めくらんもろぎ (石蒜科)。六七月頃開花する球根植物の一種である。② 田舎の少女。

アマルガム (Amalgam) 汞和金。水銀と他の金屬との合金。

アマルガメーション (Amalgamation) ① 合併。合同。② アマルガムを作る法。③ ダンスで各種のフィギュアを色々に接続したもの。

アマルガメーション・プロセス (Amalgamation process) 混汞法。水銀にて金銀を含む鑛石を處分し、アマルガムとして金や銀を採取する方法。

アマカス (Amakasu) 關東大震災中無政府主義者大杉榮及び其家族を殺害した甘糟大尉の行爲を動詞に使用し、やつ、けること、又は破壊することを云ふ。

アマゾン (Amazon) ① アマゾンとも云ふ。南米の大河、長さは延長約一四〇〇里で世

アク——アマ

アマ——アプ

界第三の長河で流域と水量は世界第一。② ギリシヤ神話に於ては往時スキタイ (黒

アマलगム (Amalgam) 汞和金。水銀と他の金屬との合金。

アマलगメーション (Amalgamation) ① 合併。合同。② アマルガムを作る法。③ ダンスで各種のフィギュアを色々に接続したもの。

アマलगメーション・プロセス (Amalgamation process) 混汞法。水銀にて金銀を含む鑛石を處分し、アマलगムとして金や銀を採取する方法。

アマカス (Amakasu) 關東大震災中無政府主義者大杉榮及び其家族を殺害した甘糟大尉の行爲を動詞に使い、やつ、けること、又は破壊すること云ふ。

アマゾン (Amazon) ① アマゾナとも云ふ。南米の大河、長さは延長約一四〇〇里で世

アク——アマ

アマ——アプ

界第三の長河で流域と水量は世界第一。② ギリシヤ神話に於ては往時スキタイ (黒海北岸) に住んでゐた勇猛な女賊。轉じて女傑、女丈夫、娼婦の意に用ひらる。

アマランサス (Amaranthus) 雁來紅 (はげいそう)。莫 (ひゆ) 屬の植物で秋に至り葉に紅、黄、白等の奇斑を呈し美麗である。アマランサス又はアマラントとも云ふ。

アマランサス (Amaranth) ① 前項に同じ。② 紫色繪具。紫色。

アマウント (Amount) ① 總計。總數。總額。② 結果。結局。

アマクラチック (Amacritic) 寫眞鏡玉に關する語で化學光線が一焦點に結合したる意。

アマン (佛語 Amant) 愛人。戀人。アマントとも云ふ。

アゲート (Agate) ① 瑪瑙。② ルビ活字 (我が七號活字に相當す)。

アゲラタム (Ageratum) 菊科植物の一種で俗にがつこうあざみといふ。羽毛状の小さい花が無數に咲いて美しく花期が永いので花壇用としても栽培せらる。

アゲン (Again) ① 再び。今一度。又庭球でジュース (得點が三對三の時) の後双方一點宛を得て再びジュースとなることをジュース・アゲンと云ふ。② やり直し。

アブ (Ab) アブノーマルの略。

アフィデービト (Affidavit) ① 宣誓。誓詞。公言。② 誓約書。宣誓書。

アフィシュ (佛語 Affiche) 貼札。ビラ。揭示。

アブロード (Abroad) 外國に。海外に。

アブロード (Applaud) 拍手喝采す。賞讃す。尙アブローダーは喝采者、賞讃者。

アプローチ (Approach) ① 接近す。交渉す。② 接近。交渉。③ 走幅跳又はスキー跳躍にては出發點より跳躍の踏切迄の間を云ふ。即ち助走路のことであつてスキーの場合には十四五度の斜面が適當とされてゐる。

アプロース (Applause) ① 喝采。拍手喝采。② 賞讃。賞揚。

アプロクシメーション (Approximation) ① 接近。② 近似。類似。③ 概算。近似價值。

アプト・システム (Apt system) 急坂を昇降する汽車に危険のないやう通常のレールの間に齒のついたレールを敷き機關車にそなへた齒車と喰ひ合つて徐行するやうに出來てゐる装置をいふ。

ア

アプリヘンション (Apprehension) ① 理解。了解。② 意見。見解。③ 直感。直覺。
 アプリオリ (A priori) 先天的。演繹的。經驗に基かざるの意で、この反對はアポステリ
 オリ (後天的) と云ふ(同項参照)。

アフリカ (Africa) 東半球にある世界第二の大陸。面積約百九十萬方里。英國の保護國
 エジプト獨立國、アビシニヤ王國、リベリヤ共和國の他フランス、イギリス、ベルギ
 ー、ポルトガル、イタリー等の殖民地に分れてゐる。

アプリック (佛語 Applique) 裝飾。着け模様(刺繡等による)。

アプリケーション (Application) ① 應用。摘要。② 申込。出願。願書。③ 勤勉。勉強。

アプリコット (Apricot) 杏(あんず)。エイプリコットが正しい。

アフリュエント (Affluent) ① 裕福な。富める。殷盛な。② 充滿せる。潤澤な。

アプリシエート (Appreciate) ① 鑑賞する。玩味する。② 認識する。評價する。

アプリシエーション (Appreciation) ① 感賞。玩味。② 鑑識。評價。③ 會得。感得。

アプルーバル (Approval) ① 賛成。承諾。② 是認。認可。③ 推獎。

アプルーブ (Approve) ① 賛成する。賛同する。② 是認する。認可する。

アフォーリズム (Aphorism) 格言。警句。諺。尙アフォーリストは警句家の意

アフガニスタン (Afghanistan) 中央アジアのイラン高原の東北部を占める國。

アフターイメージ (After-image) 殘像。物を見た後その物が消去つてからもしばらく
 眼中に残つてゐる映像をいふ。

アフターヌーン (Afternoon) ① 午後。② 晩年。③ 婦人の午後服。

アフターヌーンティー (Afternoon-tea) おやつ。歐米人が午後三時頃に喫する茶。

アフターレコーディング (After-recording) トーキョー製作に際して初め無聲映畫を作り
 後にその畫面に應じた音響を記録する方法である。しかしこれは伴奏音樂の録音に應
 用される位のものである。

アフターピース (After-piece) ① 劇の大切。切狂言。余興。② 餘波。

アブレイディング・パワー (Abrading power) 摩擦粉。乾板或は擴大臭素紙に鉛筆の修正
 を行ひ易からしめる爲、印畫紙の平滑なる面を摩擦し粗面ならしめる粉末。通例輕石

アプ——アブ

アフターヌーン (Afternoon) ① 午後。② 晩年。③ 婦人の午後服。

アフターヌーンティー (Afternoon-tea) おやつ。歐米人が午後三時頃に喫する茶。

アフターレコーディング (After-recording) トーキー製作に際して初め無聲映畫を作り後にその畫面に應じた音響を記録する方法である。しかしこれは伴奏音樂の録音に應用される位のものである。

アフターピース (After-piece) ① 劇の大切。切狂言。余興。② 餘波。

アブレーディング・パワー (Abrading power) 摩擦粉。乾板或は擴大臭素紙に鉛筆の修正を行ひ易からしめる爲、印畫紙の平滑なる面を摩擦し粗面ならしめる粉末。通例輕石

アブ — アブ

アブ

鳥賊の甲等の粉末を使用する。

アブレション・マーク (Abrasion mark) 擦傷。主として光澤臭素紙或は瓦斯光紙面に生ずる鉛筆にて描いた黒線、袋より取出し、又は之を焼梓より取出す際の摩擦より生ず。

アプレンチス (Apprentice) ① 徒弟。年期奉公人。② 見習生。

アブソorbent (Absorbent) ① 吸収物。其の氣孔に瓦斯或は蒸氣を吸収すべき勢力ある物質を表示する化學上の用語。② 吸収劑。③ 淋尿管。

アブソorbption (Absorption) ① 吸収。吸入。② 一心不乱。夢中。專心。

アブソorbining (Absorbing) ① 吸収する。② 心を奪ふ。興味をそゝる。

アブソorbining band (Absorbing band) 吸収帶。光の一定部分吸収の撰擇を表示する分光器に於る暗黒帶。

アブソorbute (Absolute) ① 絶對的。完全の。② 純粹の。

アブソorbute・マジョリティー (Absolute Majority) (議會等の) 大多數。絶對多數。

アブソorbute・テンペラチュア (Absolute temperature) 極熱度。通例攝氏七十五度、華

氏三百四十八度を云ふ。

アブソorbute・アルコール (Absolute alcohol) 無水アルコール。純粹酒精。

アブソorbute・ミュージック (Absolute music) 絶對音樂。純音樂。純粹な音そのものを

組立てた音樂。ソナタ、シンフォニー等がこれである。これに對するものをプログラ

ム・ミュージック (標題音樂) と云ふのである(各項參照)。

アブソorbute (佛語 Absorbante) 吸引畫布。油を吸収し油繪の光澤を消す特徴がある。

アブラハム (Abraham) 聖書に見えるユダヤ人の祖(西紀前二千年頃)。

アブノーマリティー (Abnormality) 異常。變體。不規則。

アブノーマル (Abnormal) 異常の。不規則の。法外の。普通でなく病的なこと、文明が進み都會生活が益々煩雜となり現代人は餘程の強い刺戟でないに満足しなくなつて總ての好みや氣分が病的に變則になつて來る、近代的都會人士は殊に性慾的に不健全な生活をしてゐる。斯かるものをアブノーマルと云ふのである。

アブノーマル・サイコロヂー (Abnormal psychology) 變態心理學。

ア

- アブノーマル・セクシュアリティ (Abnormal sexuality) 變態性慾。病的な性慾。
 アブゲオルドネテ (獨語 Abgeordnete) 代議士。衆議院議員。
 アプファールト (獨語 Abfahrt) ① 出發。發車。② スキーの滑降。
 アプファールレン (獨語 Abfahren) ① 出發する、の意で驛長の號令に用ひらる。② スキー用語、滑降法の事。これには直立滑降、踞身姿勢による滑降等がある。
 アフェクト (Affect) ① 影響す。感動させる。② 眞似る。振をする。③ 好む。
 アフェクシヨネート (Affectionate) 深切なる。愛情ある。慈愛ある。
 アフェクシヨン (Affection) ① 愛情。情愛。愛慕。② 影響。感動。③ 性情。性質。
 アフェア (Affair) ① 事務。公務。② 事件。尙ラヴ・アフエアは戀愛事件の意。
 アブディケイシヨン (Abdication) 棄權。辭職。隱居。尙アブディケイトは棄權すの意。
 アファーム (Affirm) 斷言する。肯定する。【例】君はその事實をアファームし得るか。
 アファーマーシヨン (Affirmation) 斷言。肯定。認可。【例】アファーマーシヨンを與へる。
 アファイアンス (Affiance) ① 信託。信任。② 婚約。夫婦約束をする。③ 近親。
 アブサード (Absurd) 馬鹿げた。途方もない。不合理な。矛盾せる。
 アブサーディチー (Absurdity) 不合理。不條理。馬鹿らしい事。
 アブサン (佛語 Absinthe) 綠色の強烈な酒。リキュールの一種、「にがよもぎ」から作ったアルコール飲料で、うゑきよう酒とも云ひテカダン詩人がよくこれを飲んだ。
 アブシュプリング (獨語 Absprung) ① 飛躍。② スキーの踏切。即ち兩足の爪先に力を入れて、身体全部を前上方に伸ばすやうにして行ふのである。クローチング・ダウン (屈身姿勢) から行ふ踏切りを普通サツツ云つて居る (同項参照)。
 アブセント (Absent) 缺席の。不在の。【例】固くるしい會合ならいつもアブセントだ。
 アブセンチー (Absentee) ① 缺席者。不在者。② 不在地主。自己所有小作地のある土地に居住せぬ地主、農業資本主義化の發展するに従つて中小地主は没落し都市大資本家の手に土地が集中する結果起る現象である。
 アブセンチズム (Absenteeism) 不在主義。資本家、地主が自己所有地や工場所在地に居住せず従つて直接その管理をなさず地代、利潤を所得することはいふ。

アブ——アブ

アブ——アテ

アブストラクト (Abstract) ① 無形の。抽象的。② 概要。拔萃。

(屈身姿勢)から行ふ踏切りを普通サツツ云つて居る(同項参照)。

アブセント (Absent) ① 欠席の。不在の。【例】固くらしい會合ならいつもアブセントだ。

アブセンチー (Absentee) ① 欠席者。不在者。② 不在地主。自己所有小作地のある土地に居住せぬ地主、農業資本主義化の發展するに従つて中小地主は没落し都市大資本家の手に土地が集中する結果起る現象である。

アブセンチイズム (Absenteeism) 不在主義。資本家、地主が自己所有地や工場所在地に居住せず従つて直接その管理をなさず地代、利潤を所得することをいふ。

アブ——アブ

アブ——アテ

アブストラクト (Abstract) ① 無形の。抽象的。② 概要。拔萃。

アブスチネンス (Abstinence) ① 節制。禁慾。② 禁酒。

アブスコンド (Abscond) 逃亡す。潜伏す。【例】犯人は自宅にアブスコンドしてゐた。

アブステナー (Abstainer) ① 節制者。自制者。② 禁酒家。

アブステイン (Abstain) 慎む。節制す。【例】病中は酒、煙草をアブステインせよ。

アコ (露語 Ako) ソウエート聯邦の國營漁場。

アコーディオン (Accordion) 手風琴。手風琴の最も進歩した樂器はピアノ・アコーディオンで、これは優に二三十人のオーケストラなみの音量と複雑な音色を有し、フランス・

トービス映畫「巴里の屋根の下」で一躍流行樂器となつた、アコルデオンのこといふ。

アゴニー (Agony) 苦悶。煩悶。【例】これを死に勝るアゴニーだ。

アゴニーコラム (Agony-column) 凶報欄。新聞の家出人搜索廣告や死亡廣告の欄。

アコラード (佛語 Accolade) 接吻。抱擁。【例】愛人とのアコラードこそ幸福なれ。

アコモデーション (Accommodation) ① 融通。② 便利な設備。娛樂設備。③ 收容。

アコモデーション・ロード (Accommodation road) 特設道路。裝飾を施したり植木等を植え込んだ道。

アコモデーション・ペーパー (Accommodation paper) 融通手形(アコモデーション・ビル)。

アコンパインマン (佛語 Accompaniment) 伴奏。英語のアコンパニメントに當る。

アコンパニー (Accompany) ① 伴奏す。② 同伴す。隨行す。伴ふ。【例】君が昨日アコンパニーしてゐたシャンは誰だい。

アコンパニメント (Accompaniment) ① 同伴物。② 伴奏。伴奏部。バイオリン、セロ

、管樂器等の獨奏には普通ピアノの伴奏を有する。③ 伴奏樂器。

アコンパニスト (Accompanist) ① 同伴者。同伴物。② 伴奏者。

アコンプリッシュ (Accomplish) ① 仕上げる。成就する。完成する。② 履行する。

アコンプリッシュメント (Accomplishment) ① 成就。完成。卒業。② 才藝。博識。

アコンプリス (Accomplice) 共犯人。同類。共力者。協同者。

アティ (Atti, Atti) を冠せる語はアチの項を見よ。

ア

アディクション (Addiction) ① 耽溺。熱中。惑溺。② 嗜好。癖好。

アディアクテニク (Adiactic) 無化學放線。時として暗室の光を遮る赤或は橙色硝子及織物をいふ。しかし全く無化學放線の光はなく、どんな色の光でも長時間曝露すれば寫真乾板に影響を與へる。ノンアクテニク (Non-actinic) とも云ふ。

アディユー (佛語 Adieu) 左様なら(別れの挨拶)。告別の辭。【例】妾愈々渡佛するここにきまつたからアディユーを云ひに來たのよ。

アディショナル (Additional) ① 追加の。附加の。② 附加物。課外講義。

アディション (Addition) ① 附加。附加物。② 増築。③ 肩書。

アディングマシン (Adding-machine) 計算器。加算器。加算を正確、敏速になす器具。

アデレード (Adelaide) オーストラリア聯邦の南オーストラリア州の首府。商業盛んで銅、羊毛等を輸出する。

アテネ (Athens) ギリシヤの首府。歐洲文化の源泉地でアゼンヌともいふ。

アテナ (Athena) 智、技藝、學術、戦争を司るギリシヤの女神。

アデン (Aden) アラビア半島の南端アデン灣に臨める港市。バブエルマンデブ海峽に近く軍事上の要地で英國領である。

アテンポ (伊語 A tempo) 音楽用語にて「本來の速さに還る」の意(テンポ参照)。

アテンド (Attend) ① 出席す。參列す。② 隨行す。付き添ふ。③ 注意す。

アテンチブ (Attentive) 丁寧な。注意の届く。【例】實にアテンチブなもてなしを受けた

アテンダム (羅語 Addendum) 附録。補遺。

アテンダント (Attendant) ① 出席者。參會者。② 隨行者。附添。③ 劇場案内係。

アテンダンス (Attendance) ① 出席。參會。② 會衆。參列者。附添。附添人。

アテンプト (Attempt) ① 試みる。企てる。② 攻撃する。襲ふ。③ 攻撃。襲撃。

アテンション (Attention) ① 注意。入念。② 氣を付け! (號令)。

アサート (Assert) 主張する。斷言する。【例】我々は權利をアサートすべきだ。

アサーチブ (Assertive) 斷言的。言明的。固執的。

アサーテン (Ascertain) 確かむ。調べる。探知す。【例】事件の真相をアサーテンする。

アデ——アサ

アサ——アメ

アサーション (Assertion) ① 主張。斷言。② 言明。聲明。③ 固執。固守。

アデンダム (羅語 Addendum) 附録。補遺。
アテンダント (Attendant) ① 出席者。參會者。② 隨行者。附添。③ 劇場案内係。
アテンダンス (Attendance) ① 出席。參會。② 會衆。參列者。附添。附添人。
アテンプト (Attempt) ① 試みる。企てる。② 攻撃する。襲ふ。③ 攻撃。襲撃。
アテンション (Attention) ① 注意。入念。② 氣を付け! (號令)。
アサート (Assert) 主張する。斷言する。【例】我々は權利をアサートすべきだ。
アサーチブ (Assertive) 斷言的。言明的。固執的。
アサーテン (Ascertain) 確かむ。調べる。探知す。【例】事件の真相をアサーテンする。
アデ——アサ

アサ——アメ

アサーション (Assertion) ① 主張。斷言。② 言明。聲明。③ 固執。固守。
アサイニー (Assignee) ① 財産讓受人。權利讓受人。アサイナーは讓渡人。② 管財人。
アサイラム (Asylum) ① 瘋癲病院。② 養育院。③ 救護所。收容所。④ 避難所。
アサイン (Assign) ① 指定す。選定す。② 割當つ。讓渡す。③ 委託す。
アサインメント (Assignment) ① 指定。指摘。② 讓渡。讓與。③ 委託。委託物。
アザレヤ (Azalea) 躑躅 (つばき)。きりしま。
アサシネート (Assassinate) ① 暗殺する。暗討する。② 毀損する(名譽を)。
アサシネーター (Assassinator) ① 暗殺者。刺客。アサシンとも云ふ。② 刺客使用者。
アサシネーション (Assassination) 暗殺。暗討。フランス學者の統計による一八六五年
以來の政治的暗殺は全世界に於て八十六件に達してゐる。米國十六代の大統領アブラ
ハム・リンカーンは一八六五年に暗殺された。しかして一年に於ける暗殺回数之最も
多かつたのは一九二三年の九件であつた。

アサンクション (Assumption) ① 引受。② 假説。假定。小前提。③ 僭越。
アサンスール (佛語 Ascenseur) 昇降機。倉庫等に用ひて重量のものを運ぶに用ふ。
アキリーズ (Achilles) ホーマー作「イリアッド」中の勇士、生來の不死身であつたがた
だ一ヶ所ヒール(踵)が弱かつた。それよりヒール・オブ・アキリーズとは「唯一の弱點」
を意味するやうになつた。又俗にアキレスといふ。

アキューズ (Accuse) 告發する。告訴する。【例】あの男は傷害罪でアキューズされた。
アキュレート (Accurate) 正確な。精密な。【例】アキュレートな調査報告。
アキュムレーター (Accumulator) 蓄電池。電氣的エネルギーを化學的エネルギーとし
て貯藏し、必要な時再び電氣エネルギーとして使用し得るもので貯藏電壘とも云ふ。

アキュムレーション (Accumulation) 蓄積。貯蓄。堆積。
アキュゼーション (Accusation) ① 告訴。告發。求刑。② 罪狀。非難點。
アキメネス (Achimenes) 球根草花の一種で紫、紫紅色等の美しい花を開く。
アユチヤ (Ayuthia) シヤムの首府バンコック北方にありメナム河に臨む、同國の舊首府。
アメリカ (America) ① 南北兩アメリカ洲。新大陸と稱されてゐる、北アメリカ洲は面

積約百六十萬方里で獨立國はアメリカ合衆國、メキシコ、中央アメリカの六共和國、西印度諸島の三共和國等である。南アメリカ洲は面積約百十五萬方里で獨立國はブラジル、アルゼンチン、チリ、ペネズエラの他六共和國がある。②米國。

アメリカン・インディアン (American Indian) アメリカ大陸の土人。皮膚は銅色、髪は黒色、北米より南米に多く居住してゐる。

アメリカニズム (Americanism) 米國人氣質。米國風。「一金、二金、三金」この語が最も端的にアメリカニズムを表明してゐる、それ程拜金主義、享樂主義であり、おまけに世界第一主義である。又英國人の紳士的で重々しい性格に比して米國人は輕快、朗らかでそして恐ろしい尖端人揃ひである、世界の金融を支配するのはウォール街であり、世界の流行を左右するのもはやパリジャンではなくヤンキーである、アメリカニズムの活躍は全ゆるるころに見られる。

アメリカナイゼーション (Americanization) 米國化。米國風にすること。

アメリカナイズ (Americanize) 米國化する。モダンガールが米國のフラッパーに眞似て尖端振つたりすること等いふ。

アメリカン・リーグ (American League) 米國職業野球團の二大聯盟の一。

アメリカン・ゾーン (American Zone) デビスカップ戦の米國豫選區域 (ゾーン参照)。

アメリカン・ラグビー (American rugby) 米國式ラグビー。本場の英國の異なる點は競技の一チームが十一人 (普通は十五人) よりなり球を持つて居ない敵をも攻撃し得る。

アメリカン・クロール (American crawl) 競泳に最もよく用ひられる游泳法でクロール・ストロークともいふ。

アメリカン・フェデレーション・オブ・レーバー (American Federation of Labour) アメリカ労働聯合會。エー・エフ・エルと略稱す (同項参照)。

アメリカン・シリーズ (American series) 普通アメリカン・セリーと云はれて居るもので球突で球を一ヶ所に集めてクッションに沿つて球の配置の形を崩さず連続的に突いて得點する方法。ポークライン試合では台上に線を四本引いて作つた九區劃の中クッションに沿つた八區劃の各々に於て同一區劃内では二回迄はセリーを許すが三回目

アメ

アメ——アシ

には的球を區劃線外に出して突かねばならぬことになつてゐる。

アメジスト (Amethyst) 紫水晶。(玉詞) 心の平和、誠實、深く清い愛、二月の誕生石。

トロークともいふ。

アメリカン・フェデレーション・オブ・レーバー (American Federation of Labour) アメリカ労働聯合會。エー・エフ・エルと略稱す (同項参照)。

アメリカン・シリーズ (American series) 普通アメリカン・セリーと云はれて居るもので球突で球を一ヶ所に集めてクッションに沿つて球の配置の形を崩さず連続的に突いて得點する方法。ボークライン試合では台上に線を四本引いて作つた九區劃の中クッションに沿つた八區劃の各々に於て同一區劃内では二回返はセリーを許すが三回目

アメ

アメ——アシ

には的球を區劃線外に出して突かねばならぬことになつてゐる。

アメジスト (Amethyst) 紫水晶。(玉詞)心の平和、誠實、深く清い愛、二月の誕生石。

アモンドウ (Almond) ① 巴旦杏。扁桃。② 扁桃腺 アルモンドが正しい。

アメンシア (Amentia) 精神錯亂。白痴。

アミ (佛語 Ami) ① 友人。朋友。② 例へば「彼女は僕のアミだ」と云へば其の彼女なる者は唯の友人ではなく情婦、戀人の意で此の場合モナミ (Mon ami) である。尙男の場合はアマン(情夫)で、又ベラミー (Belle amie) は「美しい友人」の意。

アミーバ (Amoeba) 極めて下等の顯微鏡的單細胞動物。即ち全身がたつた一つの細胞からなり、しかも運動、捕食もなし又分裂によつて生殖する、原生動物と云はる。

アミール・アセテート (Amyl acetate) 醋酸アミール。醋酸とアルコールより生ずる一種のエステルで梨の香を有し飲料等の香氣附けに用ふ。

アミール・アセテート・ランプ (Amyl acetate lamp) 醋酸アミール燈。

アミカル (佛語 Amical) 友情ある。友誼的の。親しい。

アミカブル・ソリュージョン (Amicable solution) 平和的解決。友誼的解決。

アミカブル・アレンジメント (Amicable arrangement) 示談。和解。

アミター (佛語 Ammeter) 電流計。アンペア計。

アミアン (Amiens) フランス北部の都會。一九〇六年この地でフランス労働總同盟大會が開かれた、その時の決議をアミアン憲章と稱す、それには「フランス労働總同盟は賃銀制度撤廢のための闘争を自覺した、凡ての労働者を一切の政黨の外に立つて結束する」とある(シー・チャー・チャー参照)。

アミアンサス (Amianthus) 石棉。アスマストスとも云ふ。

アミューズメント (Amusement) ① 娛樂。慰み事。遊戯。遊藝。② 嬉遊曲。尙佛語ではアミューズマンと云ふ。

アジ (Agi) 及び本語を冠せる語はアヂの項を見よ。

アジト (Agitation point の略) アヂトを見よ。

アシッド (Acid) ① 酸性の。酸い。② 酸。塩酸、硫酸、硝酸等の如く酸性反應を呈し

ア

酸味があるものを酸と云ふ。

アシッドリアクション (Acid-reaction) 酸性反應。酸類が青色リトマス液 (又はこれに染めた試験紙) を赤色に變ずること。

アシッドレヂスト (Acid-resist) 防酸劑。金屬の一部を酸類に犯されぬ様保護する塗布劑
アシッドフィキシング・バス (Acid-fixing bath) 酸性定着浴 (普通のハイボ定着浴は中性であつて酸性でない)。此の液は直ちに現像の作用を停止せしめ汚染を防ぎ清淨ならしめる効果がある、但し原板、臭素紙及び瓦斯光紙には使用を推奨するが「POP」にはよろしくない。

アシッドデベロパー (Acid-developer) 酸性現像液。普通硫酸第一鐵現像液のことを云ひ
濕板現像液の酸性なるものを云ふ。

アシグネーション (Assignment) ① 約束。(會合場所や時間の) 指定。逢引。② 判當。
アジャシヨ (Ajaccio) 佛國コルシカ島の海港。ナポレオン一世の生地として知らる。

アジャスト (Adjust) 調整す。調節す。工合をよくする。【例】機械をアジャストする。
アジャストメント (Adjustment) ① 整理。調整。② 調停。落着。③ 決濟。

アジャスター (Adjuster) ① 整理者。調節者。② 調節機。③ 精算者。
アジマス・コンパス (Azimuth compass) ① 天測羅針儀。② 船舶用羅針盤。

アジア (Asia) 東半球にある世界第一の大陸。面積約二百九十萬方里で世界陸地の三分の一を占める。人口は九億の多きに達し獨立國は日本、支那、シヤム、ベルシヤで他は殖民地又は半殖民地である。エイシヤが正音である。

アシユレー (Sir William James Ashaley) 英國の經濟學者サー・ウィリアム・ジエームズ・アシユレー (西紀一八六〇年生)。大學教授、著書に「經濟史」その他がある。

アジュライト (Azurite) 紺青石。藍銅礦。青紫色塊状をなし銅の鑛床の酸化帯に産す。
アジュア (Azure) ① 空色 (薄藍色)。② 青空。

アシスト (Assist) ① 助力す。援助す。② 野球の補殺。野手が他の野手に刺殺をなさしめるために行つた助力的守備行爲で、球を受け止めて敵のランナーが向ひつゝある壘に最も近い味方の野手に投げて敵をアウトにすること。③ 助劑。染著を助ける藥品。

アシ

アシ — アセ

アシスタント (Assistant) 助手。補助者。映畫の助監督。

アシスタント (Assistant) 助手。補助者。映畫の助監督。

は殖民地又は半殖民地である。エイシアが正音である。

アシユレー (Sir William James Ashley) 英國の經濟學者サー・ウィリアム・ジエーム

ズ・アシユレー (西紀一八六〇年生)。大學教授、著書に「經濟史」その他がある。

アジュライト (Azurite) 紺青石。藍銅鑛。青紫色塊状をなし銅の鑛床の酸化帯に産す。

アジュア (Azure) ① 空色 (薄藍色)。② 青空。

アシスト (Assist) ① 助力す。援助す。② 野球の補殺。野手が他の野手に刺殺をなさしめるために行つた助力的守備行爲で、球を受け止めて敵のランナーが向ひつゝある塁に最も近い味方の野手に投げて敵をアウトにすること。③ 助劑。染著を助ける藥品。

アシ

アシ — アセ

アシスタント (Assistant) 助手。補助者。映畫の助監督。

アシスタントガール (Assistant-girl) 女助手。女性は細心でよく行き届くこと云ふので研究や編輯の助手として採用されてゐる。

アシスタント・プロフェッサー (Assistant professor) 助教授。

アシスタント・ディレクター (Assistant director) 映畫の助監督。アシスタントともいふ。

アシスタンス (Assistance) 助力。援助。補助。

アビリチー (Ability) ① 能力。才能。手腕。【例】彼は宣傳には特別のアビリチーを持つてゐる。② 資力。資産。③ 天賦の才能。

アビアーヒム (Aviahim) 國防飛行化學協會 (オンアビアーヒムの略)。ソウエート同盟の軍事教育組織で、ソウエート同盟擁護のため大衆に軍事的航空知識を普及せしめる機關を云ふ。

アビユーズ (Abuse) ① 濫用する。虐待する。② 罵る。③ 弊害。④ 虐待。強姦。

アビシニア (Abyssinia) アフリカ洲東部の王國。面積約七萬二千六千方里。

アビシニアン・チャーチ (Abyssinian church) アビシニア國立基督教。皇帝コンスタンチヌスの時代に宣教師フルメルチウスが基督教を此地に宣傳して以來漸次發達して國教となつた。

アモロオゾ (Amoroso) 音樂用語で「優しく情をこめて」の意。

アモルス (Amorce) 餌。誘惑。

アセー (Assay) 試金。分析試験。検査。尙アセー・オフィスは分析試験所。

アセーラント (Assailant) 攻撃者。加害者。

アセトメーター (Acetometer) 醋酸比重計。醋酸の比重を計る爲目盛を施した比重計。

アセトン (Aceton) 無色揮發性の液体で多くの物質を溶し易き故溶媒として用ひ、又藥劑、火藥等の製造に用ふ。

アセチレン (Acetylene) 特異の臭氣ある無色の氣體で燈火に用ひらる。カーバイド (炭化カルシウム) に水を注ぐ時發生する瓦斯で、これを酸素と共に燃すと二五〇〇度から三〇〇〇度の高熱の焰を發するから鐵板の切斷又は熔接等に用ひらる。

ア

アセチレンガス・ジェネレーター (Acetylene-gas generator) アセチレンガス発生装置。
 アセチック・アシッド (Acetic acid) 醋酸 (精製木醋) $C_2H_4O_2$ 分子量六〇、鋭き臭氣あ
 る無色の液体。酒類を空氣中に長く放置するとアルコールは醋酸バクテリアの作用
 によつて空氣中の酸素を取つて醋酸に變化する。

アセチシズム (Asceticism) ① 禁慾主義。倫理上では吾人の道徳的生活は性慾を始め、
 名利、地位等の世俗的慾望の抑壓、斷滅によつて成就されると云ふ説。宗教上では、
 同じく肉體の慾望を杜絶し情慾を絶滅せんとする。② 難行。

アセス (Assess) ① 評價す。算定す。査定す。② 課税す。賦課す。

アセント (Ascent) ① 上り阪。階段。② 登山。上昇。昇進。向上。

アセンブリー (Assembly) ① 會。會議。② 集會。集合。③ 米國州議會の下院。

アセンブリーホール (Assembly-hall) ① 會館。會場。② 議場。議事堂。

アセンション (Ascension) ① 上昇。昇騰。② 踐祚。③ キリストの昇天。昇天節、復活
 祭の後四十日目。

アス (Ass) ① 驢馬。② 馬鹿。愚かな人 (屢々アースと發音す)。

アスパイヤ (Aspire) 上昇す。熱望する。【例】地位の向上をアスパイヤして止まらぬ。

アスパイヤラー (Aspirer) 熱望者。志望者。

アスパラガス (Asparagus) 西洋ウド。おらんだきじかくしの名もある。百合科の宿根植
 物にしてその地下の莖から出た若い莖を軟らかく多肉に育てたものは風味を有する
 故西洋料理に用ひられ又罐詰の原料としても需要されて居る。其葉は枝の變化したも
 ので青く、清楚の趣ありて觀賞用とされ、又切花の添葉として愛用さる。

アスペクト (Aspect) ① 容貌。様子。外觀。② 飛行機より見たる下界の光景又飛行中
 の飛行機を更にその上から撮影した寫眞のこと。

アスベスト (Asbestos) 石綿。石絨。不燃性なるため防火用として用ひらる。

アストロノミー (Astronomy) 天文学。星學。尙アストロノマーは天文学者の意。

アストロノミカル・オブザーバトリー (Astronomical observatory) 天文台。

アストロノミカル・タイム (Astronomical time) 天文時。正午より初めて一日二十四時

アセ——アス

アス

間を數へるもの。

アストロノミカル・テレスコープ (Astronomical telescope) 天体望遠鏡。

故西洋料理に用ひられ又罐詰の原料としても需要されて居る。其葉は枝の變化したもので青く、清楚の趣ありて觀賞用とされ、又切花の添葉として愛用さる。

アスペクト (Aspect) ① 容貌。様子。外觀。② 飛行機より見たる下界の光景又飛行中の飛行機を更にその上から撮影した寫眞のこと。

アスベストス (Asbestos) 石棉。石綿。石絨。不燃性なるため防火用として用ひらる。

アストロノミー (Astronomy) 天文学。星學。尙アストロノマーは天文學者の意。

アストロノミカル・オブザーバトリー (Astronomical observatory) 天文台。

アストロノミカル・タイム (Astronomical time) 天文時。正午より初めて一日二十四時

アセ——アス

アス

間を數へるもの。

アストロノミカル・テレスコープ (Astronomical telescope) 天体望遠鏡。

アストロフォトグラフィー (Astro-photography) 星學寫眞學。天体寫眞術。

アストロニッシュ (Astonish) 驚かす。びっくりさす。驚倒す。

アストリンヂェント (Astringent) 收斂劑。皮膚や粘膜を引きしめる藥。下痢止めに用ふ。

アストラカン (Atrakan) ① 露國東南部の一州。② 同上にて産する仔羊の毛皮。又それに横した毛織物。獅子毛織物。

アストビュークライステル (Ostoye-kleister) ノールウエー製のスキー登行用蠟、コールタール狀の黒いドロ／＼したもので登行の際スキーの底面に粗雜に塗り、歸りの滑降の時には充分延してすつかり平になるやうにし、その上にバラフィン蠟を薄く塗り布か何かで艶の出るまで摩擦する。

アスチグマチック・コレクター (Astigmatic corrector) 亂視矯正器。

アスチグマチズム (Astigmatism) ① 無收差。亂視。多くの鏡玉に於ける缺點にして垂直線と水平線を正しく鮮銳に顯はすを妨げるもの。② 亂視眼。

アスリート (Athlete) ① 競技者。運動家。② 勇者。

アスター (Aster) 紫苑 (しおん)。翠菊 (えぞぎく)。初夏から秋にかけて開花し、葉は少々嫁菜の如く花は菊に似て風姿優婉色は赤、白、紫等がある。又支那原産である所からチャイナ・アスターとも稱さる。

アスターン (Aster) 船尾に。後方へ。尙、ゴー・アスターン！は後進。

アスレチック (Athletic) 競技の。運動の。大日本體育協會はジャバン・アマチュア・アスレチック・アソシエーション (Japan Amateur Athletic Association) を云ふ。

アスレチック・カーニバル (Athletic carnival) 競技大會。アスレチック・ミーチングと同じ

アスレチック・フェデレーション (Athletic federation) 競技聯盟。

アスレチック・ミーチング (Athletic meeting) 競技會。運動會。

アスレチックス (Athletics) ① 競技。闘技。力技。② 狹義にては陸上競技の事。③ 米

國フィラデルフィア野球隊の渾名。

ア

アスレチック・スポーツ (Athletic sports) 一般に運動競技の總稱、狹義には陸上競技。
 アスクライブ (Ascribe) 他に歸す。他人のせいにする。かこつける。
 アスフィクシア (Asphyxia) ①窒息。②假死。氣絶。血液中に酸素が缺乏せるため起る。
 アスフォデル (Asphodel) ①しやぐま百合。②極樂に咲くさいふ不凋花。
 アスファロタイプ (Asphaltotype) 活字を作るに感光土瀝青を用ふる方法。
 アスファルト (Asphalt) 土瀝青。特有の臭を有する黒褐色の固体又は油状の物質で電線
 を覆ふて絶縁体とし、又耐濕性、耐酸性、絶縁性があるから、これに砂、石膏等を混じ
 て道路を舗装する尙、これで作つたテニスコートをアスファルト・コートと呼んでゐる
 アスファルト・プロセス (Asphalt-process) 土瀝青印畫。
 アスファルト・フォトリソグラフィック・プロセス (Asphalt-photolithographic process) 土
 瀝青寫眞石版印刷法。
 アスファルト・フェルト (Asphalt felt) 最近よく用ひられる建築材料。即ちアスファルト
 をフェルトに附け、此れに壓力を加へて製したもので屋根の下地、其他の防水装置に
 使用されて居る。

アスコット (Ascot) ①英國バークシャー州アスコット・ヒースの有名なる競馬場、英國皇
 帝陛下の所有地であるためこの競馬(毎年六月の第三週に行はる)をローヤル・アス
 コットと呼ぶ。②同上の意より單に競馬場又競馬の意に用ひらる。
 アステリスク (Asterisk) 星標「*」のこゝ。文の照合等に用ふ。
 アスピリン (Aspirin) 解熱劑。白色鍼狀にして腸内で初めて分解する爲副作用が少ない
 アスピレーター (Aspirator) ①吸氣器。吸出器。②現像液貯藏壇。吸引により一器よ
 り他器へ瓦斯或は液体の流れを抄らすに用ふる器具。
 アスピレーション (Aspiration) ①熱望。切望。②呼吸。吸出し。
 アスピック (Aspic) ①肉ジェリー。肉を用ひて作つたジェリー。②ラワンデルの一種。
 アンイージー (Uneasy) 不安な。心配な。尙アンイージーネスは不安、心配の意。
 アンイクォール・トリーチー (Unequal treaty) 不平等條約。
 アンバー (Amber) ①琥珀。化石性黃石、古代の樹脂の化石したるもので色は黃又は黃

アス——アン

アステリスク (Asterisk) 星標「*」のこと。文の照合等に用ふ。

アスピリン (Aspirin) 解熱劑。白色鍼狀にして腸内で初めて分解する爲副作用が少ない

アスピレーター (Aspirator) ① 吸氣器。吸出器。② 現像液貯藏壇。吸引により一器よ

り他器へ瓦斯或は液体の流れを抄らすに用ふる器具。

アスピレーション (Aspiration) ① 熱望。切望。② 呼吸。吸出し。

アスピック (Aspic) ① 肉ジェリー。肉を用ひて作つたジェリー。② ラワンデルの一種。

アンイージー (Uneasy) 不安な。心配な。尙アンイージーネスは不安、心配の意。

アンイクォール・トリーチー (Unequal treaty) 不平等條約。

アンバー (Amber) ① 琥珀。化石性黃石、古代の樹脂の化石したるもので色は黃又は黃

アス——アン

アン

褐にして透明、半透明のものもあつて磨いて裝飾とする、又しばしばワニス製造の原料として用ひらる。② 琥珀色。

アンハイドライト (Anhydrite) 無水石膏。硬石膏。岩塩の層に伴ふて屢々産出す。

アンパイア (Empire) ① 仲裁人。審判官。② 運動競技、就中野球や庭球等の審判者

但しラグビー、ホッケー、バスケットではレフェリーと云ふ。③ ゴルフ競技では事實

の疑點を判決する者(これに對してレフェリーは法規の疑點を判決する者を云ふ)。

アンパイア・イン・チーフ (Empire in chief) 野球の主審。球審。正審。

アンハッピー (Unhappy) 不幸な。不合せな。【例】アンハッピーな孤獨の老人。

アンバサダー (Ambassador) 大使。尙アンバサドレスは大使夫人、又は女大使の意。

アンニユイ (佛語 Ennuï) 退屈。倦怠。無聊。【例】妾たまらなくアンニユイなのよ。

アンペア (Ampere) 電流の強さの實用單位、一秒間に一クローンの電氣量を送る電流で

十六燭光の電燈を通つて居る電流の約五倍の強さがある。

アンペアアワー (Ampere-hour) 電量の單位。電流の量とその電流の通る時間の積。

アンペアメーター (Ampere-meter) アンペア計。電流の強さを計る器械。

アンド (And) そして。及び。尙ヒー・アンド・シーは彼と彼女の意。

アンドロイド (Android) 自動人形。活人形。

アンドロフォビア (Androphobia) 男性恐怖。恐男病。

アンドロメダ (Andromeda) ① (ギリシヤ神話) エチオピア王の娘。海岸の巖石につな

がれ怪物の犠牲たらんとした時、英雄ヘルセウスに救はれて彼と結婚したと傳へられ

て居る。② 仙女座。北方の星座でヘガサス座とベルセウス座の間にある。

アンドロセントリック・セオリー (Androcentric theory) 男性本位説。有機體が其機能を

活動せしめる上にて男性は常に重要な地位を占め女性は從屬的地位を保つと云ふ説。

アンドロスフィンクス (Androsphinx) 男頭獅子體像。

アントニー (Antony) クレオパトラの容色に迷つた羅馬の執政官(西紀前八三年頃生。

同三〇年歿)。

アンドリュー (Andrew) ① 水兵仲間の用語で海軍のこと。② 十二使徒の一人。

ア

アントワープ (Antwerp) 白耳義第一の貿易港。大汽船の出入自由で我が日本郵船、大阪商船の歐洲航路の寄港地である。

アンドレーエフ (Leonid Andraev) ロシアの作家レオニード・アンドレーエフ (西紀一八七一年生。一九一九年歿)。社會評論、短篇小説、戯曲等に自由奔放な筆を揮つた晩年ロシア革命に際して「ロシアを救へ」、「革命の爲めに」等の評論を執筆した。戯曲「人の一生」、「飢餓王」等有名である。

アンドレーエフ (A. A. Andreev) ソウエート社會主義聯邦政府の一員 (一八九五年生) 金屬職工出身、一九一四年ロシア社會民主労働黨に入り、革命後一九二〇年ロシア共產黨中央執行委員となり一九三〇年中央統制委員會議長に任命さる。

アンドラ (Andora) 歐洲ピレネー山脈中フランスとスペインに挟まれた小共和國。

アントラクト (佛語 Entracte) ①幕合。中入。②間奏樂。幕合に奏せられる音樂。

アントラセン (Anthracene) ヌールタールを二百七十度以上に熱して蒸溜を行つた際に得るアントラセン油より精製する結晶体でアリザリン染料の原料である。

アンチ (Anti) 接頭語となつて反〇〇主義等を用ひらる。【例】アンチジャパニーズ (排日)、アンチミリタリズム (反軍國主義)、アンチインベリアリズム (反帝國主義)、アンチアルコールリスト (排酒家) 等の如きである。又「あれは美人だな」「いやアンチだ」とか、「遊びに行かうか」「今日はアンチだ」等と云へば「反對」、「いやだ」の意で、「あんな奴はアンチだ」と云へば排斥する事である。

アンティーク (Antique) ①古代の。古代風の。②古ローマ風。古ギリシヤ風。古代風。

③活字の一種。角が丸くてゴシック活字に似て居る。

アンチロープ (Antelope) 羚羊。かもしか。

アンチハレーションプレート (Anti-halation plate) 無露影乾板。撮影の際硝子面より膜面へ光の反射を防ぐ爲、裏面 (ガラス面) に塗布した乾板。

アンチパシー (Antipathy) 嫌忌。反對。反感。

アンチポデーズ (Antipodes) 對蹠地。對蹠民。地球上で全く正反對側にある民。

アンチヘブリン (Antifebrin) 鎮痛解熱劑 ($C_6H_5NH_2 \cdot CH_2CO$)。アニリンを醋酸に加へ

アン

アン

て熱して製す、絹光澤ある無色片狀の結晶体で感冒性頭痛等に効がある。

アンチク (Antique) ① 古代の。古作風の。② 古作風。古作風。

③ 活字の一種。角が丸くてゴシック活字に似て居る。

アンチロープ (Antelope) 羚羊。かもしか。

アンチハレーションプレート (Anti-halation Plate) 無露影乾板。撮影の際硝子面より

膜面へ光の反射を防ぐ爲、裏面(ガラス面)に塗布した乾板。

アンチパシー (Antipathy) 嫌忌。反対。反感。

アンチポデーズ (Antipodes) 対蹠地。対蹠民。地球上で全く正反対側にある民。

アンチヘブリン (Antifebrin) 鎮痛解熱劑 (C₆H₅NH₂CH₂CO₂)。アニリンを醋酸に加へ

アン

アン

て熱して製す、絹光澤ある無色片状の結晶体で感冒性頭痛等に効がある。

アンチドート (Antidote) 解毒劑。除害物。

アンチトクシン (Antitoxin) 抗毒素。

アンチチェンバー (Antechamber) 控室。次室。【例】アンチチェンバーでお待ち下さい。

アンチオリエンタル・アヂテーション (Anti-Oriental agitation) 東洋人排斥運動。米國、加奈陀等にて起つた運動で東洋人の放逐、東洋人排斥土地法の制定なんか騒いで居るのがこれである。

アンチカソード (Anticathode) レントゲンの真空管に於て陰極に對する金屬板を云ふ。

アンチカフェ・クルーセイド (Anti-cafe Crusade) 反カフェ運動。かつて大阪で商工會議所議員等が先導となつて運動を起したが龍頭蛇尾に終つた。

アンチヨービー (Anchovy) ひしこのいわし。これでトーストやサンドウィッチを作る。

アンチヨービー・ペアー (Anchovy-pear) 西印度に産する一種の梨樹、又その果實。

アンチターニッシュ (Anti-Tarnish) 貴金屬類の曇りを磨く油。

アンチタンク・ガン (Anti-tank gun) 戦車防禦砲。タンク攻撃用の大砲。

アンチソーシヤリスト (Anti-socialist) 反社會主義者。社會主義反對者。

アンチソーシヤル (Anti-social) 非社會的。反社會的。社會組織反對の。

アンチック (Antic) ① 變手古な。奇異な。② 奇異な行動。③ 道化芝居。道化役者。

アンチライナム (Antirrhinum) 金魚草。高さ三尺に達し春季に金魚が口を開いた様な形の可愛い花を一莖に五六十もつけるから非常に美しい。切花、花壇植によい。

アンチラミン (Antilumin) 代照光。紅色或は橙色染料を浸徹せる特別の半透明なもので暗室の窓及び燈火を蔽ひ光を安全ならしめる。

アンチウォー・パクト (Anti-war Pact) 不戰條約。昭和二年四月佛國外相ブリアン氏が人民相互の承認の上に條約を締結せんとして米國に提議したるに初まり、米國提案の五國間の交渉(米國務卿ケロッグ氏條約 Kellogg's Pact)となり再轉して十五ヶ國間の商議となり一九二八年八月二十七日バリにて署名調印を了するに至つたものである。その第一條中の「人民の名に於て」の解釋につき我國政府の處置に大問題が起

ア

つたものである (イン・ザ・ネイム・オブ・ビープル参照)。

アンチウエットマン (Anti-wet-man) 禁酒家 (ウエット参照)。

アンチノミー (Antinomy) 自家撞着。矛盾。【例】そんな考へはアンチノミーも甚しい。

アンチクロックワイズ (Anti-clockwise) ダンスの方向線。「時計の針の回轉する方向と反対なる」意でダンスに於て舞踏者の組々の流れ行く方向はアンチクロックワイズでなければならぬ。

アンチマカッサ (Antimacassar) 椅子の油除け覆布。臂掛や背部が髮油に汚さぬ爲に用ふ

アンチマスク (Antimask) 假面劇の間狂言として行ふ道化芝居。

アンチフォニ (Antiphony) ① 交互唱。交互に歌ふこと。② 同上の歌。應唱歌。

アンチフォトゼニック (Antiphotogenic) 無化學光線。

アンチプラント・レンズ (Antiplant lens) アンチプラナット鏡玉。一八八一年ミュンヘンのステンハールに於て作られたる鏡玉。

アンチエクセキューティブ・ファクション (Anti-executive faction) 反幹部派。

アンチエアクラフト (Anti-aircraft) 高射砲。アンチエアクラフト・ガンとも云ふ。

アンチエアクラフト・ライト (Anti-aircraft light) 照空燈。飛行機の襲來に備へるもの。

アンチアヂテーション (Anti-agitation) 排外運動。【例】支那のアンチアヂテーション。

アンチキュアリング・フィルム (Anticuring film) 無捲縮フィルム。

アンチユサ (Anchusa) うしのした草。勿忘草に似た可愛い花で花壇植 (中心植、境植) 及び切花用として愛翫さる。又アルカネット (Alkanet) とも云ふ。

アンチユシン (Anchusin) アンチユサの根莖より作る紅色染料。

アンチメチック (Antimetic) 鎮嘔劑。嘔吐を止める藥劑。

アンチミリタリズム (Antimilitarism) 非軍國主義。國家の武裝的狀態を非認し全然平和を唱導する主義。

アンチシペーション (Anticipation) ① 豫想。豫期。② 先鞭。③ 先發。

アンチジャパニーズ・ボイコット (Anti-Japanese boycott) 日貨排斥運動。隣邦支那の民衆は「打倒日本帝國主義」をスローガンとし經濟的排日運動をなし常に日支紛擾の原

アン

アン

アンチユサ (Anchusa) うしのした草。勿忘草に似た可愛い花で花壇植(中心植、境植)及び切花用として愛翫さる。又アルカネット (Alkanet) も云ふ。

アンチユシン (Anchusin) アンチユサの根莖より作る紅色染料。

アンチメチック (Antimetico) 鎮嘔劑。嘔吐を止める藥劑。

アンチミリタリズム (Antimilitarism) 非軍國主義。國家の武裝的狀態を非認し全然平和を唱導する主義。

アンチシペーション (Anticipation) ① 豫想。豫期。② 先鞭。③ 先發。

アンチジャパニーズ・ボイコット (Anti-Japanese boycott) 日貨排斥運動。隣邦支那の民

衆は「打倒日本帝國主義」をスローガンとし經濟的排日運動をなし常に日支紛擾の原

アン

アン

因となつてゐる。

アンチピリン (獨語 Antipyrin) 解熱劑。C₁₁H₁₂N₂O。無色無臭の結晶或は白色の粉末にして流行性感冒、間歇熱等に効果あり。但し多量に用ひると危険が伴ふ。

アンチモニー (Antimony) 金屬元素の一で俗にアンチモンと云ふ灰白色の脆い金屬で酸化しないから合金を作るに用ひる。活字金は鉛と錫とアンチモニーの合金である。

アンチモニー・サルファイド (Antimony sulphide) 硫化アンチモニー。黒アンチモニーアンチモダン (Anti-modern) 非現代式。舊式。ケバ／＼した派手な現代式を好まぬ事。

アンチモダン・ガール (Anti-modern girl) 非現代式娘。純粹の日本式娘さん。

アンチモン・プロセス (Antimon process) アンチモニー印書法。一八七六年マンチェスター獨逸語學校長フランシス・ジョンズ氏發明にかゝる印書法。

アンチセプチック (Antiseptic) 防腐劑。尙アンチセプシスは防腐の意。

アンチスペクトロスコープ (Antispectroscope) 無色鏡玉。

アンチステッキガール (Anti-stick-girl) 男子がステッキ代りに女を連れて歩くのに對して男をハンドバッグ代りに連れ歩く女を云ふ。

アンリーゾナブル (Unreasonable) 非理の。不合理の。不法な。理不盡な。【例】アンリーゾナブルな言辭はつゝしみたまへ。

アンリミテッド・ライアビリティー (Unlimited liability) 無限責任。

アンカー (Anchor) ① 錨。② 投錨する。碇泊する。③ 球突のボークライン・ゲームに於て禁則となつてゐる撞き方、これを考へ出したのは佛國のアイブスといふ人である、その撞き方はボークラインを真中にしてクッションに兩的球をピッタリ相接するやうに置いて手球を右からと左からと正確に、しかも不變の力で以て撞きいくらでも點を重ねるものであるが、餘り單調に過ぎると云ふので禁止されてゐる。

アンガー (Anger) ① 怒。憤怒。② 怒氣。激情。

アンカーボックス (Anchor-box) アンカー撞(同項参照)を制限する爲めに引いた線である。この中では一回しか撞けぬことになつてゐる。

アンカレヂ (Anchorage) ① 投錨。碇泊。② 碇泊料。

ア

アンカレチポスト (Anchorage-post) 飛行船等の繫留柱。

アンカット (Un-cut) ① 雑誌や書籍を綴りたま、で下部と横を断截してないもので普及

版に多い。② 映畫にてはカットされて居ないフィルム。映畫検閲の際、治安紊亂、公安風俗環亂等種々の理由で遠慮なくカットされるが、此の難を逃れた映畫を云ふ。

アンダーハンドスロー (Under-hand-throw) アンダースローを見よ。

アンダーペインチング (Under-painting) 繪の下地を塗ること。

アンダートーン (Under-tone) ① 低音。低音調。調子の低いこと。② 薄色。

アンダーワールド (Under-world) ① 下界。地球。② 地獄。③ 最下層階級。

アンダーワーク (Under-work) ① 雑務。小事務。② 十分働かぬ。

アンダーカレント (Under-current) 暗流。潜流。表面流の下を流れるもの、外的に或種の阻害を受けてゐる時代思潮等が人心の内に依然として存してゐる時等に云ふ。

アンダーカット (Under-cut) ① 拳闘で下から上へ加へる打撃。② 次項に同じ。

アンダーカッチング (Under-cutting) ホッケー競技の反則の一で、故意にボールを下方から切るやうにして行ふ打方。

アンダーライン (Under line) 下引線。Japanese の如く文字の下に引く線を云ふ。轉

じて「水平以下」の意より低能、又は多少足らぬものをアンダーラインと云ふ。

アンダーウェア (Underwear) 肌衣。下着類。尙アンダークローズは下着。

アンタークチック (Antarctic) 南極。尙アンタークチック・オーシャンは南極洋。

アンダーグリップ (Under-grip) ラ式蹴球でスクラム(密集)を組む時下から手を組むことを云ふ。この反對に上手からスクラムを組むことをオーバークリップと云ふ。

アンダーグラウンド (Underground) 地下運動。非合法運動。

アンダーグラウンド・レールウェイ (Underground railway) 地下鐵道。メトロともいふ。

尙電車の場合にはアンダーグラウンド・エレクトリック・レールウェイである。

アンダーエクスポジユア (Under-exposure) 露出不足。映畫撮影でフィルムの感光膜に對する感光の度が少かつた場合のことをいふ。

アンダーシャツ (Under-shirt) 下着。肌着。

アン

アン

アンダースロー (Under-throw) アンダー・ハンド・スローの略で野球の下手投。即ち下

アンダーグリップ (Under-grip) ラ式蹴球(スクラム(密集))を組む時下から手を組む

ことを云ふ。この反對に上手からスクラムを組むことをオーバーグリップと云ふ。

アンダーグラウンド (Underground) 地下運動。非合法運動。

アンダーグラウンド・レールウェイ (Underground railway) 地下鐵道。メトロともいふ、

尙電車の場合にはアンダーグラウンド・エレクトリック・レールウェイである。

アンダーエクスポジユア (Under-exposure) 露出不足。映畫撮影でフィルム感光膜に對する感光の度が少かつた場合のことをいふ。

アンダーシャツ (Under-shirt) 下着。肌着。

アン

アン

アンダースロー (Under-throw) アンダー・ハンド・スローの略で野球の下手投。即ち下手から球を投ずることで、反對に上手から投球することをオーバー・スローと云ふ。

アンダースカート (Under-skirt) 女子用の下袴。

アンダースタンド (Understand) ①了解す。理解す。②知る。知悉す。

アンダースタANDING (Understanding) ①了解。理解。會得。默契。②協定。和解。

アンダリューサイト (Andalusite) 紅柱石。色は赤又は淡赤、時に灰色のものもあり、美しい赤色透明のものは寶石とされてゐる。

アンダルシヤン (Andalusian) 鶏の一品種。西班牙南部のアンダルシア地方の原産で産卵率多く一年に百數十個も産む。

アンタゴニスト (Antagonist) ①敵對者。反對者。敵役。惡黨。②反動筋。

アンタゴニズム (Antagonism) ①反對。抵抗。反對行動。反對論。②階級闘争。

アンタント (Entente) ①現状維持。②和親。親睦。③協商。尙トリプル・ア

タント (英露佛の三國協商) は大戦前トリプル・アライアンス(獨逸伊の三國同盟)に對抗して成立したものである。

アンダンチノ (Andantino) 稍緩徐調。次項よりも少し速く。

アンダンテ (Andante) ①音樂用語にて「緩徐且優美に」の意。②緩徐曲。

アンダンテ・カンタビレ (Andante cantabile) 音樂用語にて「緩く且つ謠ふが如く滑らかに」の意。又この曲は絃樂四重奏曲中の獨立した一樂章として作られる、ベートーベンのイ長調四重奏曲、チャイコフスキーのニ長調四重奏曲中のアンダンテ・カンタビレ等は最も長く知られて居る。

アンダンテ・ラルゴ (Andante largo) 音樂用語にて「莊重に甚だゆるやかに」の意。

アンレタード (Unlettered) 無學の。【例】當節はアンレタードの人間は少くなつた。

アンレストレーンド (Unrestrained) 制限なき。束縛されぬ。自由な。

アンソロジー (Anthology) 佳句集。美文集。選歌集。

アンソタイプ (Anthotype) サー・ジョン・ハーセル氏發明の天然物印畫法にして植物汁の感光性を基礎とせるもの。

ア

- アンネクセーション (Annexation) ① 附加。添附。② 合併。結合。
- アンナ (Anna) 印度の貨幣單位名で、ルビーの十六分の一、我が約四錢に當る。
- アンライツング (獨語 Anleitung) ① 指導。案内。② 序奏 (音樂の)。
- アンライセンスト (Unlicensed) 無鑑札の。無免許の。【例】アンライセンストの醫者。
- アンライセンスト・プロスチチュート (Unlicensed prostitute) 私娼。
- アンラッキー (Unlucky) 不幸の。不運の。生憎の。【例】アンラッキーな身の上。
- アンノイ (Annoy) 惱ます。困らす。苦しめる。アノイさもいふ。
- アンノイアンス (Annoyance) ① 苦惱。② 迷惑。閉口。③ 厄介な人又は事物。
- アンノウン (Unknown) ① 不可知の。不可解の。未知の。② 未知の人又は物。尙アンノウン・ソルデアイアは無名戰士の意。
- アンドロフォビア (Anglophobia) 英國嫌ひ。恐英病。排英主義。
- アンドロアラブ (Anglo-Arab) 競馬馬の一種。サラブレッド種とアラブ種を交配させて作つた優良馬種で體質が強健で關節が強く名競走馬を多く出してゐる。
- アンドロアメリカン (Anglo-American) 英米の。【例】アンドロアメリカン・トリーチー (—— treaty) は英米條約。
- アンドロサクソン (Anglo-saxon) チュートン民族の一分派で着實、勤勉、堅忍不拔の精神を持ち、又進取的氣象に富み海外發展が盛んで、五世紀頃英國に渡つて王國を建設した。現在の英米人は之に屬する。
- アングロメニア (Anglomania) 英國狂。英國好き。親英主義。
- アンクル (Uncle) ① 伯父又は叔父。尙叔母はアーンツ (Aunt) と云ふ。② 質屋。
- アンクル (Anchor) アンクル時計。アンカー (錨) と同字である、錨形の爪が順次に齒車の齒に嚙合つて其運動を制御する装置の時計。
- アングル (Angle) ① 角。角度。② 山形になつた鐵材。③ 釣針。④ 撮影でカメラの被寫体に對する角度 (カメラ・アングルと同意に用ふる場合が多い)。
- アンクル・トムス・ケビン (Uncle Tom's Cabin) ハリエット・エリザベス・ビーチャー・ストー作の有名な小説。アンクル・トムは書中に現はれる實直な黒人奴隸で虐待されて慘

タン

マン

死する、この書は米國の奴隸開放の氣運を促したものとさして知られ、遂に映畫化され

アンクル (Uncle) ① 伯父又は叔父。尙叔母はアークト (Aunt) を云ふ。② 質屋。
アンクル (Anchor) アンクル時計。アンカー (錨) と同字である、錨形の爪が順次に齒車
の齒に噛合つて其運動を制御する装置の時計。

アングル (Angle) ① 角。角度。② 山形になつた鐵材。③ 釣針。④ 撮影でカメラの被
寫体に對する角度 (カメラ・アングルと同意に用ふる場合が多い)。
アンクル・トムス・ケビン (Uncle Tom's Cabin) ハリエット・エリザベス・ビーチャー・スト
ー作の有名な小説。アンクル・トムは書中に現はれる實直な黒人奴隷で虐待されて慘

タン

アン

死する、この書は米國の奴隷開放の氣運を促したものとされて知られ、遂に映畫化され
て我國へも輸入された。

アングル・オブ・ビュー (Angle of view) 畫面の角度。

アンクル・サム (Uncle Sam) 米國或は米國民の事で英國人をジョンプルといふが如き語

アングレースフル (Ungraceful) 殺風景な。下品な。【例】アングレースフルな住居。

アングラー (Angler) ① 太公望。釣魚者。② 鮫鱈。

アングザエチー (Anxiety) ① 懸念。心配。憂慮。② 熱望。切望。

アंकシヤス (Anxious) ① 心配せる。不安の。氣がかりな。【例】女の一人旅はアंक
シヤスでならない。② 熱望せる。アंकシヤスといふ。

アンフィシアター (Amphitheatre) 圓形劇場。闘技場。

アンブローシヤ (Umbrosia) 美酒。美食。

アンプロンチュ (Impromptu) ① 即興樂。即興曲。本來は即興的に作る曲である
が後には單に曲の名稱となつた。此の曲は普通三段歌謠形式 (前部、中部、後部の三
部よりなる) の様式に作られ、ピアノ或はバイオリン曲である。② 即興詩。

アンプリファイヤー (Amplifier) ① 擴大鏡。② (ラヂオ) 増幅器。増音器。

アンプリファイヤー・トランスフォーマー (Amplifier transformer) (ラヂオ) 擴大變壓器。

アンブレラ (Umbrella) 洋傘。蝙蝠傘。

アンブレラストランド (Umbrella-stand) 傘立。傘架。

アンプレザント・プレー (Uplasant play) 一向面白くない演劇。

アンプレシデントド (Unprecedented) 未曾有の。先例のない。【例】鐵道省はアン
プレシデントドな減收に弱つて居る。

アンフェアブル・ウエザー (Unfavourable weather) 不順な天候。

アンフェア・ボール (Unfair ball) 野球で投手の投じた不正球、單にボールを略して用ふ

アンファン・テリブル (Infant terrible) 「未恐ろしき子供」。ジャン・コクトーの小
説「レザンアン・テリブル」より出た語。

アンコール (Encore) 今一度、今一回の意で音樂會等にて演奏者が演奏を終つて

ア

舞臺を去つた時聴衆が猛烈な拍手を以て演奏者を舞臺に呼び戻す事である。この場合演奏者は再び舞臺に出て聴衆に挨拶するが、其でも拍手が鳴り止まぬ時には番外に又一曲演奏する、そしてこのアンコールには普通小曲を演奏するのが例である。

アンゴ・ハンド・カメラ (Ango hand camera) アンゴ―手提寫眞器。焦點面開閉機を装置せる二つ折に疊込まるゝ輕便なる手提寫眞機。

アンゴラ (Angora) ① 小アジアの一州。② 同州原産の山羊の毛で製した織物。

アンコン (Ankong) パーシアン用語で暗槓(手持ちの同字同数の四枚札)。

アンコンデシヨナル (Unconditional) 無制限の。無条件の。【例】遂にアンコンデシヨナルの合同を承認するに至つた。

アンエクスペクテッド (Unexpected) 意外の。豫想外の。豫期せざる。

アンエクスペクテッド・サポート (Unexpected support) 豫想外の賛成。

アンエンプロイド (Unemployed) ① 失業の。失職せる。② 失業者(ザを冠す)。

アンエンプロイメント (Unemployment) 失業。失職。アネンプロイメントが正しい。

【例】アンエンプロイメントは資本主義生産の必然の結果である。

アンエンプロイメント・インシュアランス (Unemployment insurance) 失業保険。一九〇

三年獨逸にて初めて實施された社會政策の一。英國にては國民保險法として一九一一年より實施されてゐる、これに依れば労働者は強制加入で保険料は國家、資本家、労働者の分擔にして失業手當は年十五週間以内とされてゐるが、絶え間なき失業者の増大に何れもその財源に頭痛鉢巻で既に破綻に面してゐる。

アンエンプロイメント・プロブレム (Unemployment problem) 失業問題。

アンティ (Anti) 及び本語を冠せる語はアンチの項を見よ。

アンデパンダン (佛語 Independant) 自由展。無鑑査展。フランス獨立藝術家協會(サロンド・アンデパンダン)が採用してゐる制度で反アカデミー派の自由主義美術家の展覽會である。有名なるピカソ、マチス、ドラン等の大家も此のアンデパンダンの出品者であつた。我國にては昭和四年二科會が創始した。此制度は一切鑑査はなく直接に一般大衆の批判を求めんとするもので、一定の壁面料さへ出せば何人でも出品する

アン

アン

事が出来る。又この意義を文壇に應用したのが中央公論社の試みた「文壇アンデパン

アンエンプロイメント・プロブレム (Unemployment Problem) 失業問題。

アンティ (Anti) 及び本語を冠せる語はアンチの項を見よ。

アンデパンダン (仏語 Independent) 自由展。無鑑査展。フランス獨立藝術家協會 (サロン・ド・アンデパンダン) が採用してゐる制度で反アカデミー派の自由主義美術家の展覽會である。有名なるピカソ、マチス、ドラン等の大家も此のアンデパンダンの出品者であつた。我國にては昭和四年二科會が創始した。此制度は一切鑑査はなく直接に一般大衆の批判を求めんとするもので、一定の壁面料さへ出せば何人でも出品する。

アン

アン

事が出来る。又この意義を文壇に應用したのが中央公論社の試みた「文壇アンデパンダン」である。これは無名作家の作品を出版し、大衆の公平な批判を乞ふのである、本が賣れた時には其利益を配當し、賣れなければ出版所が其損失を負ふ事になつてゐる。尙本語は英語のインデペンデントに相當し「獨立、自立」が本來の意味である。

アンデパンダン・サロン (仏語 Salon des Independents) 巴里の有名なる獨立美術展覽會の事。此の展覽會は獨立藝術家協會の主催で、サロン・ド・アンデパンダンが正しい。

アンデルセン (Hans Christian Andersen) デンマークの作家ハンス・クリスチャン・アンデルセン (西紀一八〇五年生。一八七五年歿)。そのお伽噺は子供達によく愛讀されてゐる。小説では「悲しきバイオリン弾き」と「即興詩人」が殊に名高い。

アンテナ (Antenna) 無線電信發受線。ラヂオの空中線 (放送された電波を感受する線)。アンテナは元來動物の觸角 (觸感器) を意味するのである。又高所にあるアンテナ程よく電波を感受する所から脊の高い人のことを云ふ。

アンテナサーキット (Antenna circuit) 無線電信やラヂオの空中線回路。

アンデザイアブル (Undesirable) ① 好ましくない。望ましくない。② 同上の人。

アンサー (Answer) 回答。返事。解答。【例】直ぐにアンサーを下さい。

アンサーテン (Uncertain) 不定の。不確實の。あやふやな。【例】アンサーテナな證據。

アンザック (Anzac) 濠洲ニューギニア陸軍隊 (Australian and New Zealand Army-Corps の略)。

アンサンブル (仏語 Ensemble) 「今日は彼女とアンサンブルだ」といへばアベックと同じで「同行」、「一緒に」の意である、美術にては「全体」、「總体的効果」の意で「部分的には兎も角、アンサンブルとしては非常によく出来てゐる」等と用ひられる、其他には「全部合唱」の意もあり、婦人服にも此の名がある。

アンギュラー・アパーチャ (Angular aperture) 有角開孔。「焦點開孔」の別名。

アンジャスト (Unjust) 不正の。不公平な。【例】アンジャストな手段を取るな。

アンジュラス (Angelus) ① 御告の祈。夕の祈。ローマ教にて天使ガブリエルのキリスト降誕を聖母マリアに告示せし事の記念として行ふ祈。② 御告の鐘。夕の鐘 (同上)

ア

の時刻を報ずる號鐘)。佛國畫家ミレーの名畫「アンジュラス」は農夫が夕の祈をして
ある處を描いたものである。③ 晩誦歌。

アンビション (Ambition) ① 野心。大望。霸氣。② 壯圖。

アンビシャス (Ambitious) 野心に燃える。霸氣のある。【例】彼はアンビシャスな青年だ
アンモニア (Ammonia) 刺戟性の臭氣を放つ氣體で動植物の腐敗に依つて生じる。普通
これを壓縮して液状とし壓力を去れば再び氣體となる、この時多量の熱を吸収するを
以て製氷に用ひ又水に溶かして害虫に螫された時又は腦貧血の時等に用ひる。

アンモニウム (Ammonium) アンモニウム又はアンモニアとも云ふ。 NH_4 の原子團で
アンモニウム化合物中に含有せらるるを云ふ。

アンモニウム・コンパウンド (Ammonium compound) アンモニアが水及び酸類と化合
して生じた化合物。

アンモニウム・サルフェート (Ammonium sulphate) 硫酸アンモニウム。俗に硫安と云
はれ窒素肥料として用ひらる。

アンセム (Anthem) 讚美歌。頌歌。尙ナショナル・アンセム (National——) は國歌。

アンセストラル (Ancestral) ① 先祖の。② 祖先傳來の。

アンセストラル・タブレット (Ancestral tablet) 位牌。

アンセスター (Ancestor) 先祖。尙祖先崇拜はアンセスターウォーシップといふ。

アンソロポイド (Anthropoid) 類人猿。尙人に似たるの意もある。

アンソロポロジー (Anthropology) 人類學。尙アンソロポロジストは人類學者。

アンソロポセントリック・セオリー (Anthropocentric theory) 人間本位説。舊説にては
宇宙が特に人間の爲に設けられてあると説く。新説は科學的で人間の努力の可能を認
めまたその効力を認め努力すれば宇宙を人間の爲に適應せしめ得ると説く。

アンスロフォトスコープ (Anthrophoscope) 一八六七年イサック博士及びミルス氏の專
賣權を得たる寫眞硯眼鏡の一種。

アンスラサイト (Anthracite) 無煙炭。

アンステッドファスト (Unsteadfast) 確々せぬ。確固たらぬ。動搖する。

アン

アンソロポセントリック・セオリー (Anthropocentric theory) 人間本位説。舊説にては宇宙が特に人間の爲に設けられてあると説く。新説は科學的で人間の努力の可能を認めまたその効力を認め努力すれば宇宙を人間の爲に適應せしめ得ると説く。

アンスロフォトスコープ (Anthrophotoscope) 一八六七年イサック博士及びミルス氏の專賣權を得たる寫眞硯眼鏡の一種。

アンスラサイト (Anthracite) 無煙炭。

アンステッドファスト (Unsteadfast) 確らせぬ。確固たらぬ。動搖する。

アン

サー

サ

サー (Sir) ① 貴下。卿。士爵者 (ナイト)、從男爵 (バロネット) の人の名に冠する稱號。② 一般に目上の男子に對する敬稱語。

ザー (Zar) 及び本語を冠せる語はツアアの項を見よ。

サーバー (Server) ① 給仕人。② 奉仕者。服役者。勤務者。③ 庭球にてサーブする人④ 女學生間の俗語では愛人を云ふ。

サーバイバル (Survival) ① 殘存者。殘存物。遺物。② 殘存。③ 遺風。

サーバイバル・オブ・ザ・フィットテスト (Survival of the fittest) 適者生存。宇宙の全生物は自然界に適應せるもののみが生存し然らざるものは没落するといふこと。

サーバント (Servant) 雇人。下僕。女中。召使。尙ユア・オベディエント・サーバント (Your obedient servant) は「貴下の忠實なる召使」の意で手紙の終りに書けば「敬具」に當る。又「私は貴女の忠實なるサーバントです」等と戀を告白する時にも用ひらる。

サーバント・ガール (Servant-girl) 小間使。女中。下女。メイド・サーバントともいふ。

サーバント・マン (Servant-man) 雇人。下男。單にサーバントとも云ふ。

サーベル (Sabre) ① 軍刀。洋刀。② 騎兵隊。セイバーの訛。

サーペント・チャーマー (Serpent-charmer) 蛇使ひ。尙サーペントは蛇の意である。

サーペント・タイン (Serpentine) 海外に渡航する人を埠頭に見送る時見送人は眞田紐に似た五色の巻紙を贈り、行く者は甲板に見送るものは陸上にてしかこの紙を持つて別れを惜み、見送人は其の紙の長け終るまで見送る。この巾の狭い巻紙をサーペンタインと云ふが、これは「蛇の如くうねうねした」の意から來たものである。

サート (SAT) 全世界無國性協會 (Sannacieca Asocio Tutmonda の略)。一九二一年創設のプロレタリア・エスペランテストの國際的組織でプチブル的な萬國エスペランテスト協會 (U. E. A) と鋭く對立してゐる。

サード・ロー (Third-row) ラグビー用語でスクラムの第三列の事、バックローとも云ふ。

サード・ニックス (Sardonix) 赤縞瑪瑙。(玉詞) 夫婦の幸福を表はす。

サ

サード・ポジション (Third position) 第三の位置。ダンスの基本的足の位置で、片足の土着かすに他の足の踵が平行して着いてゐる位置。又左足を基本にして右足の位置を指す場合、後に半分かゝつてゐる場合は「後第三ポジション」と云ひ、前に半分かゝつた時は単に「第三ポジション」と云ふ。

サードベース (Third-base) 野球用語の「三壘」で単にサードとも云ふ。

サードレート (Third-rate) 第三流。【例】まあこの店ならサードレート所だな。

サードクラス (Third-class) 三等。尙サードクラス・チケットは三等切符。

サード・エンバイア (The Third Empire) 第三帝國主義。人間の生活は本能の儘に動く肉の世界、醜惡なる物質的世界にのみ築かれるものでない、しかし又神の國の如き靈魂の理想世界のみにも求められない、第一は肉の帝國、第二は靈の帝國、將に來るべきは靈肉一致の第三帝國であるとの説。

サーヂ (Serge) 一種の斜紋毛織物。多く服地として用ひらる。

サーヂカル・オペレーション (Surgical operation) 外科手術。サーヂャリーとも云ふ。

サーチナル (Cerial) イルホードより發賣せる濃厚單現像液にして、原板、フィルム、幻燈板、臭素紙、瓦斯光紙等に使用せらる。

サーチライト (Search-light) ① 探照燈。探海燈。② 同上の光。

サーヂャリー (Surgery) ① 手術。外科手術。② 外科醫院。同手術室。

サーヂャン (Surgeon) ① 外科醫師。② 軍醫。

サーヂャント (Sergeant) ① 軍曹。② 巡查部長。尙サーヂャント・メーヂャーは曹長。

サーチフィケート (Certificate) ① 證明す。保證す。② 證明書。免狀。③ 株券。尙メデイカル・サーチフィケート (Medical certificate) は診斷書の意。

サーチフィケート・オブ・メリット (Certificate of merit) 賞狀。

サーチフィケートド・オブ・メリット (Certificated teacher) 正教員。教員免狀を有する者。

サーチフィケーション (Certification) ① 保證。證明。② 證明書。③ 免許。

サーチファイ (Certify) ① 證明す。保證す。證明す。② 支拂保證す。

サーチファイド・チェック (Certified cheque) 支拂保證小切手。銀行が支拂保證せるもの

サーチファイケート (Certificate) ① 証明す。保證す。② 證明書。免狀。③ 株券。尙メ
ディカル・サーチファイケート (Medical certificate) は診斷書の意。
サーチファイケート・オブ・メリット (Certificate of merit) 賞狀。
サーチファイケートド・チーチャー (Certificated teacher) 正教員。教員免狀を有する者。
サーチファイケーション (Certification) ① 保證。證明。② 證明書。③ 免許。
サーチファイ (Certify) ① 證明す。保證す。證言す。② 支拂保證す。
サーチファイド・チェック (Certified cheque) 支拂保證小切手。銀行が支拂保證せるもの

サー

サーチファイア (Certifier) 證明者。保證者。證言者。
サーヂン (Sardine) ① 鰯 (いわし)。② 鰯料理。③ 鰯の罐詰品。
ザール (獨語 Saal) ① 會堂。② 廣間。客間。
サーカムベンシメン (Circumvention) ① 策略。② 欺瞞。人を欺いて陥れる事。
サーカムファレンス (Circumference) ① 周圍。圓周。② 範圍。面積。③ 境界。境界線。
サーカムエーヴィエシメン (Circumaviation) 世界一周飛行。
サーカムスタンス (Circumstance) ① 事柄。始末。② 事情。狀況。③ 境遇。身上。
サーカムスクリプション (Circumscription) ① 制限。限界。② 範圍。區域。限界線。
サーカス (Circus) ① 曲馬團。曲馬場。② 轉じて一般の興行團を指す。
サーカスト (Sarcast) 諷刺家。皮肉家。冷評家。
サーカスガール (Circus-girl) 曲馬團の娘。馬に乗つたり綱渡りしたりする女曲藝師。
サーカスライダー (Circus-rider) 曲馬師。馬の曲乗りをするサーカスの藝人。
サーカズム (Sarcasm) ① 皮肉。諷刺。② 冷評。③ 諷刺の才。
サータックス (Surtax) ① 附加税。② 附加税を課す。

サー

サーム (Palm) ① 讚美歌。聖詩。② 詩篇 (聖書の)。尙サームブックは讚美歌集。
サーヴィス (Service) 及び本語を冠せる語はサービスの項を見よ。
サーク (Cirque) ① 競技場。興行場。② 圓形の圍い地。
サークル (Circle) ① 環。圓。② 棧敷。曲馬場。③ ……界。ビジネスサークルズは實
業界。④ 團體。仲間。最近日本プロレタリア作家同盟では「工場へ！農村へ！」の
スローガンに隨つて工場、農村、會社、官署等全ゆる職場に文學サークル (文學愛好
者の會) を組織し積極的活動をなしてゐる。これが文學サークル運動である。
サークル・オブ・ファッション (Circle of fashion) 流行界。【例】巴里のサークル・オブ・フ
ァッションでは斷髮シヨート・スカートはもう時代後れだ。
サーフ (Serf) ① 奴隸。② 農奴 (ヴァイレーン参照)。
サーフ (Surf) 寄や浪。尙サーフボートは寄せ浪を乗り切る爲丈夫に作つたボートの事。
サーブ (Serve) ① 仕へる。勤務す。出演す。サービスする。② 庭球にては競技開始の

サ

第一球を投ずる事を云ふ。此のサーブのボールを打ち返すのをリザーブ (Reserve) と云ひ、共に技巧を弄する事が出来ない。

サーフ・リボルト (Serf Revolt) 農奴叛亂。ロシアに於て十七世紀初頭より十九世紀半までは農奴時代である、十六世紀後半より貴族地主の権力増大し自由農民は漸く農奴に落されるや反亂各地に起り、一六六七年にはステンカ・ラーヂン、一七七三年にはプガチョフの大叛亂となつた。一八三七—五五年の間に殺害された地主は二百人に及び一八二六—五四年の間に五百五十六回の農奴叛亂が起り其の結果として一八六一年アレクサンダー二世の農奴解放となり、これよりロシアは急速に資本主義的發展を遂げたのである (ヴァレーン参照)。

サープラス (Surplus) ① 殘餘。剩餘。② 過剩。超過。

サープラスバリュー (Surplus-value) 剩餘價值。マルクス經濟學の理論、資本家社會にあつては全ゆるものが商品形態をさる、隨つて人間の勞働力も亦商品となり、勞働者は自身の勞働力を資本家に賣り渡し、その代金 (賃金) によつて生活をする。今假りに勞働者及び其家族の生活資料の生産には、社會的平均勞働五時間を要すことなし、それが貨幣二圓に相當するものとせば、彼は一日五時間働けば、一日の生活資料を得るわけである。此の五時間の勞働は必要勞働であつて、此れだけでは資本家にとつて一錢の利益にもならない事を意味するのである。故に資本家は一時間でも勞働時間を増して勞働者を搾取せんとする。令一日十時間勞働にあつては初めの五時間を必要勞働時間とすれば後の五時間の勞働は賃金以上の勞働であり、然かもその利益は完全に資本家の握る所となるのである。此の五時間に生産される價值を剩餘價值と云ひ、この場合剩餘價值率は實に百パーセントである。

サーフェース (Surface) 表面。外觀。又サーフェースは堂々としてゐるが裏へ廻れば貧弱な構へと云つた建物をライオン・ビルと云ふのである。

サーフェースカー (Surface-car) 路面電車。即ち地下高架に對し道路面を走る電車。

サーフェースプリンチング (Surface-printing) 凸版印刷。

サーテイン (Certain) 確かな。確實な。疑なき。

サー

サー

サーテインリー (Certainly) ① 確かに。承知した。② ダンス場でダンスの相手を求め

時間とすれば後の五時間の労働は賃金以上の労働であり、然かもその利益は完全に資本家の握る所となるのである。此の五時間に生産される価値を剰餘価値と云ひ、この場合剰餘価値率は實に百パーセントである。

サーフェース (Surface) 表面。外觀。又サーフェースは堂々としてゐるが裏へ廻れば貧弱な構へさいつた建物をライオン・ビルと云ふのである。
サーフェースカー (Surface-car) 路面電車。即ち地下高架に對し道路面を走る電車。
サーフェースプリンチング (Surface-printing) 凸版印刷。
サーテイン (Certain) 確かな。確實な。疑なき。

サー

サー

サーテインリー (Certainly) ① 確かに。承知した。② ダンス場でダンスの相手を求められた場合「サーテインリー」と云へば「お相手致します」で、又人に依頼を受けた時斯く云へば「確かに承知した」の意である。
サーテインリー・ノット (Certainly not) 前項の反對で「斷じていけない」の意。【例】「過ちだから許して呉れつて?」と云うてサーテインリー・ノットだ!」

サーキット (Circuit) ① 巡回。巡回路。② 巡回裁判。③ 映畫にては興行系統。例へば松竹サーキットの如く用ひられる。

サーキットドライブ (Circuit-drive) 「一巡り走る」の意で野球のホームランの事である。ピッチャー徐ろにモーションを起し見事な直球を投げた、果然打者は振つた、「カーン」と氣持のよい當りでボールは遠く外野手の上を超えた。打者はファースト、セカンドサードを通過して遂にホームイン、素晴らしいサーキットドライブである。

サーキットブレーカー (Circuit-breaker) 電路又は回線の遮斷器。
サーキュレート (Circulate) 循環す。流通す。流布す。回覽す。

サーキュレーション・ライブラリー (Circulating library) 巡回圖書館。回覽會。會員組織をなし一定の會費を徵集して書籍雜誌を回覽せしめる會。

サーキュレーション・キャピタル (Circulating capital) 流動資本。運轉資本。
サーキュレーション・ミディアム (Circulating medium) 通貨。日常取引に使用されてゐる貨幣、紙幣、銀行券等。

サーキュレーション (Circulation) ① 循環。流通。融通。② 新聞紙等の發行高。
サーキュレーション・オブ・マネー (Circulation of money) 金融。産業資本が需要、供給の關係で循環流通すること。

サーキュラー (Circular) ① 循環する。② 婦人用まんど。③ 回狀。引札。
サーキュラー・ステア (Circular stair) 廻り階段。螺旋形に上迄續いた階段。
サーミー (Thermae) ① 温泉。② 公衆浴場 (錢湯)。浴場。
サーミック・フィーバー (Thermic fever) 日射病。サンストロークともいふ。
サーミスト (Psalmist) ① 讚美歌作者。聖歌作者。② 讚美歌書。

サ

サーシ (Circe) ホーマーの叙事詩「オディッセー」中のギリシヤ神話の妖女。轉じて妖婦
 サービリチー (Servility) ① 奴隷根生。卑屈。卑劣。② 屈從。

サービス (Service) 奉仕。勤務。職務。貢獻等の意であるが、一般流行語としては普通
 「給仕」、「奉仕」の事である。百貨店等でも「サービス第一主義」と云つて美人ショ
 ップガールを置き、或は無料バスを運轉したり、買物の配達等、等、こゝもこ百パー
 セントのサービス振りである。カフェーの廣告に「美人のサービスに快い酔を……」
 は未だしも最近「美女の決死的エロサービス」なるもの迄現はれるに至つた。

サービスドレス (Service-dress) 事務服。仕事着。

サービスワイア (Service-wire) 引込線。屋内に引込んである電燈、電話線。

サービスガール (Service-girl) 一般に女給の意に用ひられてゐるが別に女給に限らない
 客にサービスする職業婦人は皆これである。空のサービスガールはエアガール、海で
 はマリーンガール、或は地下に潜るサブガール、其他〇〇ガールと云ふのは皆サービ
 スガールと思つて間違はない。曰く、ガソリンガール、スタンドガール、マネキンガ
 ール、オフィスガール等、等、婦人職業戦線の擴大と共にサービスガールも増加する
 サービスレデー (Service-lady) 女給をより近代的にそして上品に云つたもの丁稚が小
 店員になり、カッドウが映畫となり二等卒が二等兵に變つたのと同じ流で女給—ウエ
 ートレス—サービスガール—サービスレデーと變つたのは名だけで依然女給は
 女給に過ぎない。

サービスライン (Service-line) 庭球コート、網より廿一呎の所にネットに平
 行して引いた線。

サービスエース (Service-ace) 庭球でサービスの際敵の受損じに依つて得る一點の事。

サービスデー (Service-day) 特別奉仕デー。百貨店等にて平日より廉價提供したり粗品
 を贈呈したりして特別サービスをなす日でカフェー等でも良くサービスデーをやつ
 てゐる。尙アメリカで「サービスデー」と云へば世界大戦に参加した日の事である。

サービスアワー (Service-hour) 勤務時間。服務時間。

サービスメーター (Service-meter) 通話度数計。電話を掛けた回数を表す器具。

サー

サー——サイ

サービスビューロー (Service-bureau) 新聞雑誌等の「讀者相談部」。即ち規定された件に

つき讀者の質問に對して紙上解答をなす欄である。

行して引いた線。

サービスエース (Service-ace) 庭球でサービスの際敵の受損じに依つて得る一點の事。
サービスデー (Service-day) 特別奉仕デー。百貨店等にて平日より廉價提供したり粗品を贈呈したりして特別サービスをなす日でカフェー等でも良くサービスデーをやつてゐる。尙アメリカで「サービスデー」を云へば世界大戦に参加した日の事である。
サービスアワー (Service-hour) 勤務時間。服務時間。
サービスメーター (Service-meter) 通話度數計。電話を掛けた回數を表す器具。

サー

サー——サイ

サービスビューロー (Service-bureau) 新聞雜誌等の「讀者相談部」。即ち規定された件につき讀者の質問に對して紙上解答をなす欄である。

サービスステーション (Service-station) ①自動車給油所。自動車販賣店のガレージ。②自動車ラヂオ等の部分品販賣所、或は應急修理所。

サーモグラフィ (Thermography) 焙り出し。紙に藥品にて繪や文字を書き火に焙つてそれを現はす方法。

サーモメーター (Thermometer) 寒暖計。これにはファーレンハイト (華氏)、センチグレード (攝氏)、レイオーミア (列氏) の三種がある。

サーモス (Thermos) 魔法壺。サーモス・フラスクの略。

サーモン (Sermon) ①説教。法話。②講義。講話。③教訓。

サーモン (Salmon) ①鮭。②鮭色。即ち淡紅色 (次項参照)。

サーモンピンク (Salmon-pink) 淡紅色。鮭色。單にサーモンとも云ふ。

サースト (Thirst) ①喉の渇き。②渴望。熱望。③旱魃。④乾燥地。砂漠。

サーズデー (Thursday) 木曜日。サーズデー (Thor's-day) の意味で、大空と雷の神サール (Thor) の名から取つた語である。

サイ (Sigh) ①歎息。溜息。②歎息する。悲しむ。

サイト (Sight) ①視力。眼界。②視察。觀察。③看視。觀覽。見物 (みもの)。

サイド (Side) ①側面。表裏の各面。(分界線の) 片側。②ラグビーにては中央線 (ハーフウェーライン) で區切られた双方の陣地を云ふ。

サイドポール (Side-pole) センターポールに對して道路の傍に立てた電柱を云ふ。

サイドドラム (Side-drum) 小太鼓。腰につけて打つもの。

サイドカー (Side-car) 側車。自動自轉車の側に人の乗れる座席又は運搬車を附けたもの、此の運搬車が後にあるのはリヤ・カーである。

サイドタックル (Side-tackle) ラグビーで球を持つて居る敵を横からタックルする事。

サイドライト (Sidelight) ①映畫撮影の際側面から被撮影物に光線を注ぐ燈器。②横窓。③舷燈。④側面觀。

サ

サイドライン (Side-line) ① 側界線。側線 (鐵道の)。間道。② 副業。

サイドウォーク (Side-walk) 歩道。側道。バスター・キートンの喜劇映畫に「紐育の歩道」(Side-walks of New York) といふのがある。

サイドウォーク・セール (Side-walk sale) デパートメントストアが特にサイドウォークに面した軒で商品の販賣をなすこと。

サイドマリッジ (Side-marriage) 獨逸にて流行したもので、大戦後人口が激減したためその増加をはかるために副結婚を行つた。これは夫婦合意の上他の男女との姦通を默認するのである。

サイドゲート (Side-gate) 横門。通用門。

サイドプレイヤー (Side-player) 助演者。ワキ役者。即ち獨特の演技を以て主役を助けて行く者である。現在の様なスターシステム (同項参照) に於てはスターを益々スターたらしめるのみで所詮縁の下の力持ちに過ぎない。

サイドテーブル (Side-table) 側卓子。食卓や大机の傍に置く小テーブル。

サイドアーム・スロー (Side arm throw) 普通略してサイドスローと云はる (同項参照)

サイド・アット・バット (Side at bat) 野球の攻撃側の事。

サイドアウト (Side-out) 排球用語でボールが外へ出る事を云ふ。

サイトシーイング (Sight-seeing) 観光。遊覽。尙サイトシーイング・カーは遊覽自動車。

サイトシーア (Sight-seer) ① 観光者。遊覽客。② 見物人。觀覽者。

サイドシーン (Side-scene) 演劇用語で大きな舞臺道具の端に添へる小道具。

サイドショット (Side-shot) 撞球用語で玉の側面を突いてひれる方法。

サイドジョブ (Side-job) 内職。手間仕事。本業の餘暇にする副業。

サイトビル (Sight-bill) 手形、小切手等の一覧拂。

サイドビュー (Side-view) 側面觀。「大東京のサイドビュー」等と用ふるのであるが、同じ意味でもプロフィールの方が近代的に響く爲か、此の方がよく使はれる (同項参照)。

サイドスロー (Side-throw) 野球用語にて横投、即ち横の方からボールを投げる事。

サイドストローク (Side-stroke) ① 横泳ぎ。側泳。② 傍杖。

サイ

サイ

サイドストリート (Side-street) 横町。大通りより横へ入つた小路。

サイドシーン (Side-scene) 演劇用語で大きな舞臺道具の端に添へる小道具。
サイドショット (Side-shot) 撞球用語で玉の側面を突いてひれる方法。
サイドジョブ (Side-job) 内職。手間仕事。本業の餘暇にする副業。
サイドビル (Side-bill) 手形、小切手等の一覽拂。
サイドビュー (Side-view) 側面觀。「大東京のサイドビュー」等を用ふるのであるが、同じ意味でもプロフィールの方が近代的に響く爲か、此の方がよく使はれる(同項参照)。
サイドスロー (Side-throw) 野球用語にて横投、即ち横の方からボールを投げる事。
サイドストローク (Side-stroke) ① 横泳ぎ。側泳。② 傍杖。

サイ

サイ

サイドストリート (Side-street) 横町。大通りより横へ入つた小路。
サイドストライド (Side-stride) 走り高跳をなす場合斜の方から走つて行つて跳ぶ事。
サイドスリップ (Side-slip) ① 飛行機、自動車、自轉車が横滑りする。② 私生兒。
サイドスリッピング (Side-slipping) スキー用語で「横滑り」。クエールファレンと同じ
サイドステップ (Side-step) ラグビーにて敵を欺く一方法である。即ちボールを持つて敵のゴールへ突進する時タックルして來る敵を前にして、一步右へ踏み込んだ瞬間左の方へ身をかはしたりする事を云ふ。

サイドステッピング (Side-stepping) 階段登。スキーで急傾斜面を登る時難段式に登る事
ザイル (獨語 Seil) ① 綱。索。② 登山用綱。アルパインロープと同じ。ロッククライミングではこの綱を岩の根や木に引き掛けて多數の者が登つて行くのである。

サイオニズム (Zionism) ユダヤ民族主義。ユダヤ民族は現在國家を有せず、全世界に散在してゐるが、これを統一し故國パレスチナに復歸せしめ様とする思想。

サイカイアトリー (Psychiatry) ① 精神病学。② 精神病治療法。

サイダー (Cider) ① 林檎の果汁より醸造するアルコール飲料。② 炭酸水に果汁を混じた清涼飲料。

サイレン (Siren) 號笛。孔ある廻轉板を壓搾空氣又は蒸氣の进出上に廻轉し高音を發せしむる装置をしたもの。この語は神話によれば伊太利の島に住んでゐた云ふ女神の名で、美しい聲で唄ひ、近くを通る船員を引き寄せた云ふ、獨逸の傳説ローレライによく似てゐる。これより轉じて男を誘惑する美貌の女の意にも用ひらる。

サイレント (Silent) ① 音無き。無音の。② 無聲映畫 (サイレントピクチャ参照) 尙

サイレントパートナーシップ (Silent-partnership) 匿名組合。尙サイレントパートナー

サイレントドラマ (Silent-drama) ① 無言劇 (サイレントプレー参照)。② 映畫劇。シ

サイレントフィルム (Silent-film) 無聲映畫 (サイレントピクチャ参照)。

サ

サイレントプレー (Silent-play) 無言劇。劇中臺詞が無く音楽舞踊で意味を表はす劇。
 サイレントエディション (Silent-edition) サイレント版。これは最初トーキーとして製作された映畫が事情によつて(例へば發聲機の装置なき映畫館等)音を再現せしめず無聲映畫と同様に上映される場合タイトルの無いトーキー映畫には字幕を加へて編輯したプリントが用意される。これをサイレント版と云ふのである。

サイレントピクチャ (Silent-picture) 無聲映畫。これはつまり在來からある啞の映畫であるが、トーキー(サウンドピクチャとも云ふ)が生れるに及びこの名が興へられたのである。トーキーの急速なテンポの發達に隨つてサイレントピクチャは益々時代に置き去られ様としてゐる傾向がある。

サイレントセールスマン (Silent-salesman) 無言の販賣者。陳列裝飾をうまくして思はず知らず買手をつけること。つまりショーウィンドー(店頭)裝飾の事を云ふ。

サイレンラブ (Siren-love) 待ち焦れた正午のサイレンが鳴るや脱兎の如く、舌籠を放れた鳥の如く廊下へ飛び出した彼とそのスイートハート、「まあ!あんな早かつたわねえ」。即ち午後の短い休憩時間を利用してランデブーを楽しむ百パーセント近代的戀愛でビルディング内の一情景である、でこの尖端娘をサイレンガールともいふ。

サイレンス (Silence) ①沈黙。無言。②静寂。寂寞。靜肅。

サイノロジー (Psychology) 英語の様であるが和製モダン語、サイコロジ (Psychology) 心理学)をもつて出來た語で「妻君に鈍い男」である。國産愛用の宣傳が効を奏したものが盛んに用ひられて居る。

サイクローン (Cyclone) ①旋風。印度洋に起る龍卷の様な大旋風。②低氣壓。

サイクロペディア (Cyclopedias) エンサイクロペディアに同じ。

サイクログラフ (Cyclograph) ①エムダモイセウ氏の工夫したるパノラマ的寫眞機。②エー・エッチ・スミス氏考案の圓形物体の全部を撮影する寫眞機。

サイクリスト (Cyclist) 自轉車乗。サイクル・レースの選手。

サイクリング (Cycling) ①自轉車に乗る事。②同上の方法。

サイクル (Cycle) ①循環期。周期。年紀。②自轉車。③傳説又は神話の全篇。全詩。

サイ

サイ

サイクルカー (Cycle-car) 小形の自動自轉車。

奏したものが盛んに用ひられて居る。

サイクローン (Cyclone) ① 旋風。印度洋に起る龍巻の様な大旋風。② 低気圧。

サイクロペディア (Cyclopedias) エンサイクロペディアと同じ。

サイクログラフ (Cyclograph) ① エムダモイセウ氏の工夫したるパノラマ的寫真機。

② エー・エッチ・スミス氏考案の圓形物体の全部を撮影する寫真機。

サイクリスト (Cyclist) 自轉車乗。サイクル・レースの選手。

サイクリング (Cycling) ① 自轉車に乗る事。② 同上の方法。

サイクル (Cycle) ① 循環期。周期。年紀。② 自轉車。③ 傳説又は神話の全篇。全詩。

サイ

サイ

サイクルカー (Cycle-car) 小形の自動自轉車。

サイクルレース (Cycle-race) 自轉車競争。此の競技は我國にては餘り行はれないが歐

米にてはモダンスポーツとして盛んに行はれて居り、國際オリンピックにも選手権競技として採用されて居る。一九二八年の第九回オリンピックでは丁抹のハンゼンが百二哩を四時間十七分十八秒にて走破して優勝し、チームレース(三人一組)では丁抹チームが十五時間九分十四秒で優勝した。所が一九三一年八月の大毎主催大阪―鹿兒島間一千キロのサイクル・チームレースでは其記録は個人優勝四十時間十六分二十六秒、チーム優勝一二七時間十八分十七秒であつた。

サイクラ (Cycler) 自轉車乗り。サイクリストと同じ。

サイフォン (Siphone) 吸水器。液体を他の容器に移す時に用ふる彎曲せる水管。

サイプレスバイン (Cypress-vine) 旋花科の植物で孔雀羽根の如き細い優美な葉を有し、

花は五菱の紅白で非常に美しい。

サイファー (Cipher, Gyphar) ① 零。ゼロ。② 價値なき人又は物。③ 符牒。落款。

サイコーシス (Psychosis) ① 精神病。精神錯亂。② 心理状態。意識作用。

サイコロチー (Psychology) 心理學。心理的現象を研究する學問。

サイコロヂカル (Psychological) 心理學的。

サイコロヂズム (Psychologism) 心理主義。尙サイコロヂストは心理學者。

サイコパソロヂー (Psychopathology) 精神病理學。

サイコセラピー (Psychotherapy) 精神療法。精神力に依つて病氣を治さんとする方法。

サイコアナリシス (Psycho-analysis) 精神分析。精神病學者フロイドの心理學で、精神病、變態性慾等の特殊心理を研究する科學である。即ち精神活動中潜在意識の作用が表面的な精神作用に影響する事を明らかにした、例へば夢は平常無意識に其の事を考へて居たから其れが夢となつて現はれたのであると云ふのである(フロイド参照)。

サイエンチフィック (Scientific) 科學的。論理的に秩序正しく組織された事を云ふ。

サイエンチフィック・ソーシヤリズム (Scientific socialism) 科學的社會主義。フリーエ、オーエン、サン・シモン等の空想的社會主義に對してマルクス、エンゲルスの共產主義

サ

に與へられた名である。即ち社會主義はマルクスの「唯物史觀」及び「剩餘價值」による資本家的生産の秘密の暴露の二大發見に依り科學的に發展したのである(コンミユニズム、マテリリアリズム各項参照)。

サイエンチフィック・クリチシズム (Scientific criticism) 科學的批評。文藝上の作品等を科學的に研究批判する事。

サイエンチフィック・マネージメント (Scientific management) 科學的管理法。自然科學、生理學、心理學等を研究しそれを工場管理法に應用して勞働能率を増進し、生産の合理化を圖らんとするものでテーラー氏の唱導せし方法である爲、テーラーシステムとも云ふ(同項参照)。

サイエンチフィック・エクスペディション (Scientific expedition) 科學探檢。極地探檢或は人類學、地質學研究等のために行ふ探檢等、科學的研究を目的とする探檢を云ふ。

サイエンチスト (Scientist) 科學者。自然科學者。

サイエンス (Science) 科學。論理的に分類又は組織された學問で、動植物學、物理、化學、地質學、天文學等々自然を研究の對象としたものを自然科學、政治、經濟、法律史學、倫理學、社會學等々社會現象を研究の對象とするものを社會科學といふ。

サイアノタイプ (Cyanotype) 青寫眞法。青酸印畫法。一八四二年サージョン・ホーセル氏により發明せられたもので、製圖を複製するに用ふ。

サイアノゲン・ソープ (Cyanogen soap) 青素石鹼。青酸加里を含有する石鹼で手の硝酸銀に汚れたるを除くに使用せらる。

サイキー (Psyche) ①ギリシヤ神話で靈魂の權化たる美女。②靈魂。③大姿見。

サイキック (Psychic) ①心靈の。靈魂の。②巫女。尙サイキック・フォースは神靈力。

サイズ (Size) ①大きさ。寸法。靴や帽子の寸法に云ふ。②時計の型。

サイズミック・センター (Seismic center) 震源。アースクエーク・センターとも云ふ。

サイズモロヂー (Seismology) 地震學。尙サイズモロヂストは地震學者の意である。

サイズモグラフィ (Seismograph) 地震計。サイズモメーターとも云ふ。

サイン (Sign) ①符號。信號。身振り。合圖。②署名。捺印。③隱語では男子が女子

サイ

ザイ——サハ

に對して肉体的關係を結ぶこと、先年フィリッピン選手と東京の女學生との間にサイ

銀に汚れたるを除くに使用せらる。

サイキーク (Psyche) ①ギリシヤ神話で靈魂の權化たる美女。②靈魂。③大姿見。
サイキック (Psychic) ①心靈の。靈魂の。②巫女。尙サイキック・フォースは神靈力。
サイズ (Size) ①大きさ。寸法。靴や帽子の寸法に云ふ。②時計の型。
サイズミック・センター (Seismic center) 震源。アースクエーク・センターとも云ふ。
サイズモロヂー (Seismology) 地震學。尙サイズモロヂストは地震學者の意である。
サイズモグラフ (Seismograph) 地震計。サイズモメーターとも云ふ。
サイン (Sign) ①符號。信號。身振り。合圖。②署名。捺印。③隱語では男子が女子

サイ

サイ——サハ

に對して肉体的關係を結ぶこと、先年フィリッピン選手と東京の女學生との間にサイン問題が起り識者を聳慄せしめた。

サイン (獨語 *Sain*) 實在。存在 (哲學用語)。

サインボード (Sign-board) 看板。招牌。

サインペインター (Sign-painter) 看板書き。サインボード・ペインターの略。

サインド・バラット (Signed ballot) 記名投票。投票者が氏名を明記して投票する事。

サインガール (Sign-girl) 看板娘。何店でも美しいサインガールの居る所はよく流行る

サロップ (佛語 *Salope*) ①穢らばしい女。②淫賣婦。

サロゲート (Sarrogate) ①名代。代理者。委員。②代用物。

サロン (佛語 *Salon*) ①客間。應接室。②社交界。英語のサルーンに同じ。③美術展

覽會。美術の都巴里には五つのサロンがある。即ちソシエテ・ド・ザルチスト・フラン

セー (一八三三年創立)、サロン・ド・アンデバンダン (同項参照)、サロン・ナショナル

・ド・ボザール (一八九〇年創立)、サロン・ドートンヌ (同項参照)、サロン・ド・チュ

イルリー (一九二三年創立) 等である。

サロン・ドートンヌ (佛語 *Salon d'autonne*) 「秋のサロン」の意。一九〇三年の創立で

フランス美術の最近の傾向を示めず展覽會である。

サロン・ド・アンデバンダン (佛語 *Salon de Independent*) フランス獨立藝術家協會の美

術展覽會。この展覽會は一八八四年創立されたものである (アンデバンダン参照)。

サロントピック (Salon-topic) 社交界に持ち出して充分淑女紳士諸君の興味を唆り得る

百パーセント社交的な話題を云ふ。

サロンガール (Salon-girl) 社交的集會等には何をおいても出席する派手好きの女。

サロンマルキシスト (Salon-marxist) 宏壯なブルジョアのサロンにてアームチエアに悠

然と納り、瀟洒なエシプト巻きをふかし乍ら、いとも莊重にマルクス主義を論ずる、

つまりサロンだけのマルクス主義者である。プロレタリアには嘔氣を催す様な存在だ

が御當人は無論大眞面目で自ら立派なマルキシスト氣取りである。

サハー (Saha) 「左様なら」。船員の俗語でグッドバイと同じである。

サ

サパー (Supper) 勉強家。「本の虫」。一生懸命に本に嚙りついて勉強する生徒。

サパー (Supper) 夕食。晩飯。尙ザ・ラスト・サパーはキリストの最後の晩餐の事である
サパーダンス (Supper-dance) 晩餐時に行ふ舞踏。

サバーブ (Suburb) 郊外。市外。町外れ。サバーバナイト (Suburbanite) は郊外居住者。
サハラ (Sahara) 東西一千二百里、南北四百里、亞弗利加洲の五分の一の地積を占める

世界最大の沙漠。尙 Sahara は亞刺比亞語で沙地の意。

サバス (Sabbath) ①安息日。基督教では日曜日、ユダヤ教は土曜日とする。②安息。

サニー (Sunny) ①赫灼たる。照り輝く。②陽氣な。快活な。

サニーサイド (Sunny-side) ①日當りのよい所。②ダークサイドに對する語で光明面。
【例】都會のサニーサイドよりダークサイドに眼を轉ぜよ。

サニタリー (Sanitary) ①衛生の。尙サニタリービューローは衛生局。②公衆便所。

サニテーション (Sanitation) ①衛生。②衛生施設。衛生改良。

サニテーション・エグジビション (Sanitation exhibition) 衛生展覽會。衛生思想の宣傳の

爲保健衛生に關する資料、統計等を集めて、公開する展覽會。

サボ (佛語 Sabot) ①木靴。②馬の蹄。③(家具の)脚飾り。

サポート (Support) ①維持。支持。援助。後援。②音楽にては伴奏部。③支持す。

サポーター (Supporter) ①維持者。支持者。②後援者。③有志者。賛成者。④運動
をなす際罪を抑へる爲に用ふるゴム製猿股。

サポーズ (Suppose) ①推測す。想像す。考へる。②提議す。

サボートル (佛語 Saboteur) 怠業工 (サボタージュ参照)。

サボる (Sabotage の變化) フランス語のサボタージュを日本語的に動詞化したもので、
「怠ける」又は「サボタージュする」の意である。

サボタージュ (佛語 Sabotage) 怠業。サボとも略す、労働者の資本家に對する闘争戦術
の一種、ストライキと異り平日通り就業はするが故意に生産能率を低下して資本家に
打撃を與へる戦術である。此れには積極的に電動機等を止めたりするの、消極的に
規則を逆用して結局能率を減ずるものがある。後者の場合には「安全デー」、「事故無

サバ——サボ

サボ——サチ

「安全デー」等とも云はれ、市電等の爭議で「交通安全デー」と云つて極度に速力を緩め
て運轉する戦術等之である。又一般には唯「怠ける」と云つた程、意味を用ひらる。

サボトリール (佛語 Saboteur) 怠業工 (サボタージュ参照)。

サボる (Sabotage の變化) フランス語のサボタージュを日本語的に動詞化したもので、「怠ける」又は「サボタージュする」の意である。

サボタージュ (佛語 Sabotage) 怠業。サボとも略す、労働者の資本家に對する闘争戦術の一端、ストライキと異り平日通り就業はするが故意に生産能率を低下して資本家に打撃を與へる戦術である。此れには積極的に電動機等を止めたりするのと、消極的に規則を逆用して結局能率を減ずるものがある。後者の場合には「安全デー」「事故無

サバ——サボ

サボ——サチ

「デー」等とも云はれ、市電等の争議で「交通安全デー」と云つて極度に速力を緩めて運轉する戦術等之である。又一般には唯「怠ける」と云つた軽い意味に用ひらる。

サボン (Sabon) 石鹼。しゃぼん。

ザボン (Xamboa の訛) 朱欒。夏蜜柑によく似た果物で酸味あり美味である。

サベチ (Savage) ① 野蠻の。野生の。裸体の。② 殘酷な。③ 野蠻人。野獸。

サベチリー (Savagery) ① 野蠻。未開。② 殘酷。瘁猛。③ 野蠻人。

サベチオパシー (Savageopathy) 半獸主義。野蠻殘忍なる原始時代の人間の強くして單純なる感情及び意志を研究する文藝上の一派。

サドル (Saddle) 鞍。自轉車などの鞍になつた處を云ふ。

サドルノーズ (Saddle-nose) 大きくて偏平で低い鼻を斯く云ふ。あたかも自轉車のサドルの如きであるからである。

サドン (Sudden) ① 突然の。不意の。② 突然。不意。尙サドンリーは「不意に」の意。

サチリスト (Satirist) ① 諷刺家。皮肉屋。② 諷刺作家。③ 惡口を云ふ者。

サチネット (Satinette) 綿織子。まがひ織子。

サチライアシス (Satyriasis) 男子の病的性慾亢進症。

サチエスト (Suggest) ① 提出す。提起す。② 暗示す。諷示す。③ 誘惑す。勸誘す。

サチエスチエン (Suggestion) ① 暗示。諷示。② 提言。忠告。入智慧。③ 誘惑。勸誘。

サチエスチブ (Suggestive) ① 暗示的。② 挑發的。肉感的。センチメンタルはサチエスチブな服装で盛んに異性を惱殺して居る。

サチアグラフィア (印語 Satyagraha) 「眞理を把握して動かぬ」事。此れは印度の國民運動の指導者ガンヂーの唱えた語で、彼の所謂無抵抗主義は此れより出たものである。

サチスファイ (Satisfy) ① 満足させる。飽かす。② 償還す。③ 應じる。④ 履行す。

サチスファイア (Satisfer) ① 満足せしめるもの。② 賠償者。償還者。

サチスファクシエン (Satisfaction) ① 満足。② 賠償。辨償。③ 懺悔。④ 決闘。

サチン (Satin) ① 織子。袖裏地としてよく用ひらる。② ジン酒 (洋酒の一種)。

サチンペーパー (Satin-paper) 光澤ある一種の書簡紙。

- サリー (Sally) ① 旅行。遠足。② 外出。③ 突撃。突出。
- サリア (羅語 Saria) キリシヤ神話で喜劇、酒宴等を司る神。
- サリチル・アシッド (Salicylic acid) サリチル酸 ($C_7H_5O_2$)。針狀結晶をなす白色の物質で解熱劑或は利尿劑として使用せられ又強い防腐性を有するため清酒に少量を混す。
- サリュート (Salute) ① 挨拶。會釋。② 捧銃。禮砲。③ 喝采。
- サリュート・オブ・ガン (Salute of gun) 皇禮砲。ロイヤル・サリュートともいふ。
- サリュテーション (Salutation) 挨拶。會釋。敬禮。
- サルーン (Saloon) 大廣間。公衆娛樂室。食堂。ダンス場。酒場。又米國でいふ「セダ型」を英國では「サルーン型」といふ。佛語サロンに同じ。
- サルーンカー (Saloon-car) 展望車。客車を數室に仕切つてテーブルや椅子、ソファ等を設備したものを。サルーンキャリッジ (Saloon carriage) ともいふ。
- サルーンデッキ (Saloon-deck) 一等船客用甲板。
- サルバー (Salver) 金屬製の盆。給仕用又は名刺受けに用ひらるゝもの。
- サルバー (Salvor) ① 救助船。救難船。② 救難者。
- サルバルサン (獨語 Salvarsan) 獨逸の醫學者 Ehrlich 博士が睡眠病に用ひた最初の砒素化合物より六百六回目の試験の結果發明した黴毒注射藥。俗に六百六號と呼ぶ。
- サルボ (Salvo) ① 一齊射撃。② 除外例。但書。③ 遁辭。言譯。
- サルペトリエール (佛語 Salpétrier) ① 養老院。② 火藥庫。火藥製造所。
- サルベージ (Salvage) 水難救助。救難。貨物救護。
- サルベージコンパニー (Salvage-company) 海難救助を營業とする會社。
- サルベージニスト (Salvationist) 救世軍々人 (サルベージン・アーミー参照)。
- サルベージン (Salvation) ① 救ひの道。救世。② 救助。救濟。
- サルベージン・ハンターズ (Salvation hunters) 救ひを求むる人々。ヨセフ・フォン・スタンバークの處女作品の題である。又「ごうだい、今夜おこれよ」「馬鹿な、此方こそサルベージンハンターだよ」等を用ひらる。
- サルベージン・アーミー (Salvation army) 救世軍。一八六五年ウイリアム・ブラスが

サリ——サル

サル

ロンドン、イーストエンドの貧民窟に於て「東ロンドン傳道教會」を創設したのが救世軍の發端である。これは軍隊式の組織を以てし、専ら兵士で、ブラスは

サルベージコンパニー (Salvage-company) 海難救助を營業とする會社。
サルベーションニスト (Salvationist) 救世軍々人 (サルベーション・アーミー参照)。
サルベーション (Salvation) ① 救ひの道。救世。② 救助。救済。
サルベーション・ハンターズ (Salvation hunters) 救ひを求むる人々。ヨセフ・フォン・スタンバークの處女作品の題である。又「どうだい、今夜おこれよ」「馬鹿な、此方こそサルベーションハンターだよ」等を用ひらる。
サルベーション・アーミー (Salvation army) 救世軍。一八六五年ウイリアム・ブースが

サリ——サル

サル

ロンドン、イーストエンドの貧民窟に於て「東ロンドン傳道教會」を創設したのが救世軍の籃觴である。これは軍隊式に組織され傳道師は士官、信徒は兵士で、ブースは自ら大將となつた。現在では世界八十ヶ國にこの組織を有してゐる。

サルトリイ (Sultry) 蒸暑い、熱苦しい。

サルトリイ・ヒート (Sultry heat) むしむしするやうな暑熱。

サル・ダタレント (佛語 Salle d'attente) 停車場待合室。尙サルは大廣間、會堂の意。

サルタレロ (伊語 Saltarello) スメイン又は伊太利の一種の舞踊。及び同上の曲。

サルタン (Sultan) ① 土耳其皇帝。② 專制君主。③ 家鴨の一種。

サルタンバンク (佛語 Saltimbague) ① 香具師 (やし)。② 旅藝人。

サルフォナル (Sulphonal) 催眠藥。サルフォンとも云ふ。

サルファー (Sulphur) 硫黃。黑色火藥、マッチ、硫酸、和硫、ゴム等の製造に用ひらる。

サルファースプリング (Sulphur-spring) 硫黃泉。硫黃の成分を含む温泉で火山地に多い

サルフェーリック・アシッド (Sulphuric acid) 硫酸。純粹なるものは無色、揮發油狀液で、皮膚に觸るれば火傷を生ぜしめ衣服等に付けば焦す。

サルフェーラス・アシッド・ガス (Sulphurous acid gas) 亞硫酸瓦斯 (SO_2)。無水亞硫酸とも云ふ。無色の氣體にして強烈な臭氣あり、水に溶け易い。此の瓦斯は硫黃の燃える

際發生するもので、絹、毛布、麥稈帽子等の漂白に用ひられ又殺菌力も強い。

サルテ (佛語 Salete) ① 淫猥。② 醜態。不潔。汚物。

サルテーション (Saltation) ① 跳躍。② 突然の變動。③ 鼓動。

サルキー (Sulky) ① 脹れ面の。漚面の。② 一人乗り二輪車の一種。

サルミー (Salmi) 小鳥を焼いて葡萄酒にて蒸煮した一種の料理。

サルシフィ (Salsify) 西洋午茅。蔬菜の一種で、根は午茅に似、葉はニラに似て居る、又これは牡蠣の如き風味ある爲オイスタープラント (牡蠣植物) とも云はれてゐる。

サルピグロシス (Salpigrosis) つくばれ朝顔の一種。草丈二尺内外で色彩が非常に美しく、澤山の技が出て無數の大輪花が次々に咲く。

サルビア (Salvia) 唇形科の植物。藥用又は觀賞用、香辛料とされ、この屬は五百種に

及ぶ。概ね一年草にして、七月—十月頃紅、藍、紫等の美しい花が群り咲く。

サカー (Succaur) ① 救助。救済。② 救援者。救助者。③ 援兵。應援隊。

サガレン (Saghalien) 樺太島。亞細亞大陸の東北海岸に位す、其所屬については江戸時代より日露交渉があり明治八年露領となつたが日露戦争の結果南半は我有に歸した。

サガシチー (Sagacity) ① 明敏。鋭敏。② 聰明。伶俐。

サター (Satyr) ① サチロス神。ギリシヤ神話に、半人半馬(又は半羊)の森林の神で非常に色を好むとある。② 好色家。色情狂。

サターン (Saturn) ① ローマ神話で人民に農法を教へた伊太利の神。② 土星。

サタイア (Satire) ① 落首。諷刺文學。② 諷刺。皮肉。

サタニスト (Satanist) 惡魔主義者。惡魔派の藝術家(次項參照)。

サタニズム (Satanism) 惡魔主義。惡魔派。十九世紀半ば頃デカダン派と共に興つた藝術上の一派。此派は好んで陰慘、怪奇な、そして頹廢的な作品をもつた。フランスのデカダン詩人ボードレール、畫家ではイギリスのジェームス・アンソール、フランスのロートレック等は代表的なサタニストである。

サダグ・グラビヤ (Sadag gravure) 瑞西人サダグ發明の寫眞凹版式印刷(グラビヤ參照)

サタデー (Saturday) ① 土曜日。サターンスデー (Saturn's-day) の意味でサターン神より出た語。② エダヤ人の安息日。

サタデー・イブニング・ポスト (Saturday Evening Post) 米國フィラデルフィヤ市のカーチス出版會社にて毎土曜日に發行する世界第一の發行部數を有する雜誌の名。

サタデー・ニュース (Saturday News) 土曜日に發行する新聞。此名の新聞が英米にある

サタデー・トピック (Saturday topic) 土曜日話題。土曜日の出來事中興味ある話題なるものをその日の夕刊に掲載することをいふ。

サタデー・ツーマンデー (Saturday to Monday) 週末の休み。土曜の晩から月曜日の朝まで休むことを云ふ。ウィークエンドに同じ。

サタン (Satan) 惡魔。惡鬼。轉じて災厄を齎すものを指し、宗教的には誘惑するものを云ふ。神話に、此のサタンは元天使であつたが神の命をきかなかつた爲、地獄に墮ち

サカ — サタ

ザダ — サツプ

て魔王になつたと云ふ。

和製英語「座談壇」、文學美術の話から政治經濟主義學說何

サタデー・ニュース (Saturday News) 土曜日に発行する新聞。此名の新聞が英米にある
サタデー・トピック (Saturday topic) 土曜日話題。土曜日の出来事中興味ある話題とな
るものをその日の夕刊に掲載することをいふ。

サタデー・ツー・マンデー (Saturday to Monday) 週末の休み。土曜の晩から月曜日の朝
まで休むことを云ふ。ウィークエンドに同じ。

サタン (Satan) 悪魔。悪鬼。轉じて災厄を齎すものを指し、宗教的には誘惑するものを
云ふ。神話に、此のサタンは元天使であつたが神の命をきかなかつた爲、地獄に墮ち

サカ——サタ

ザダ——ザップ

て魔王になつたと云ふ。

ザダンガール (Zadan-girl) 和製英語「座談嬢」、文學美術の話から政治經濟主義學說何
んでも來いの口八丁式のインテリ女性。但し職業的にはその存在は疑問である。

サレンダー (Surrender) ①讓渡す。引渡す。②陥落す。降服す。③耽溺す。

サッド (Sad) ①悲しき。悲しげな。②陰氣なる。痛ましき。

サッドネス (Sadness) ①悲哀。悲嘆。②陰氣。

サッチ (Thatch) ①葺草。②茅屋根。藁屋根。

サッチェル (Satchel) 小型鞆。學生用の鞆。手提鞆。胴飢。

サッカー (Soccer) アンシエーション・フットボールの俗語。ソッカーとも云ふ。

サッカリファイケーション (Saccharification) 糖化。澱粉等を砂糖となす事。

サッカリン (Saccharin) ノールターより製する物質で滋養價値は全くないが其甘味は砂
糖の三百倍、防腐性あり、製糖保護政策として各國政府は薬用以外の使用を禁じてゐ
るが、事實上廣く使用されてゐる。轉じて「異性にあまい者」をサッカリンと云ふ。

ザッツ (Bats) スキー用語で「踏切」。ジャンプ臺から空中に跳躍する原動力たる動作で
スキー跳躍中最も困難にして微妙なる行爲である。

ザッツ・オーライ (That's all-right) ザッツ・オーケーに同じ (次項参照)。

ザッツ・オーケー (That's O. K.) ザット・イズ・オール・コレクト (That is all correct) の
略語でオーケー (同項参照) を強めた語である。ザッツ・オールライトと同じ意であ
るが其れより一層新しく然かも力強く響く。我國では此の題の流行小唄迄出来、非常
に流行つた。「次の日曜に二人で寶塚へロケしない?」「オーケー・オーケー・ザッツ・オ
ーケー」と云つた調子である。

ザック (Sack) ①鞆。囊。②掠奪。掠奪物。③野球にて壘へ置く囊。④ルーテザック。

ザックリング (Suckling) ①乳呑兒。②乳臭い男。青二才。未熟者。

ザックレース (Sack-race) 袋跳競走。袋から首だけを出して飛び乍ら走る競走。

ザックコート (Sack-court) 背廣服。ラウンヂシュート (Lounge suit) とも云ふ。

ザップ (Sup) ①晚餐をさる。夕飯を喰べる。②啜る。喫する。

サ

サップヘッド (Siphead) 痴漢。愚者。單にサップとも云ふ。

サッキング・ボトル (Sucking bottle) 幼児の乳壺で口にゴム管の附いて居るもの。

サッシュ (Sash) 飾帶。正装の軍人の帶等をいふ。

サッシュ・ウインドー (Sash-window) 西洋式窓で硝子戸を上下して開閉するもの。

サナトリウム (Sanatorium) ①療養所。養生院。山間や海濱等の空氣の良い地に設けられた病院を云ふ。②保養地。サナトリウムとも云ふ。

サラバンダ (Sarabanda) スペインの古い舞踊。カスタネットの伴奏で歌ひながら踊るサラセン傳統の舞踊でその音樂は三拍子である。

サラトローガ (Saratoga) 婦人用の大型旅行鞆。サラトローガトランクとも云ふ。

サラリー (Salary) 月給。給料。俸給。尙サラリーカットは減俸である。

サラリーガール (Salary-girl) 女月給取り。女事務員等でビジネスガールともいふ。

サラリーマン (Salary-man) 俸給生活者。月給取り。官公吏、教師、記者、銀行、社員等々インテリの大牛を占めるものである。階級意識を欠き資本家に對する闘争力も有せず、寢ても醒めても減給と失業の幻影に脅えつゝ、薄給のその地位にしがみついてゐる、月賦の洋服と餘りにも軽い給料袋、これは例外なく彼等には附物である。サラリーマンの悲哀！餘りにも惨めな存在ではある。洋服細民、これこそ彼等に與へられた別名なのである。

サラリーデー (Salary-day) 月給日。俸給日。

サラリーメンズ・ユニオン (Salary-Men's Union) 俸給生活者組合 (エス・エム・ユー参照)。尙サラリーメンはサラリーマンの複數である。

サラリアット (Salariaat) 俸給生活者階級 (プチブルジョア参照)。

サラダ (Salad) 生菜料理。チシャ、キャベツ、トマト、葱、大根、馬鈴薯等を酢、塩、油類で味をつけたもので、キャベツサラダ、トマトサラダ、キューカンサラダ、ポテトサラダ等の種類がある。

サラダオイル (Salad-oil) サラダ料理用の橄欖油。近頃大豆、落花生油等を使用されるが、此れもサラダオイルと云はれてゐる。

サップ——サラ

サラ——サウ

サラッド (Salad) 生菜料理。サラダの正音、同項参照。

サラッドデイズ (Salad-days) 幼年時代。無經驗時代。

照)。尙サラリーメンはサラリーマンの複數である。
サラリアット (Salarial) 俸給生活者階級 (プチブルジョア参照)。

サラダ (Salad) 生菜料理。チシャ、キャベツ、トマト、葱、大根、馬鈴薯等を酢、塩、油類で味をつけたもので、キャベツサラダ、トマトサラダ、キューカンサラダ、ポテトサラダ等の種類がある。

サラダオイル (Salad-oil) サラダ料理用の橄欖油。近頃大豆、落花生油等を使用されるが、此れもサラダオイルと云はれてゐる。

サップ——サラ

サラ——サウ

サラッド (Salad) 生菜料理。サラダの正音、同項参照)。

サラッドデーズ (Salad-days) 幼年時代。無經驗時代。

サラウンド (Surround) ① 圍む。圍繞す。包圍す。② 卷狩。

サラウンディング (Surrounding) 四圍の情況。境遇。環境。アトモスフィアとも云ふ。

サラマンダー (獨語 Salamander) ① 乾杯する際其主宰者が一二三と叫んで一同杯をこすつて乾杯する方法。② 耐熱のもの。耐火金庫。③ 火蛇。往時火中に棲んでゐたこと云はれるもの。④ 火精。⑤ 砲火の下にあつてビクともせぬ軍人。

サラマンジエ (佛語 Salle a manger) 食堂。喫茶室。

サラブレッド (Thoroughbred) 英國在來の馬にアラビア馬を交配せしめて得た最優良馬種。種馬としては隨一で遺傳力強く、世界各国この馬によりて馬種改良を圖つてゐる。又競走馬にてもサラブレッドの血を享けて居ないものはないこと云ふ有様である、此種の高さは普通五尺二寸乃至七寸で、毛色は黒鹿毛、鹿毛、栗毛が最も多い。

サラエボ (Sarajevo) ユーゴ・スラビヤの都市。一九一四年當市でセルビヤの青年が奧國皇太子夫妻を暗殺し、之が導火線となつて未曾有の大戦亂が勃發したので一躍有名になつた。

サラサ (葡語 Saraca) 更紗。金巾の一種で派手な模様染めにしたもの。

サム (Sum) ① 總計。總額。② 金額。③ 概略。

サムボデー (Some-body) ① 誰か。② 重要な人。一廉の人。

サムタイム (Sometime) 後日。いつか。【例】一度御伺ひします、サムタイムにね。

サムプリント (Thumb-print) 拇印。拇指の指紋。

サムシング (Something) なにか。或るもの。【例】此事件は我々にサムシングを與へたサヴを冠せる語はサバ、サブ、サビ等の項を見よ。

サヴェート (Soviet) 及びこれを冠せる語はソウエートの項を見よ。

サウア (Sour) ① 酸い。酸敗せる。② 氣むづかしい。澁面の。

サウス (South) ① 南。② 南國。南部。③ 南風。尙ザ・サウス・シーは南洋の意。

サウスイースト (South-east) ① 南東。② 南東方。南東風。

サ

サウスポー (Southpaw) ① 左利きの。② 野球にては左利き投手。早大の小川投手等はサウスポーとして有名である。此の語源はアメリカにて南部地方出身の投手には非常に左利きが多かつたからだとある。

サウスライト (South-light) 南極に現はれる極光。オーロラに同じ。

サウスウエスト (South-west) ① 南西。② 南西方。南西風。

サウス・マンチユリア・レールウエイ (South Manchuria Railway) 南滿洲鐵道。

サウス・アメリカ (South America) 南亞米利加洲。パナマ地峽によりて北亞米利加に連る。面積約百二十萬方里、世界第四の大陸。

サウンド (Sound) ① 音。音響。② 音調。③ 響く。④ サウンドピクチュアの略。

サウンドポスト (Sound-post) 魂柱。此れはヴァイオリンの腹板と背板とを連結して音響の中介をなすもので、駒の右脚端の下部に挟立してあり、此れの本質及び其場所の良否は發音上大なる影響を與へるものである。

サウンドボックス (Sound-box) 蓄音器の發聲部。

サウンドトーカー (Sound-talkie) サウンドピクチュアに同じ (同項参照)。

サウンドトラック (Sound-track) フィルム式トーカーにてフィルムの縁に音響を記録した部分を云ふ (フィルム・システム・トーカー参照)。

サウンドカートン (Sound-cartoon) 漫畫トーカー。漫畫映畫にトーカーを應用したもので、その奇想天外のギャグと超ナンセンス振りは灰色の憂鬱に包まれてゐる近代人に期らかな笑を提供して呉れる。

サウンドプルーフ (Sound-proof) 防音装置。都市に於ては電車、自動車、自轉車等々其他の騒音の爲、都人士を刺戟する事甚だしく精力を浪費する事多い故、騒音防止の運動起り電車、自動車等に防音装置をせしめんとして居る。

サウンドプルーフ・ステージ (Sound-proof stage) 防音装置のあるトーカー映畫撮影場。

サウンドエディション (Sound-edition) サウンド版。又サウンドピクチュアに同じ。

サウンドエフェクト (Sound-effect) 音響効果 (映畫用語)。

サウンドディレクター (Sound-director) 音響監督。發聲映畫製作の場合音響や聲に就い

サウ

サウ——サク

て指導監督する人。

サウンドシグナル (Sound-signal) 音響信號。音響に依る遠距離信號法。

サウンドプルーフ (Sound-proof) 防音装置。都市に於ては電車、自動車、自轉車等々其他の騒音の爲、都人士を刺戟する事甚だしく精力を浪費する事多い故、騒音防止の運動起り電車、自動車等に防音装置をせしめんとして居る。

サウンドプルーフ・ステータ (Sound-proof stage) 防音装置のあるトーキー映畫撮影場。
サウンドエディション (Sound-edition) サウンド版。又サウンドピクチャと同じ。
サウンドエフェクト (Sound-effect) 音響効果 (映畫用語)。
サウンドディレクター (Sound-director) 音響監督。發聲映畫製作の場合音響や聲に就いて指導監督する人。

サウ

サウ——サク

て指導監督する人。

サウンドシグナル (Sound-signal) 音響信號。音響に依る遠距離信號法。

サウンドピクチャ (Sound-picture) 音響映畫。サウンドピクチャはトーキーの如く會話等はなく、ただ音楽や音響等の入つてゐる映畫を云ふ。尙これにはフィルム・システムとディスク・システムがある (各項参照)。

サノバガン (Sun of a gun) 正しく發音せば「サンノブ・ア・ガン」である。アメリカの俗語で「馬鹿な事を云ふな」、「馬鹿野郎!」、「畜生!」の意である。「昨晚僕がランデブーをしたつて? サノバガン!」と云つた調子に用ふ。

サクリパン (佛語 S. cripan) ① 無頼漢。兇漢。② 命知らず。

サクリフィシアル (Sacrificial) 犠牲的。献身的。【例】彼はサクリフィシアルな精神に富んでゐる。

サクリフェイス (Sacrifice) ① 犠牲。いけにえ。② 供物。③ 犠牲打。

サクリフェイス・フライ (Sacrifice fly) サクリフェイス・ヒットと同じ。

サクリフェイス・ヒット (Sacrifice hit) 犠牲打。野球にて出塁せる走者を進ませる爲打者が犠牲となつてゴロかフライを打つ事を云ふ (略字は SH)。

サクリフェイス・セール (Sacrifice sale) 見切賣り。投賣り。犠牲的に廉價販賣をなす事。

サクラメント (Sacramento) 米國桑港の東北方にあたり、本邦人農業の中心地。

サクラメント (Sacrament) 聖晚餐。基督が十字架上で死んだ其前夜弟子達と晚餐を共にしたことを云ふ。

サクシード (Succeed) ① 成功する。② 相續する。繼續する。

サクシオンガス (Suction-gas) 灼熱したコークスに空氣と蒸氣とを通じて製せる瓦斯、熱力非常に大で主として工業用に使用される。

サクセッサ (Successor) ① 相續者。世嗣。後繼者。② 後任者。

サクセション (Succession) ① 相續。繼承。② 繼續。連續。③ 系統。

サクセション・タックス (Succession tax) 相續税。家産を相續する場合課せられる税金

サクセス (Success) ① 成功。大當り。上出來。② 成功者。

サクスホーン (Saxhorn) 管は楕圓形に巻き三箇のピストンを有する大型ラツパ。

サマー (Summer) 及び本語を冠せる語はサンマーの項を見よ。

サマーソールト (Somersalt) 宙返り、翻筋斗 (さんぼがへり)。水泳では前向又は後向きにもんごり打つて跳び込むことを云ふ。

サマリア (Samaria) 古パレスチナのサマリア市民の事であるが新約聖書の故事によりて情深い人をサマリア人だといふ。

サブ (Sub) ① 地下鐵道 (サブウエーの略)。② 潜水艦 (サブマリンの略)。③ 補缺選手 (サブステチエートの略)。

サフィシエント (Sufficient) 十分なる。思ふ通りの。

サフィシエンシー (Sufficiency) ① 十分。満足。② 資格。能力。③ 自惚。自負。自尊。

サフィズム (Sapphism) 女性同性愛。ギリシヤの女詩人「サフオー」の傳説より出た語

サブバート (Subvert) ① 滅亡さす。② 顛覆す。敗壞す。惑亂す。

サブバージョン (Subversion) ① 滅亡。② 顛覆。破壊。打破。

サフホーズ (露語 Sovhoz) ソウエート經營農場。コルホーズと共に農業社會主義化の基本的形態である、舊地主の模範的農場及び未墾地を國營してソウエート公有農場とし經濟的技術的に全ゆる援助指導をなしその集團化を圖つてゐる。

サブヘッド (Sub-head) 分項目。副標題。標題の次にある小見出しの事。

サブベンシヨン (Subvention) ① 補助。援助。② 保護金。補助金。

サブチャーター (Sub-charter) 短期傭船契約。

サブチェーサー (Subchaser) 驅潜艇。サブマリインチェーサーの略。

サブヂェクト (Subject) ① 臣民。被支配者。② 題目。主題。問題。③ 主語 (文法)。

サブヂェクトマター (Subject-matter) 主旨。題材。【例】此の小説は事實をサブヂェクトマターとしたものだ。

サブヂェクティブ (Subjective) ① 主觀的。② 空想的。無實の。

サブヂェクチビズム (Subjectivism) 主觀論。認識論上に於ける懷疑論の一で吾人の認識は常に主觀的狀態により制限されるから全く個人的妥當性を有するのみで普遍的な

サク——サブ

サブ——サブ

認識、萬人に共通の眞理等云ふべきものはないと云ふ説。

サブヂェクシヨン (Subjection) ① 服従。屈從。② 征服。鎮定。

サブチエーサー (Subchaser) 驅潜艇。サブマリンチエーサーの略。
サブヂェクト (Subject) ① 臣民。被支配者。② 題目。主題。問題。③ 主語 (文法)。
サブヂェクトマター (Subject-matter) 主旨。題材。【例】此の小説は事實をサブヂェクト
マターとしたものだ。

サブヂェクティブ (Subjective) ① 主観的。② 空想的。無實の。

サブヂェクティブイズム (Subjectivism) 主観論。認識論上に於ける懷疑論の一で吾人の認識
は常に主観的狀態により制限されるから全く個人的妥當性を有するのみで普遍的な

サク——サブ

サブ——サブ

認識、萬人に共通の眞理等云ふべきものはないと云ふ説。

サブヂェクシオン (Subjection) ① 服従。屈從。② 征服。鎮定。

ザ・プリラフェイライト (The pre-Raphaelites) ラファエル前派。伊太利の巨匠ラファエ
ル前の伊太利美術の自然を技巧とする風を慕つて英國に起つた美術家の一團。

サブリケート (Supplicate) ① 哀願す。嘆願す。懇願す。② 祈る。

サブリケーション (Supplication) ① 哀願。嘆願。懇望。② 祈願。③ 祭日。

サブプリメント (Supplement) 附録。追加。補遺。尙サンデー・サブプリメントは日曜附録。

サブプリメンタリー・オーダー (Supplementary order) 追加注文。

サブリミチー (Sublimity) ① 莊嚴。崇高。雄大。壯烈。② 極度。

サブガール (Sub-girl) エアガール、マリンガールと職業婦人が空に海に進出して尖端
振りを發揮したが今度は地下へ入り込んだ。これがサブガール即ち地下鐵嬢である。
何事に依らずサービス第一で地下鐵會社でも乗客のサービスに美しい少女を採用す
る様になつたのである。

サブターフェューヂ (Subterfuge) ① 遁辭。逃口上。言ひ抜け。② 狡猾手段。ごまかし。

サブタイトル (Subtitle) ① 附加表題 (書籍、創作等の)。② (書籍の扉の前の) 省略表
題。③ 映畫では演技で現はせないところを文字で示す字幕をいふ。

サブレー (Sables) ① 黒貂。同上の毛皮。② 喪服。黒色の衣服。

サフレーチ (Suffrage) 選舉權。參政權。尙ユニバーサル・サフレーチは普通選舉。

サブレフテナント (Sublieutenant) 海軍中尉。

サブプレサー (Suppressor) ① 鎮壓者。抑壓者。② 禁止者。制止者。③ 隱匿者。

サブプレシオン (Suppression) ① 鎮壓。抑壓。撲滅。② 隱蔽。③ 發賣禁止。新聞、雜誌
を發行したり、繪畫、映畫等を公開する際内務省の檢閲を受けねばならぬが其場合
「安寧秩序を紊し又は風俗を壞亂す」と認められると、發賣を禁止され押收される、

此の横綱は何と云つても左翼雜誌「戦旗」で創刊以來其大半は發賣を禁止となつてゐた。

サブプレス (Suppress) ① 鎮壓す。鎮める。② 揉み消す。隱蔽す。③ 發賣を禁止す。

サブライ (Supply) ① 供給。補充。給養。② 供給す。補充す。③ 國費。

サ

サブライム (Sublime) ① 崇高な。壯嚴な。宏壯な。② 拔群の。卓絶せる。③ 昇華。化学用語で固体より直ちに氣體に變化する事をいふ。

サプライズ (Surprise) ① 驚愕。② 不意。奇襲。尙サプライズ・ビジットは不意の訪問

サプライズパーティー (Surprise-party) 突然友人の宅へ押掛けて行つて開く小宴会。

サプライズパケット (Surprise-packet) 突然奇抜な品を小包として送り相手を驚かす物。

サフラヂエチズム (Suffragetism) 婦人參政權運動。

サフラヂエット (Suffragette) 婦人參政權運動者。婦人參政權論者。

サフラヂスト (Suffragist) ① 婦人參政權論者。婦人參政權擴張論者。② 投票人。サフレヂストとも云ふ。サフラヂストとしては英國のパンカースト夫人等は世界的に有名で、同志と共に議會で暴行を働いたりして暴力行爲にも訴へた。

サフラン (Saffron) 蕃紅花。水仙科の藥草で花は紅く、摘んで乾すと紅黄色となる。この煎汁は婦人病に特效あり、又染料、菓子、酒類中にも用ひられるが、解熱劑に最もよく使用される。(花詞) 奢侈を注意なさい。

サブウェー (Subway) ① 地下道(汽車、電車、人等の)。② 地下鐵道(米國俗語)。

サブマーヂド・テンス (Submerged tenth) ドン底生活者。最下層の窮民。

サブマーヂェンス (Submergence) ① 氾濫。侵水。② 沈没。沈下。

サブマリーン (Submarine) ① 潜航艇。潜水艦。② あいまい屋(水兵陰語)。

サブマリーンボート (Submarine-boat) 小型潜水艦。潜航艇。

サブマリーンボルケーノ (Submarine-volcano) 海底火山。

サブマリーンチェーサー (Submarine-chaser) 潜航艇驅逐艦。サブチェーサーとも云ふ。

サブマリーンケーブル (Submarine-cable) ① 海底電線。海底電信。② 海外電報。

サブマリーンアーマー (Submarine-armor) 潜水服。潜水器。

サブコントラクター (Subcontractor) 下請人。下請負人。復契約人。

サブコミッティー (Subcommittee) 副委員。副委員會。

サブコンシヤスネス (Subconsciousness) 潜在意識(サイコアナリシス参照)。

サブエヂター (Subeditor) 副主筆(新聞紙の)。副編輯人。

サブ

サブ

サブディビジョン (Sub-division) 副區劃。船体が二重底で支水隔壁等の装置なること。

サファー (Suffer) ① 罹る。苦しむ(病氣等に)。② 遭ふ。③ 害を受く。悩む。

サブマリオンチェーサー (Submarine-chaser) 潜航艇驅逐艦。サブチェーサーとも云ふ。
サブマリオンケーブル (Submarine-cable) ① 海底電線。海底電信。② 海外電報。
サブマリオンアーマー (Submarine-armor) 潜水服。潜水器。
サブコントラクター (Subcontractor) 下請人。下請負人。復契約人。
サブコミットチー (Subcommittee) 副委員。副委員會。
サブコンシヤスネス (Subconsciousness) 潜在意識 (サイコアナリシス参照)。
サブエヂター (Subeditor) 副主筆 (新聞紙の)。副編輯人。

サブ

サブ

サブディビジョン (Sub-division) 副區劃。船体が二重底で支水隔壁等の装置なること。

サファア (Suffer) ① 罹る。苦しむ (病氣等に)。② 遭ふ。③ 害を受く。惱む。

サファイア (Sapphire) 青玉。藍寶石。これは鋼玉に屬しその硬度はダイヤモンドに次ぐ。(玉詞) 貞操又は眞實、徳をあらはす。

サファリ (Safari) スクリヒ語で「旅行する」の意である。それも汽車や自動車の旅行ではなく、危険を冒して山野を跋渉する事である。これは元アフリカの冒険旅行や猛獸狩りを指したもので「サファリ」は數十人の人夫を要し、食料、寢具、鐵砲、火藥、馬等を運搬し蜿蜒たる行列を作つて酷熱のアフリカ奥地を跋渉するもので、いはば「キャラバン」の如きものである。所が我國にて此語は早速モダン語化して盛んに用ひられる様になつた。「おい今晚は一つ道頓堀へサファラうか」と云へば「遊びに出掛ける」とか「魔窟を探検する」と云つた意である。

サファラー (Sufferer) ① 罹災者。受難者。被害者。② 患者。

サブキューティニアス・インジェクション (Subcutaneous injection) 皮下注射。

サブキューティニアス・オペレーション (Subcutaneous operation) 皮下手術。

サブミット (Submit) ① 一任す。委任す。② 提出す。提供す。③ 服従せしむ。

サブミッション (Submission) ① 降服。屈服。② 柔順。謙遜。③ 自白。

サブシディ (Subsidy) ① 補助金。保護金。② 戦時税。

サブシディダイズド・コンパニー (Subsidized company) 被補助會社。政府より補助金の交附を受けてゐる會社。

サブシディアリー・コインズ (Subsidiary coins) 補助貨幣 (サブシディアリー・マネー)。

サブシステンシー (Subsistency) 暮し。生活。衣食。サブシステンストとも云ふ。

サブセリウム (Subsellium) ① 腰掛。② 劇場や映畫館等の腰掛席。

サブスチチュート (Substitute) 代理者。野球では補缺選手の意で普通略してサブさいふ

サブスタンスヤル (Substantial) ① 實質的。眞價ある。② 事實上の。サブスタンスヤル。

ピクトリーは「事實上の勝利」の意。

サブスタンス (Substance) ① 物質。實體。本質。② 大意。要領。趣意。

サ

サブスクリプションニスト (Subscriptionist) 寄附者。義捐金提供者。

サブスクリプション (Subscription) ① 寄附金。豫約金。② 應募。(新聞、雑誌、書籍等の) 豫約。③ 豫約出版。

サブスクリプションリスト (Subscription List) ① 豫約者名簿。申込帳。② 寄附金名簿

サブスクライバー (Subscriber) ① 寄附者。② 豫約者。應募者。③ 新聞雑誌購讀者。

サブスクライブ (Subscribe) ① 寄附す。② 應募す。豫約す。③ 記名す。署名す。

サゴ (馬來語 Sago) 沙穀。馬來半島や印度産の椰子の樹幹の心より精製するもので、病人の食料又は糊等に製せらる。

ザ・エンド (The end) 映畫や小説の終り。終局(エンド参照)。

サディスト (Sadist) 虐待淫亂症の人(次項参照)。

サディズム (Sadism) 性的虐待症。又は虐待淫亂症。變態性慾の一種で、異性を撲つたり、蹴つたり、慘酷な行爲を加へ其の苦しむ有様を見て性慾的快感を感じるを云ふ厄介な病氣、此の語はフランスの作家サディの小説より出た語である。此の反對のマゾヒズムは異性に虐待せられてそこに無上の性的快感を感じるのである(同項参照)。

サテン (Satin) サチンが正しい(同項参照)。

ササfras (Sassafras) 黄樟。樟科の植物にして根部に芳香性揮發油を含み主として藥劑の製造に使用せらる。

サクソニー (Saxony) 英國製の一種の上等羊毛。及び同上製の毛織物。

サクソフォン (Saxophon) 一種の金屬製喇叭。あたかもマドロスパイプの如き形をなし、吸口に簧があり、鍵を押へて音を出す。低く夢幻的な音を發し、ジャズバンドには缺くべからざる樂器とされて居る。又此の樂器は十九世紀中葉フランス人アドルフ・サクスが發明したので此名がある。

ザメンホフ (Zamenhof) 波蘭人にて 에스ペラント (國際語) の發案者(西紀一八五九年生。一九一七年歿)。彼は元來醫者であつたが世界の平和、全人類の幸福を念願として 에스ペラントを創始した。一九一四年巴里に於て第十回萬國 에스ペラント 大會開催の直前世界大戰が勃發し、彼は辛うじてワルソーに逃げ歸り、一九一七年砲彈の音

サブ——ザメ

サミ——サン

を聞き戰爭を呪ひ乍ら淋しく死んだ(에스ペラント及びサート参照)。

サミット (Summit) ① 頂上。絶頂。② 頂點。最高點。極點。

し、吸口に簧があり、鍵を押へて音を出す。低く夢幻的な音を發し、ジャズバンドには缺くべからざる樂器とされて居る。又此の樂器は十九世紀中葉フランス人アドルフ・サクスが發明したので此名がある。

ザメンホフ (Zamenhof) 波蘭人にて 에스ベラント (國際語) の發案者 (西紀一八五九年生。一九一七年歿)。彼は元來醫者であつたが世界の平和、全人類の幸福を念願して 에스ベラントを創始した。一九一四年巴里に於て第十回萬國 에스ベラント大會開催の直前世界大戰が勃發し、彼は辛うじてワルソーに逃げ歸り、一九一七年砲彈の音

サブ——ザメ

サミ——サン

を聞き戰爭を呪ひ乍ら淋しく死んだ (エスベラント及びサート参照)。

サミット (Summit) ① 頂上、絶頂。② 頂點。最高點。極點。

サモワル (Samovar) 露國の茶釜。湯沸。サモワールとも云ふ。

サモンズ (Summons) ① 召喚。召集。召集狀。呼出し。② 降伏の勸告。

サセプチビリティ (Susceptibility) ① 感受性。② 感情。情に脆い事。

サ・セ・プランタン (佛語 *Ca cest printemps*) 「あゝ春だ」と云ふ意味で、このプランタンは英語のスプリングに當るから英文に譯すに ナウ・イット・イズ・スプリング (*Now it is spring*) である。サ・セ・プランタン! 何となく近代的な響を持つ語である。

サスペクト (Suspect) ① 邪推する。嫌疑をかける。② 嫌疑者。注意人物。

サスペンド (Suspend) ① 停止する。見合はす。② 停學に處す。除名す。③ 吊す。

サスペンダー (Suspender) ② すばん吊。靴下吊。② 掛花生。つりかご。

サスペンデッド・アニメーション (Suspended animation) 人事不省。

サスペンション (Suspension) ① 停止。停學。② 未決。サスペンション・ブリッジは吊橋

にて觀客に言ひ知れぬ不安を與へる技巧を云ふ。④ 良心の苛責。

サステイナー (Sustainer) ① 支持者。援助者。② 扶助者。扶養者。③ 擁護者。

サステイン (Sustain) ① 支持す。助く。② 扶助す。扶養す。

サステンテーション (Sustentation) ① 援助。扶助。② 活計。糧食。③ 扶持。扶養。

サスピション (Suspicion) ① 邪推。疑ひ。嫌疑。② 僅少。些少。

サスピシャス (Suspicious) ① 疑はしき。うるんなる。後暗い。② 邪推深い。こま。

サン (Sun) ① 太陽。日輪。② 日向。

サン (Son) ① 息。子息。② 子孫。尙サン・アンド・エアは長男の意。

サンパウロ (San Paulo) 伯刺西爾サンパウロ州の首都。コーヒの栽培が盛んで、その集

散の中心地、我が移民も多數此地でその栽培に従事してゐる。

サンバス (Sun-bath) 日光浴。太陽光線中紫外線 (ウルトラ・バイオレット・レーズ参照)

は皮膚の表面に刺激を與へて色素を變化せしめ、又殺菌力を有するためサンバスは健

康上非常に重要である。故に海水浴の効果は水泳中よりも、むしろ砂上に遊んでゐる時の方に一層多いと云はればならない。尙近來大病院等ではサンルームを設備して病人に日光浴をせしめてゐる。

- サンパン (Sampan) ① 支那の小舟。② 海員用語、陸と本船とを連絡する舢舨のこと。
- サンボンネット (Sun-bonnet) 麥藁等で作った婦人用日除帽子。
- サンヘルメット (Sun-helmet) 夏被る鏢の廣いヘルメット帽子。
- サンド (Sand) ① 砂。② 砂地。砂漠。砂濱。砂濱。尙サンドヒルは砂丘の意。
- サンドロップス (Sandrops) 月見草。
- サンドバス (Sand-bath) 砂浴。砂風呂。又海濱等で熱砂を浴びること。
- サントニン (Santonin) 珊篤寧。菊科植物サントニカより製し寄生虫驅除に卓効がある。
- サンドペーパー (Sand-paper) 紙やすり。俗にペーパーと云はれてゐる。
- サンドリーマン (Sundry-man) よろづ屋。雜貨屋。
- サンドリース (Sundries) ① 雜貨。雜品。② 雜事。雜件。③ 雜費。
- サンドウィッチ (Sandwich) バンとパンとの間に肉片などを挟める食物。轉じて戀人同士又は若夫婦の如くつねに一緒にゐるものを云ふ。
- サンドウィッチマン (Sandwich-man) あたかもサンドウィッチの如く、廣告板や行燈を背に胸にブラ下げて歩き廻つてゐる廣告人夫の事を斯く云ふ。又矢張りサンドウィッチから來たもので二人の女に愛され、そのどちらも捨て兼ねると云つた世にも幸運極まりなき彼氏の事を云ひ、この關係をサンドウィッチ關係と云ふのである。
- サンドクロス (Sand-cloth) 布鏢。布に金剛砂を附けた鏢で單にペーパーとも云ふ。
- サントス (Santos) 南米ブラジルの港市。サンパウロ州にあり、同國コーヒ全産額の四分の三はこの港にて取引される世界第一のコーヒ輸出港である。
- サンチ (Sentine) センチメートル。軍隊にて大砲の口径を云ふ時用ひる語。
- サンチーム (佛語 Centime) 佛國の貨幣でフランの百分の一。
- サンチカリズム (Syndicalism) サンディカリズムを見よ。
- サンチャゴ (Santiago) 智利の首府。南米西海岸第一の都會で海拔五〇〇米の高原にあり

サン

サン

て氣候は良好である。又此地は地震が多いので有名である。

サンルーム (Sun-room) 日光浴をする室。大病院や療養所等の屋上やベランダに設備し

サントス (Santos) 南米ブラジルの港市。サンパウロ州にあり、同國コーヒー全産額の四分の三はこの港にて取引される世界第一のコーヒー輸出港である。

サンチ (Sentimetre) センチメートル。軍隊にて大砲の口径を云ふ時用ひる語。

サンチーム (佛語 Centime) 佛國の貨幣でフランの百分の一。

サンチカリズム (Syndicalism) サンディカリズムを見よ。

サンチャゴ (Santiago) 智利の首府。南米西海岸第一の都會で海拔五〇〇〇米の高原にあり

サン

サン

て氣候は良好である。又此地は地震が多いので有名である。

サンルーム (Sun-room) 日光浴をする室。大病院や療養所等の屋上やベランダに設備してある。又近頃モダン校舎では児童や生徒の保健のため、此のサンルームを設ける様になつた (サンバス参照)。

サンガー (Margaret Sanger) マーガレット・サンガー夫人 (西紀一八八三年生)。有名な米國の産兒制限運動家で約十年前我國にも來て産制を宣傳し大センセーションを起し我國産制運動の先驅となつた。近頃はサンガーと云へば直ちに産兒制限を意味するに至つた。尙「産兒制限に關する事情」、「婦人と新種族」、「新しい母性」等著書多し。

サンガーガール (Sanger-girl) 産兒制限を實行して淫蕩に耽るモダンガール、又墮胎した女の意にも用ひらる。

サンガリー (Sangaree) 水割葡萄酒。葡萄酒に水を混じ砂糖、香料等で味を付けた飲料

サンダー (Thunder) ① 雷。雷鳴。② 怒號。大喝。③ 威嚇。

サンダーボルト (Thunderbolt) ① 落雷 (サンダーストライク)。雷電。② 威嚇。

サンタ・クロース (Santa Claus) クリスマスの前夜煙突より入り來りて吊してある子供の靴下に玩具、菓子等の贈物を入れて行くと言ふ老翁。古代ローマの聖者セント・ニコラスの面影をサンタ・クロースとして居る。

サンライト (Sun-light) ① 日光。② 映畫撮影に用ふる一種の強度の光線。

サンライズ (Sun-rise) ① 日の出。② 朝。③ 曙光。

サンク (Thank) ① 感謝す。② 感謝。謝意。尙メニー・サンクスは大きに有難う。

サンクロー (Sun-glow) ① 夕焼。夕映。② 朝焼。

サンクオッフリング (Thank-offering) 謝恩祭。

サンクタム (Sanctum) ① 聖所。聖室。② 私室。書齋。③ 奥義。

サンクラス (Sun-glass) 日除け眼鏡。日光の直射を防ぐために用ふる眼鏡。

サンクシヨン (Sanction) ① 認可。裁可。② 罰則。刑罰。

サンクスギビング (Thanksgiving) ① 感謝祭 (米國で十一月最終の木曜日)。② 感謝。

サンマー (Summer) ① 夏。夏季。② 避暑する。銷夏する。

サ

サンマーハウス (Summer-house) ① 東屋。亭。② 避暑家屋。避暑地の別荘。此れは主として夏季の貸別荘の事を云ふ。③ 海水浴場等に於ける有料休憩所。

サンマリゾート (Summer-resort) 避暑地。避暑好適地。

サンマーガール (Summer-girl) 「夏の女」即ち殆んど裸体の如き挑発的な薄着をして夏のベーブメントの上を闊歩し道行く男を惱殺して居る尖端娘の事。又夏の黄昏のストリートをうろついて「かも」を待つて居る厚化粧の女もサンマーガールと云ふ。

サンマertime (Summer-time) 夏季時間。夏には暑さの関係上勤務能率が減退するのでそれを調節し又電力と石炭を節約するため生れた方法である、即ち夏は夜明けが早から時計の針を一時間位進めて朝早く勤務を初め、終業時間をそれだけ早める方法で外国では一般的に採用してゐるデーライト・セービング (日光節約) である。二十世紀初頭英國人ウイリアム・ウイットの提唱せしもので英國では一九二五年より全国的に實施してゐる。

サンマソルチス (Summer-solstice) 夏至。太陽が夏至點にありて晝間の最も長い日。

サンマコロニー (Summer-colony) 避暑客。サンマービジターとも云ふ。

サンマデパート (Summer-depart) 夏季海濱に出張して海水浴用品、雑貨、日用品等を販賣する簡単な百貨店、簡易食堂なども付いてゐる。

サンマシユート (Summer-suit) 夏服。サンマークローズとも云ふ。

サンマスポーツ (Summer-sports) 主として夏季に行ふ運動のこと。ウインタースポーツに對する語で、水泳、登山等の總稱。

サンマスクール (Summer-school) 夏季學校。學校の暑中休暇中を利用して勉強せんとするもの、爲めに設けた學校。夏季の林間學校や講習會等もこれである。

サンマリ (Summary) ① 簡略の。略式の。即決の。② 大略。摘要。

サンマリノ (San Marino) 伊太利半島中部、アドリヤ海岸に近く位せる獨立小共和國

サンマリジャヂメント (Summary-judgment) 即決。即時の決定。
サンマンチック (Summantic) 漫談王大辻司郎の創めたモダン語で、「散漫」を形容詞化したものである。意味は「散漫な」、「ぼんやりした」、「つまらない」等である。

サン

サン

サンプトーム (佛語 Symptome) ① 前兆。② 徴候。症状。

サンブレ (Samble) 見本。標本。雅形。尚サンブレカードは見本と占附したカード。

サマー・スクール (Summer-school) 夏季學校。學校の暑中休暇中を利用して勉強せんとするもの、爲めに設けた學校。夏季の林間學校や講習會等もこれである。

サマリー (Summary) ① 簡略の。略式の。即決の。② 大略。摘要。

サン・マリノ (San Marino) 伊太利半島中部、アドリヤ海岸に近く位せる獨立小共和國

サンマリジヤメント (Summary-judgement) 即決。即時の決定。

サンマンチック (Samantic) 漫談王大辻司郎の創めたモダン語で、「散漫」を形容詞化

したものである。意味は「散漫な」、「ぼんやりした」、「つまらない」等である。

サン

サン

サンブトーム (佛語 Symptome) ① 前兆。② 徴候。症状。

サンプル (Sample) 見本。標本。雛形。尙サンプルカードは見本を貼附したカード。

サンプルルーム (Sample-room) 見本陳列室。商品の見本を一室に陳列してあるところ

サンプルカッチング (Sample-cutting) 見本切れ。服地を少しづつ、切つて見本させるもの

サンプルブック (Sample-book) 見本帳。諸種の見本を綴じて本の如くしたもの。

サンプルフェア (Sample-fair) 見本市。各地の需要家と製造家が相寄り製品見本により

即賣でなく定期間に引渡すべき注文を結ぶ市、双方に取つて甚だ便利なものである。

サンフラワー (Sun-flower) 向日葵。花は黄色大輪で常に太陽の方向に向つて開くので

この名がある、開花期は七月—十月である。

サンフランシスコ (San Francisco) 米國西海岸第一の良港で日米貿易の中樞地。明治三

十九年の大地震に依り一度全滅したが現在では以前に倍する大都會となつた。尙此地

と我が小笠原島の間に海底電線が設けてある。

サンフランシスコ (San Francisco) サンフランシスコをもじつて出來た和製英語である、

即ち「産、不安、死す子」でつまり難産で赤ん坊が死ぬ事である。

サンコープ (佛語 Syncope) 人事不省。假死。

サンデー (Sunday) ① 日曜日。サンズデー (Sun's-day) の意味で、太陽崇拜から來た

語。② 果物にアイスクリームをあしらつた食料。アイスクリームサンデー等。

サンデーハウス (Sunday-house) ウイークエンドハウスを見よ。

サンデーベスト (Sunday-best) 晴着。サンデークローズとも云ふ。

サンデークリスチャン (Sunday-Christian) 日曜日丈のクリスト教信者。英語を學ぶ爲

め日曜日に教會へ來て英語聖書の研究や會話の練習をやるが日曜以外には全く教會

に寄り附かない者を云ふ。

サンデーマン (Sundayman) 日曜日だけ外出する者を云ふ。

サンデーセクション (Sunday-section) 日曜日に掲載する特別の新聞記事の頁を云ふ。

サンデースクール (Sunday-school) 日曜學校。

サンディカリスト (Syndicalist) 労働組合主義者。労働共産主義者。

サンディカリスト・インターナショナル (Syndicalist International) 第四インターナショナル

ナルとも云ふ。佛國、米國、和蘭のサンディカリスト労働団体の國際的組織で一九二一年伯林大會に於て創立された。一九二一年プロフィンテルン大會に出席したが共産黨の統制に反對して脱退し一切の政治運動を否定して居るもので殆ど勢力がない。

サンディカリズム (Syndicalism)

労働組合主義又は革命的組合主義。此れは一切の政治闘争とプロレタリア獨裁を否定し、サンディカ(労働組合)に依つて現在の資本主義社會及び其支配機關たる國家を破壊し、社會をサンディカ組織(組合組織)となし、此れに依つて全ての生産及び消費を管理せんとするもので國家權力を認めない。フランスのシー・デー・チー、米國のアイ・ダブリュー・ダブリュー等はサンディカリズムの大労働組合であつたが、前者は反動化し、後者は衰微して了つた。

サン・サーン (Camille Saint-saens)

フランスの音楽家カミーユ・サンサーン(西紀一八三五年生。一九二一年歿)。サンサーンは五歳にて管絃樂のスコアを読み十六歳にして有名なる第一交響樂を作つた天才で、交響樂、交響樂詩、器樂、室内樂、歌劇、聲樂神劇等に多數の作品を遺し、フランス近代音樂の基礎を作つた。ヴァイオリン曲「白鳥」、歌劇「サムソンとデリラ」、管絃樂「死の舞踏」等は特に有名である。

サンキュー (Thank you) 「貴下に謝す」で「有難う」の意。

サンキュー・ベリ・マッチ (Thank you very much) 大變有り難うございます。【例】「君に良い土産を持つて来たよ」、「サンキュー・ベリ・マッチ」。

サンシャイニー (Sun-shiny)

① 太陽の輝ける。赫灼たる。② 陽氣なる。快活なる。

サンシャイン (Sun-shine)

① 日光。日向。② 陽氣。快活。③ 上天氣。

サンシェード (Sun-shade)

① 日傘。② 日除。③ 縁廣帽子。④ 婦人帽の庇。

サンジユ (佛語 Singe)

① 猿。② 模倣者。③ 惡賢い人。狡獪な人。

サンシユワリテ (佛語 Sensualite)

① 肉慾。肉感。② 淫蕩。

サン・シモン (Saint Simon)

フランスの社會主義者(西紀一七六〇年生。一八二五年歿)。オーエン、フーリエと共に三大空想的社會主義者である。彼は伯爵の子として生れ軍人となつたが後フランス革命に加はり、投獄され、晩年は窮迫の中に死んだ。其

サン

サン——キー

著書には「産業論」、「新キリスト主義」等あり(各項参照)。

サンシェード (Sun-shade) ① 日傘。② 日除。③ 縁廣帽子。④ 婦人帽の庇。
サンジュ (佛語 Singe) ① 猿。② 模倣者。③ 悪賢い人。狡獪な人。
サンシユワリテ (佛語 Sensualite) ① 肉慾。肉感。② 淫蕩。

サン・シモン (Saint Simon) フランスの社會主義者 (西紀一七六〇年生。一八二五年歿)。オーエン、フーリエと共に三大空想的社會主義者である。彼は伯爵の子として生れ軍人となつたが後フランス革命に加はり、投獄され、晩年は窮迫の中に死んだ。其

サン

サン——キー

著書には「産業論」、「新キリスト主義」等あり (各項参照)。

サンセレモニー (佛語 Sans ceremonie) 無遠慮に。無雜作に。四角張らずに。

サンセット (Sun-set) ① 日没。落陽。② 夕刻。黄昏。③ 晩期。

サンスーシ (佛語 Sans souci) ① 樂天家。呑氣な人。【例】奴はサンスーシだから何を言つても張合がない。② 獨逸の無憂宮。フレデリック大王の建てたもの。

サンスポット (Sunspot) 太陽の黒點。黒點の増加は太陽を次第に死滅に導き又約十一年目毎に著大な發現がある。直徑六百里から二萬乃至四五萬里ある (マキュラ参照)。

サンストーン (Sun-stone) 日長石。

サンストローク (Sun-stroke) 日射病。

サンスクリーン (Sun-screen) 日除け。日光を避ける幕の類。暑さあたり。

サンスクリット (Sanskrit) 梵語。古代印度の國語の事。

キ

キー (Key) ① 調子。② 鍵。秘密の庫を開いたり疑問を解いたりする上の手がかり。要談。③ 手引。解説。④ ピアノ、オルガン等の樂鍵。

キー (Quay) 埠頭。岸壁。繫船岸。尙キーエヂ (Quayage) は繫船料。

キーインダストリー (Key-industry) 基本産業。製鋼、製鐵、電氣、交通運輸、造船
化學工業等他の産業の基礎となる重要産業のことを云ふ。國家はこれらの産業に對し補助金又は保護關稅等の方法を以つて特別の保護を與へてゐる。英國の如きは一九二一年法令によりて特別保護産業を公定したがその中には軍需品工業を初め經濟獨立に必須な諸種の産業等があつた。

キーパー (Keeper) ① 番人。看守。② 所有者。經營者。

キーボード (Key-board) 鍵盤。タイプライター、ピアノ等の指頭にて押す鈕を云ふ。

キーホール (Key-hole) 鍵孔。【例】キーホールから室内を覗く。

キ

ギーベル (獨語 Giebel) 破風、頂上等の意味である。最近はやりの高層建築廣告をギーベル廣告と云ふのはビルヂングの頂上又は上方壁間になす廣告なるが故である。

キーリング (Key-ring) 鍵環。鍵を多く指して置く環。

キール (Keel) 船や飛行船の龍骨。尙龍骨材はキールピース (Keel-piece) を云ふ。

キール (Kiel) ① 獨逸ユトランド半島の同國最大の軍港。② キール、ウイルヘルムスハーフェン兩軍港を連絡する運河、全長九八六五〇メートル、幅約百メートル、深さ十一メートルで國際的に開放されて各國の汽船が自由に通航してゐる。

キーノート (Key-note) ① 基調。根柢。基礎。主旨。中心となる思想。② 主調音。

ギーヤ (Gear) ① 齒車。② 聯動機。③ 装置。尙ゲーヤを見よ。

ギイヤリング (Gearing) 聯動機。聯動部。

キープ (Keep) ① 守る。履行する。② 維持す。保つ。③ 帳簿等に記入する。

キープオン (Keep-on) ① 續行す。繼續す。② 外套等を脱がずに居ること。

キープセーク (Keepsake) 記念品。形見。書物その他の記念として贈答するもの。

キー・アンド・バイブル (Key and bible) 聖書占ひ。即ち失せ物占ひや結婚占ひをなす方法で聖書の詩篇第五十篇第十八節の箇所「キー(鍵)を挿して聖書を吊し、これと思ふ人の名を読み聖書の動き方によつて盗人や未來の配偶者を知るのである。

キーピング (Keeping) ① 保持。保管。維持。扶養。守護。管理。② ラ式蹴球でスクラムに投入された球を外へ出さず中に止めておくこと、キープとも云ふ。

キーストーン (Key-stone) ① 要石。② 中心思想。心髓。

キーンネス (Keeness) ① 熱烈。鋭敏。② 峻烈。尙キーンは「辛辣な」の意。

キロ (Kilo) 千の意。尙キロメートルは千米、キログラムは千瓦、キロワットは千ワット、キロリットルは千リットルである。

ギロチン (Guillotine) ① 斷頭臺。死刑執行用具。② 截斷機。轉じて解雇の意にも用ゑ。

ギロテージ (Gillotage) 亞鉛版罫線鏤蝕法の最初のプロセス。巴里のチャールス・ギロットの考案で一八五〇年佛國に於て專賣權を得たるバニコグラフィー或は亞鉛鏤蝕の佛蘭西法として著名である。

キー——キロ

ギニー——ギリ

ギニー (Guinea) ① 英國で計算に用ふる貨幣名目 (二十一シリング約十圓に當る)、現

キーンネス (Keeness) ① 熱烈。鋭敏。② 峻烈。尙キーンは「辛辣な」の意。

キロ (Kilo) 千の意。尙キロメートルは千米、キログラムは千瓦、キロワットは千ワット、キロリットルは千リットルである。

ギロチン (Guillotine) ① 断頭臺。死刑執行用具。② 截断機。轉じて解雇の意にも用へ。ギロテージ (Gillotage) 亞鉛版罫線鏤蝕法の最初のプロセス。巴里のチャールス・ギロツト氏の考案で一八五〇年佛國に於て專賣權を得たるバニコグラフィイ或は亞鉛鏤蝕の佛蘭西法として著名である。

キー——ギロ

ギニ——ギリ

ギニー (Guinea) ① 英國で計算に用ふる貨幣名目 (二十一シリング約十圓に當る)、現今は俸給額等に用ふ。尙ギニーフィー (——fee) は俸給のことである。② アフリカ西海岸の大灣。フェルナンドポ (スペイン)、プリンセス島 (ポルトガル) セントトマス (同上) アンボン (スペイン) の諸島が點在す。

キニーネ (Quinine) キニンとも云ふ。印度、南米に産する規那の皮より採つたもので白色絹絲状をなし解熱劑、強壯劑として用ひられマラリヤ病の特効藥として知らる。

ギニーゴールド (Guinea-gold) 二十二金。純金の二十四分の二十二だけ金を含むもの。ギニーピッグ (Guinea-pig) ① 豚鼠 (てんちくねすみ)。② 往時の英國金貨。③ 社會的地位ある人が會社の信用を増すため名義上の社長、重役となり一定の報酬を受ける。この人をギニーピッグといふのである。

ギニョール (佛語 Guignol) 人形芝居。人形の衣裳の中へ片手を入れて、人差し指で首を、拇指と中指とで兩手を動かして芝居をさせるのである。

キノズム (Quinism) キニーネ中毒 (キニーネ參照)。

キホーチック (Quixotic) ドン・キホーテ型。ひょうきんな (ドン・キホーテ參照)。

ギボン (Gibbon) 手長猿 (東印度に産する)。

ギヘナ (Gehenna) エルサレム附近にあるヒノム谷 (廢物焼却地と云はる)。轉じて焦熱地獄又は牢獄の意に用ひらる。

キト (Quito) エクアドルの首府。海拔二八五〇メートルの高地にある故、赤道直下なるにも拘らず氣候は常に温暖である。

ギド・プレジール (佛語 Guide plaisir) 享樂案内所。大阪新町遊廓に出來た珍職業で宴會、晚餐會、園遊會の案内や計畫をなし、又外人觀光客の案内をなしゲイシャガールを紹介したりする。

キリー・イライサン (Kyrie elison) 「主よ憐みたまへ」。英國教會の聖餐式にて朗讀する十誡に對する應答でギリシヤ教會又は天主教會にては彌撒 (みさ) の冒頭句。

ギリヤク (Gilljaks) 樺太北部に住む土人、その數僅かに五千、顔の特徴は顴骨が高く鼻が低い。馴鹿を飼育し常に水草を追ふて轉住する。

キリシタン (葡語 Christao) 吉利支丹。基督教徒。

ギリシヤ (Grece) ヨーロッパ洲東南部。古代夙に文化が發達 歐洲文明の先驅をなした。もと立憲王國であつたが一九二四年共和國となる。首府はアテネ。

キリスト (Christ) 基督。尙クリストの項を見よ。

キリング (Killing) ① 惱殺する。恍惚たらしめる。魅惑する。【例】彼女はまことにキリングな目を持つてゐる。② 非常に恐ろしい。

キル (Kill) ① 殺す。枯らす。② 惱殺する。③ 排球競技では球をネット越しに猛烈に打下す意である。④ 感情や慾望を抑へる。面白味や喜びをぶちこはす。⑤ 入江。

ギルト (Guilt) 罪。有罪。

ギルト (Gilt) ① 鍍金せる。② 鍍金。これより轉じて金錢の意に用ひらる。

ギルド (Gild) ① 鍍金す。金箔を被せる。② 修飾す。

ギルド (Guild) 同業組合。組合。中世の歐洲都市に發達した商人ギルドと手工業者ギルド (クラフトギルド)。商人ギルドは商業の統制とその發達を計る共同組合であり、手工業者ギルドは手工業者の相互扶助と利益増加を計つた組合である。ギルドの今日に残留せるものと見做さるものに理髮業組合、大工組合等がある。

キルドボール (Killed-ball) 庭球でスマツシングされたボールのことをいふ。

ギルトトップ (Gilt-top) 天金。書籍の上部に金箔を置いたもの。

ギルドソーシャルイズム (Guild-socialism) ギルド派社會主義。ギルドの如き職業的組合や産業別組合を中心として新社會を建設せんとする主義で、消費者を代表する國家と生産者を代表する團體即ち産業組合とが互に相提携して産業管理の問題を解決しやうとする、兩者より選出する代表者より成る聯合委員會を以て最高機關とする。

ギルトエッジド (Gilt-edged) 書籍の三方が全部金箔になつてゐる製本のこと。

ギルチーコンシエンス (Guilty conscience) 罪の自覺。尙ギルチーは「罪の」の意。

キルヂョイ (Killjoy) 興を殺ぐ人。喜びや楽しみをけちをつける人、轉じて陰氣な人。

ギルダール (Guilder) オランダの貨幣單位で我が約八十一錢に當る。

キルタイム (Kill-time) 暇つぶし。退屈を凌ぐこと。

キリ——キル

キル——キック

キルク (Cork) ユルクに同じ(同項参照)。

キルデッド・ユース (Gilded youth) 金持の青年。青年富豪。

うとする、兩者より選出する代表者より成る聯合委員會を以て最高機關とする。
ギルトエッジド (Gilt-edged) 書籍の三方が全部金箔になつてゐる製本のこと。
ギルチー・コンシエンス (Guilty conscience) 罪の自覺。尙ギルチーは「罪の」の意。
キルジョイ (Killjoy) 興を殺ぐ人。喜びや楽しみを打ちつける人、轉じて陰氣な人。
ギルダール (Guilder) オランダの貨幣單位で我が約八十一錢に當る。
キルタイム (Kill-time) 暇つぶし。退屈を凌ぐこと。

キリ——キル

キル——キック

キルク (Cork) ユルクと同じ(同項参照)。
ギルデッド・ユース (Gilded youth) 金持の青年。青年富豪。
キルシュ (佛語 Kirsch) 櫻桃酒。櫻子酒(南獨逸産の)。
キルン (Kiln) 窯(かまど)。爐。尙ブリック・キルンは煉瓦窯の意である。
キオスク (佛語 Kiosk) ①亭。四阿。②新聞や草花等の賣場。③音樂堂。
ギター (Guitar) 六弦琴。ヴァイオリンより大型で六弦を有する樂器、古くより西班牙にて用ひられたもので指で撥いて奏す。尙西班牙ではギタツラ、佛蘭西ではギタールといふ、又ギターの彈奏者はギターリストといふ。
ギターン (Gittern) ギターに似た一種の彈絃樂器。
キッド (Kid) ①桶。箱。道具箱。②浮氣娘。
キッド (Kid) ①仔山羊。又その皮(靴、手袋等に用ふ)。②幼兒。トーカー語で大人。
キッドバッグ (Kid-bag) 旅行鞆。
キッドニー (Kidney) 腎臟。又拳闘用語でキッドニーパンチとは腎臟部に加へる突き。
キッドル・キヤットル (Kittle-cattle) 扱ひにくい人物。厄介な人物。手に負へぬ人。
キッドナップ (Kidnap) 誘拐す。尙キッドナップングは誘拐。キッドナップパーは誘拐者
キッドキャット (Kid-cat) ①一六八八年倫敦に開設されたホイッグ黨員の俱樂部。又其の會員。②半身より少し小さい肖像畫をいふ。
キットン (Kitten) ①小猫。②小女。お轉婆娘。浮氣娘。
キッチネット (Kitchenette) 携帯式簡易台所。戸棚、水屋、煮炊台、冷蔵庫、米櫃、調理台、流し等が一つに組合はされた簡便な臺所。
キッチナー (Kitchener) ①料理人。料理爐。②臺所出入の商人。
キッチン (Kitchen) ①臺所。厨房。②炙肉器。
キッチンガーデン (Kitchen-garden) 菜園。野菜、果樹等を栽培する小園のこと。
キッカー (Kicker) ①蹴る人。蹴球者。②蹴る癖のある馬。③反抗者。
キック (Kick) ①ボールを蹴ること。球を地上に置いて蹴るのはブレースキック、球を地上に落して跳上つて來るのを蹴るのはドロップキックである(蹴球用語)。②蹴手

- ③ 蹴るやうな動作(ダンス用語)。④ 競技で審判者の宣告に抗議すること。
- ギグ (Gig) ① 端艇の一種。② 一人乗の二輪馬車。③ 魚搔(やす)。
- キックバック (Kick-back) 蹴球で敵から蹴つて来たボールを蹴り返すこと。
- キックパス (Kick-pass) 蹴球で味方へボールを渡す場合に蹴つて渡すことをいふ。
- キックボール (Kick-ball) ①のやうな同心圓を地上に描き二組の競技者が二つの圓周の間に陣取り各組の中央にある球を蹴つて敵方後方の圓周外に出し合ふ一種の球戯。
- キックオフ (Kick-off) 先蹴。ラグビーにて競技開始の動作でボールをハーフウエー・ラインの中央に置き此のボールを蹴つて試合を始める。
- キックターン (Kick-turn) 方向轉換。スキーにて後向きになること。
- キックアウト (Kick-out) 競技で審判者の宣告に抗議し審判者を除くこと。
- キックアクロス (Kick-across) クロスキックと同じ(同項参照)。
- ギッデー (Giddy) 目まひする。目まぐるしい。尙ギッデー・ゴーラウンドは回轉木馬
- キッキング (Kicking) ① 蹴ること。② 反抗。又競技では審判者の宣告に抗議すること
- キッシンザリング (Kiss-in-the-ring) 接吻遊戯。鬼になつたものが環状に並べる男女の
中の異性に觸れて逃げるを觸れた者は鬼を追掛けて接吻する遊戯。
- キッス (Kiss) ① 接吻。口づけ。又佛語ではベセといふ。② 球突では一度觸れた球と球とが再び觸れること。
- キッスガール (Kiss-girl) 「接吻を賣る女」。又エロガールの意にも用ひらる。
- キッス・キッス・キッス (Kiss, Kiss, Kiss) ラブレター等の最後に書く文句で普通洒落れて
XXX (エツキス・エツキス・エツキス)と記す。女學生等がよく用ひてゐる語で、其
の意味は「幾度もくゝあなたにキッスを送ります」。
- キネトフォーン (Kinetophone) ① 發聲映畫。② 發聲映畫機械。
- キネトスコوپ (Kinetoscope) 覗き眼鏡式活動寫眞。錢孔に一錢銅貨を入れると小さな
モーターが自動的に動き簡單な映畫が覗き穴の内部にうつる、エヂソンが發明した
原始的活動寫眞機の名。
- キネオラマ (Kineorama) 背景や色光線を用ひて同一の景色を様々に見せる装置。

ギグ——キネ

キネ——キネ

キネグラフィオン (Kinegraphone) 新式の發聲映畫機。

キネマ (Kinema) 映畫。尙キネマを冠する語として本頁なきものはシネマの項を見よ。

XXX (エツキス・エツキス・エツキス)と記す。女學生等がよく用ひてゐる語で、其の意味は「幾度もくあなたにキツスを送ります」。

キネトフォーン (Kinetophone) ① 發聲映畫。② 發聲映畫機械。

キネトスコوپ (Kinetoscope)

覗き眼鏡式活動寫眞。錢孔に一錢銅貨を入れると小さなモーターが自動的に動き簡単な映畫が覗き穴の内部にうつる、エヂソンが發明した原始的活動寫眞機の名。

キネオラマ (Kineorama) 背景や色光線を用ひて同一の景色を様々に見せる裝置。

ギググ——キネ

キネ——キノ

キネグラフィオン (Kinegraphone) 新式の發聲映畫機。

キネマ (Kinema) 映畫。尙これを冠せる語にして本項になきものはシネマの項を見よ。

キネマカーニバル (Kinema-carnival) キネマ祭。映畫俳優、監督その他キネマに功勞あるものに褒賞を授與したりその他いろいろ映畫に關する催しをなす。

キネマガール (Kinema-girl) 尖端的婦人職業の一、男性の要求に應じて映畫館にお供して幾時間かのお相手をするのである。此のキネマガールの資格としては勿論美しい事が第一であるが、其れに多少教育が有つて男性の話相手になり得、然かもエロ的であり、場合に依つては第二次契約?のエロサーピスにも應ずると云つた女でなければいけない。かつて某常設館より大阪の或婦人職業紹介所へ「映畫館にお供して數時間男性を慰める女性」の世話を申し込んで來たが、何しろ暗い場所での事であるから忽ちサーベルの恐いオヂさんの眼が光り結局罷りならなかつたが、女給やマネキン嬢等で副業的に斯かる事をやつて居るのは相當あるらしい。

キネマカップ (Kinema-cup) 活動盃。酒を入れる盃の底に美人、勇士、風景などが現はれ、盃中の酒を飲んでしまふと盃底の畫像が消へてなくなり酒を入れると又現はれる仕掛けで非常に面白い盃である。

キネマカラー (Kinema-colour) 天然色寫眞。三原色の理論に基き黄赤青の配合によりてすべての色彩を出すころの着色映畫。

キネマファン (Kinema-fan) 活動寫眞愛好家。映畫狂。

キネマショー (Kinema-show) 映畫館。ムービーハウス、ムービーション等ともいふ。

キナ (Quina) 規那皮。南米の喬木で、この中にキニーネを存す(同項参照)。

キナモ (Kinamo) 獨逸ツアイス・インコ會社製精巧小型の十六ミリ寫眞機。

キム (露語 Kim) 青年共産黨インターナショナル(國際共産青年同盟)の略稱。現在二十數ヶ國の共産青年同盟がこれに加盟してゐる(ヤング・コンミュニスト・インターナショナル参照)。

ギムナージア (露語 Gimnazia) 中學校。尙ギムナージストは中學生の意。

キノグラス (Kino-glass) ① 天然色映畫を見る際用ひる眼鏡。これを使用すると映畫が

立體的に見える。② 映畫眼の意でロシアの寫實映畫運動、即ち映畫の製作には現實の撮影とモンタージュとを根本要素となしドラマチックなストーリーを必要としな

いとする新映畫運動(キノキー参照)。

キノキー (Kino-ki) ツウエート・ロシアの映畫團體の名。ジガ・ヴェルトフが中心となり寫實映畫運動を行つてゐる、これをキノグラス運動といふのである。

キノモンタージュ (Kino-montage) 映畫モンタージュ(モンタージュ参照)

キヤ・ギヤ (Ca, Ga) を冠せる語にして本項になきは夫々カ、ガの項を見よ。

キヤール (Girl) 近頃流行のガールを輕蔑的に云つた語。

キヤローユース (Callow youth) 青二才。嘴の黄色い奴。

キヤロッペード (Gallopade) ガロペイドと同じ(同項参照)。

キヤロスクロ (伊語 Chiaroscuro) 明暗法。濃淡の配合。元來は素描畫に用ひられた語で繪畫又は寫眞について云ふ。

キヤバレー (佛語 Cabaret) バー等でステージの設備があり餘興としてダンスやレビエーを見せる所をいふ。又キヤバレーダンサーはキヤバレー專屬の踊り子、キヤバレーシヨールはキヤバレーの餘興の意。

キヤベル (Gavel) ① 議長用のふる槌。裁決の槌。② 税。關稅。

キヤベツ (Cabbage) ① 玉菜。甘藍(はぼたん)。② 獨案内書。キヤベヂが正しい。

キヤリー (Carry) ① 運ぶ。運送す。② 携帯す。③ 議案等を通過さす。

キヤリーバック (Carry-back) ラグビーで球を味方のインゴールへ入れて味方が押へた場合には最後に球が扱はれた所でスクラムを組む、これをキヤリーバックといふ。

キヤリイング・ボール (Carrying-ball) 籠球、排球等の競技でボールを携へて一歩以上進むことをいふ。

キヤリイング・キヤパシチー (Carrying capacity) 積載量。搭載量。

キヤリバント (Gallivant) 遊び廻る。異性と共にいちやつき乍ら歩くこと。

キヤリヂ (Carriage) ① 馬車。客車。② 運搬。輸送。③ 風采。態度。

キヤリヂドライブ (Carriage-drive) 公園内等に通ずる車道。

キノ——キヤリ

ギアリ——キヤツチ

ギヤリソン (Garrison) 守備隊。駐屯兵。衛戍兵。

キヤリグラフィックスタイル (Calligraphic style) 文人派。文人畫。多く南宗畫をいふ。